

# 茅ヶ崎市生活支援体制整備事業

—「外出」に関するアンケート調査結果—  
確報 <地区版>



令和元年(2019年)11月  
発行・編集 茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課  
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会



# 外出に関するアンケート調査の概要

市民の日常生活に必要な「外出・移動」に関する困りごとの概要把握のため、外出に関するアンケート調査を実施しました。

## 実施期間

:平成31年1月24日(木)～2月20日(水)

## 調査対象と方法

- :平成30年12月時点で、要支援認定を受けている方から1,300名(13地区×100名)を層化無作為抽出。
- :調査票は郵送し、返信用封筒での返送により回収。

# 外出に関するアンケート調査の概要

## 回答数

: 815 人

茅ヶ崎	茅ヶ崎南	南湖	海岸	鶴嶺東	鶴嶺西	湘南
64	59	61	66	61	62	59

松林	湘北	小和田	松浪	浜須賀	小出
58	62	63	74	62	64

調査結果の速報版は、「茅ヶ崎市生活支援体制整備事業  
報告会(平成31年3月28日開催)」にて、配布・説明をおこ  
ないました。

# 確報〈地区版〉について

今回、調査結果の確報の発行と合わせて、地区別で結果を見ることができるよう〈地区版〉を作成しました。

分析・考察は、茅ヶ崎市社会福祉協議会の第2層地域支え合い推進員(地区担当職員)が、各地区の地域包括支援センターのご協力を得て担当しました。

この〈地区版〉は、

- ◆市全域の傾向だけでは見えにくい、地区ならではの困りごとの傾向を掴む一つの視点として
- ◆どのような支援が求められるかの話し合いなど、各地区での取り組みを考えるためのヒントとして

ご活用いただけると良いと考えています。

# 確報〈地区版〉の活用にあたって

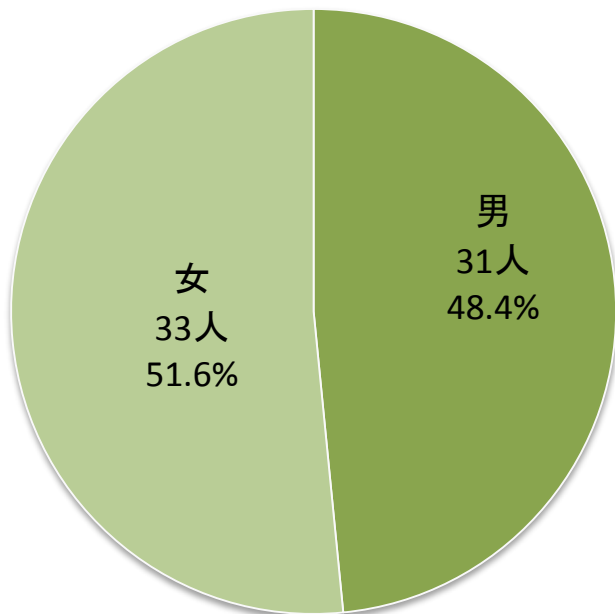
- \* 〈地区版〉は、別冊の確報とあわせてご活用ください。
- \* 基本項目 (調査票 問2~4より)
  - 介護認定関連項目 (調査票 問5~7より)
  - 外出関連項目 (調査票 問8、13より)
  - 特に大変と感じる外出について (調査票 問10~12より)の個別の結果については、数字から読み取れる事柄を主に示しています。
- \* ≪市全域との比較≫については、確報(市域版)に記載している数との比較で示しています。
- \* ≪全体考察≫については、調査が「外出・移動」に関する内容であることから、各地区の地理的・環境的な要素等も踏まえた考察を示しています。

# 茅ヶ崎地区

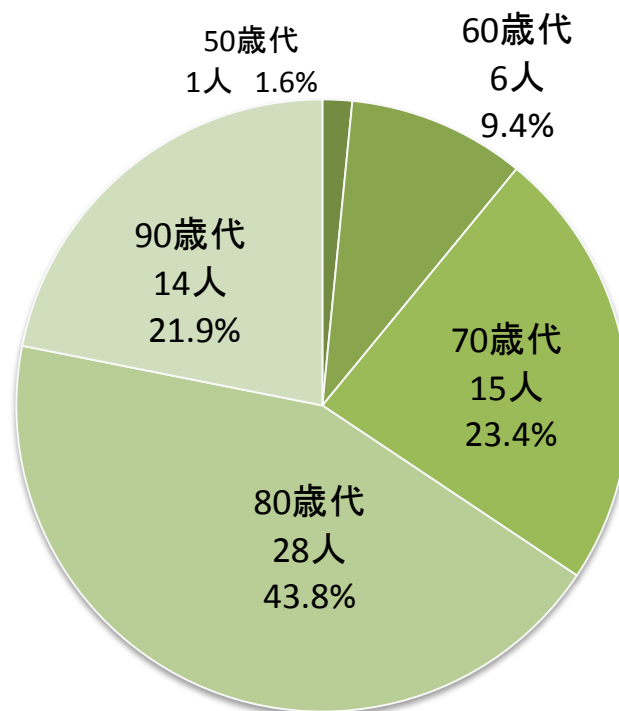
【回答数：64人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



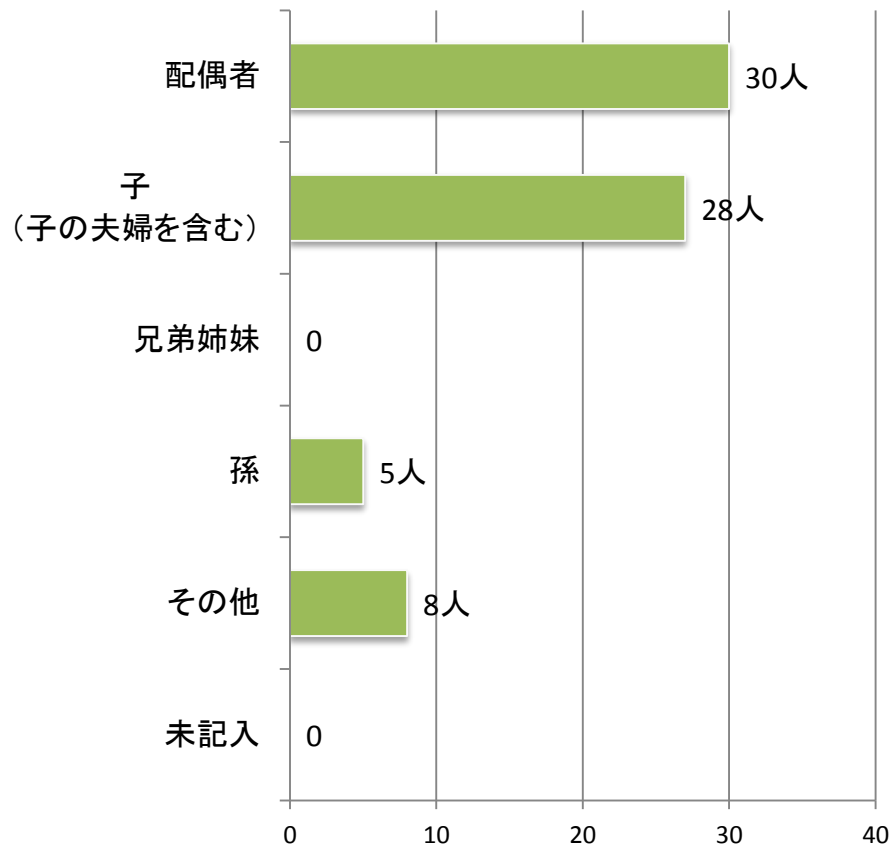
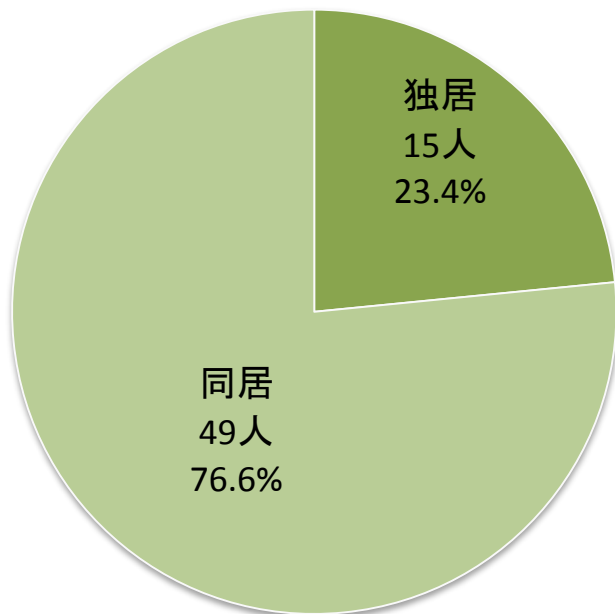
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 茅ヶ崎地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？

(複数回答)



# 茅ヶ崎地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 「性別」、「誰と同居か」については、市全域と差が少ない。(問2・問4)
- 同居しているかについては、同居の割合が大きい。(問4)
- 年齢は、80代、90代が多い。(問3)

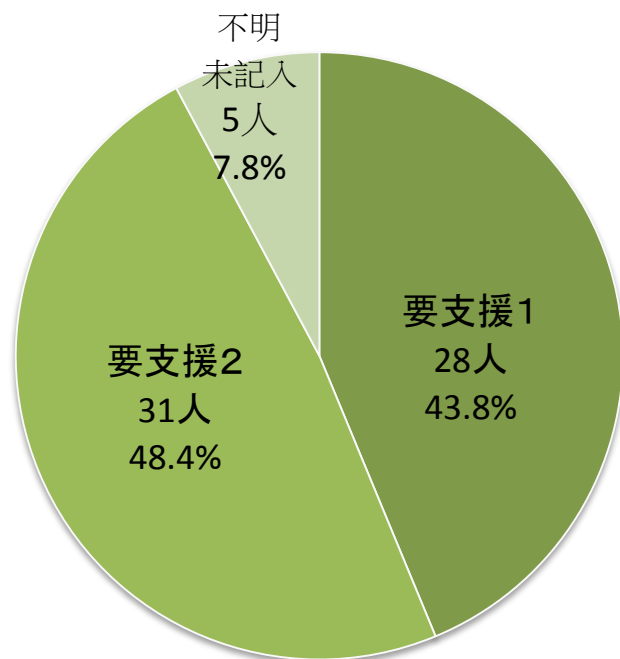
## 《考察》

- マンションが多い地域で、新築のマンションには若い世代の居住者が多い。高齢化率や世帯構成は市内平均である。
- 住民の声では、地区によっては同敷地内に家を建て子どもと近くに住む等見られるが、茅ヶ崎地区は土地がないために子どもが帰ってこない傾向が高いよう。家の取り壊しも最近多いが建替えではなく、売ってしまい別の人が住むケースが増えているという(茅ヶ崎コミセン前、梅田中学校前の土地等)。ただし、本村の方は土地があり、地区内でばらつきはある。「土地に愛着がないのだろうか」という住民からの声もある。
- 一方で、福祉相談室の見解としては、一度市外へ出た子どもが高齢となり、戻ってきたケースの相談件数が多いため、子との同居が多いと考えている。いわゆる「8050問題」と謳われる世帯が増えてきていることが想定される。

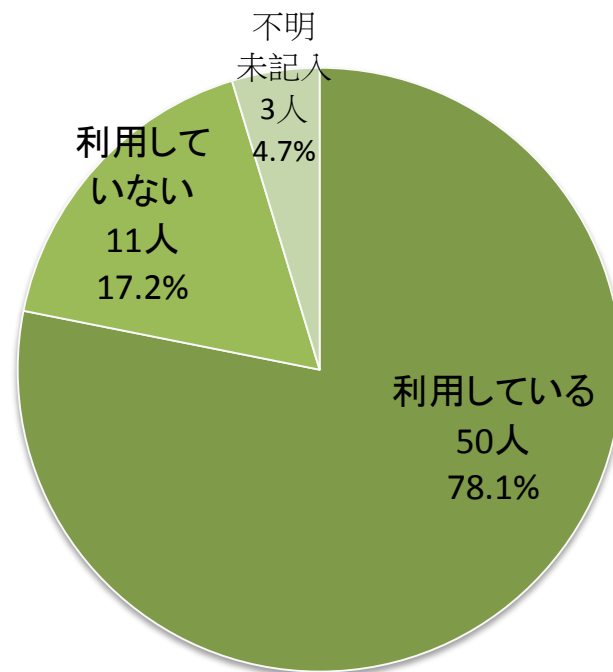
# 茅ヶ崎地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



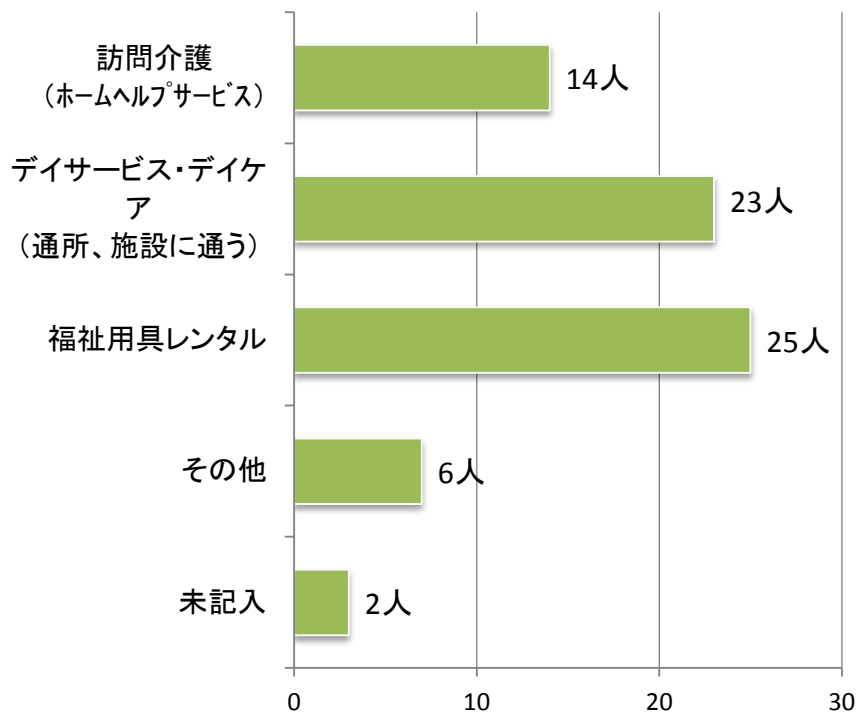
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



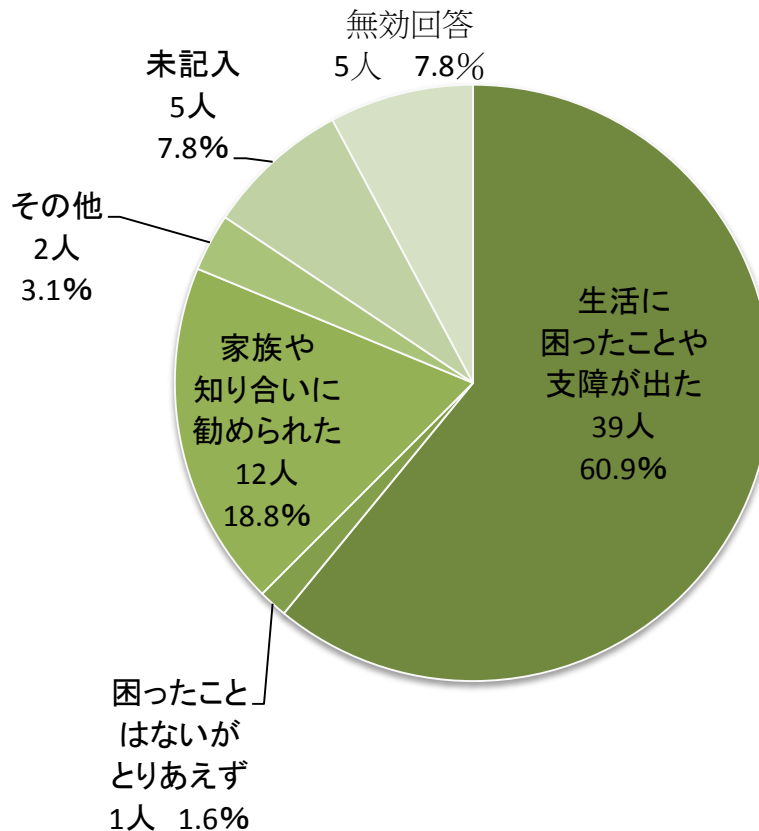
# 茅ヶ崎地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 茅ヶ崎地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定は要支援1の割合が市より小さく、要支援2の差は少ない。（問5）
- 介護保険サービスは、「利用している」人が多い。（問6）
- 利用しているサービスは「デイサービス・デイケア」より「福祉用具レンタル」の割合が大きい。（問6-2）
- 介護保険申請の理由は「生活するのに困ったことや支障が出たため」が多く、「困ったことはないがとりあえず」が少ない。（問7）

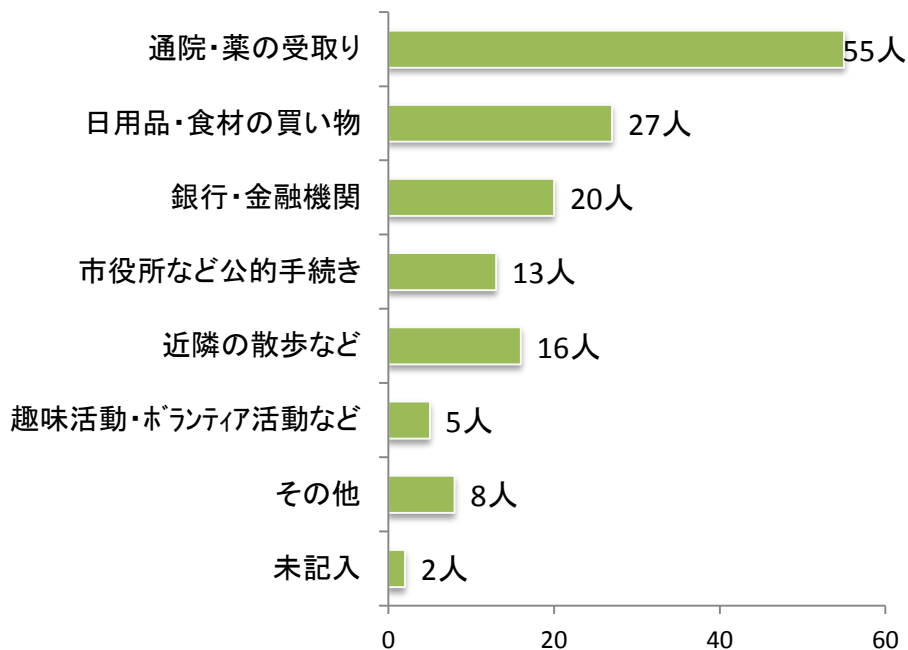
## 《考察》

- 生活するのに困ったことや支障が出てきてサービスを利用するという割合が、市全体の統計と比べて大きい。

# 茅ヶ崎地区

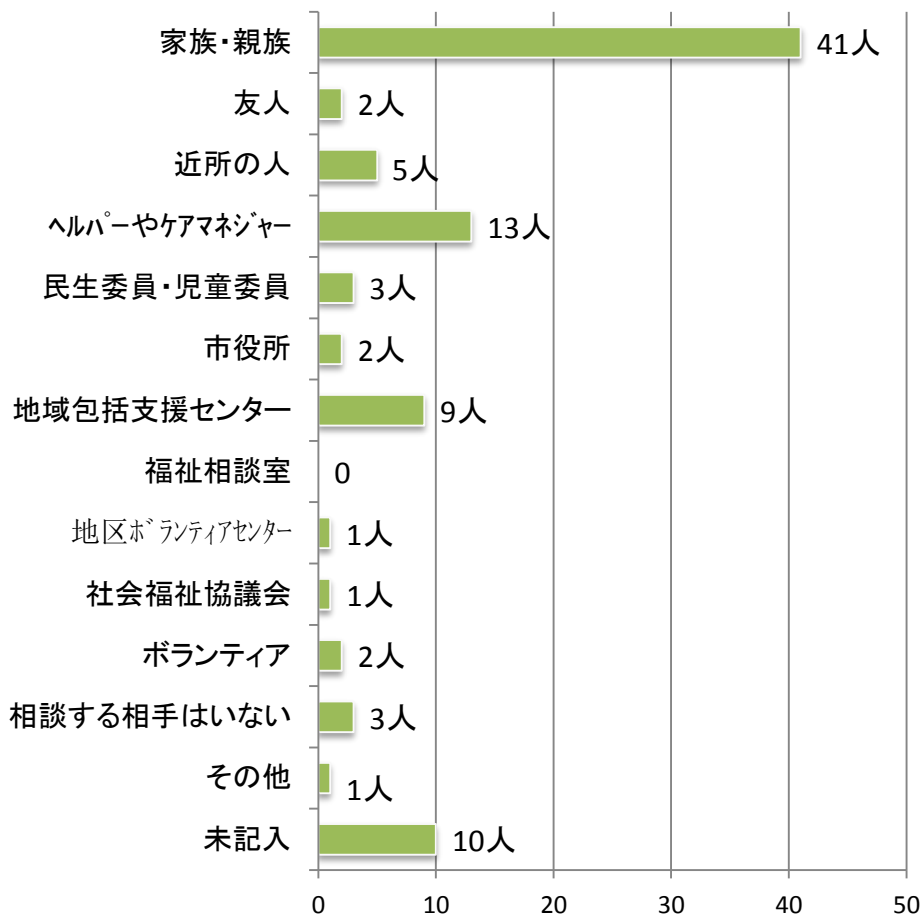
～外出関連～

問8 普段良く出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他： パーマ屋、職場、会社  
歩けない等

問13 外出について困ったことがある時など  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 茅ヶ崎地区

## 《外出関連 問8～問13 について 市全域との比較》

- 普段良く出かける場所は、「通院・薬の受け取り」が多い。(問8)
- 外出について困ったことがある時、誰に相談するかは、差が少ない。(問13)

## 《考察》

- 茅ヶ崎地区には市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会など徒歩圏内に相談窓口があるが、「家族・親族」、「近所の人」への相談が多いのは、どこに相談したら良いのか分からない場合があると考えられる。身近な相談窓口周知に努めるべく、地域包括支援センター・福祉相談室との連携をより強固なものにしていく必要がある。

# 茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計34)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	17
	5 その他	5
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計34)	1 早朝(8時以前)	2
	2 午前中	27
	3 午後	2
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
	③交通手段 (計51)	1 徒歩
2 自転車		3
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		5
4 施設・店舗の無料バス		3
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		14
7 タクシー		15
8 福祉タクシー		1
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計64)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	23
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	5
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	4
④で6を選んだ 人 (計17)	未記入	1
	1 家族	13
	2 友人	0
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	0
	5 その他	3
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 回答数 64人中で見ると、34人(全体の52%)が困っている。
- 駅前に主要な機関や施設が集中しているため、相対的に「通院・薬の受け取り」が一番大変と感じる結果となった面もあると考えられる。薬は『なくなったら貰いに行かなければならない』との義務感からも、大変と捉える傾向が強くなることもあるだろう。
- 例えば、市立病院は院外処方なので先の薬局まで歩かなければならず、待ち時間も長くなれば疲弊してしまうことも考えられ、薬は後日家族が取りに行く等の対応をしているケースもあるようだ。
- 「通院・薬の受け取り」が一番大変と感じる人が多いことは、居宅療養管理指導のサービスを知らない人が多いことが想定される。
- 交通手段に「家族等が運転する車」、「タクシー」を選択している人が特に多い。地区内には市立病院、茅ヶ崎中央病院などの総合病院や多数のクリニックがあり、市立病院行きのバス・コミバスも存在するが、「バス」や「徒歩」の回答数は少ない。車の利用は、市外の医療機関を利用する人もいることが考えられる。



# 茅ヶ崎地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計25)	1 週に4回以上	4
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	6
	4 月に1～2回	5
	5 その他	4
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計25)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	15
	3 午後	6
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	1
③交通手段 (計39)	1 徒歩	10
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	9
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	1

④大変な理由 (計46)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	1
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かないので 付添が必要	10
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計10)	未記入	3
	1 家族	9
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の買い物と回答した人

# 茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## ＜＜考察＞＞

- 回答数 64人中で見ると、25人(全体の39%)が困っている。
- 他の外出目的に比べて、「徒歩」を主な交通手段とする人が多いことから、徒歩圏内にスーパーやコンビニが存在することが推察される。
- 「体がきつい」、「一人では行かれないので付添が必要」と感じる人が多いという結果から、一度に多くの買い物をし、荷物を持つ負担があるのではないかということや、マンション住まいの高齢者も多いため、エレベーターや階段、ドアの開け締めで苦労があるかもしれないといったことも考えられる。
- 「徒歩」で出る人が多いことを考えると、茅ヶ崎駅前を含むこのエリアは自転車や車の走行も多く、高齢者にとっては慌てたり、危険を感じることもあると思われる。人が集中するエリアでは道を譲る、交通ルールを守るなどハード面以外での整備が求められるのではないだろうか。

# 茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	10
	5 その他	4
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	18
	3 午後	2
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計33)	1 徒歩	6
	2 自転車	4
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	3
	7 タクシー	7
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	2
	未記入	3

④大変な理由 (計40)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	0
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	14
	4 交通費が負担	4
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かないので 付添が必要	6
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計6)	未記入	4
	1 家族	4
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	2
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と  
回答した人

# 茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## ＜＜考察＞＞

- 回答数64人中で見ると、23人(全体の36%)が困っている。
- 茅ヶ崎地区は他地区と比較して、駅に近いため、金融機関への交通手段で不便を感じることは少ないと思われる。
- 付添として「家族」を挙げる人も多いが、他項目に比べ「その他」の選択が目立つ。  
外出手段というよりも、手続きの方法や案内板が見えない、聞こえない等の不安を抱えている人が多いのではないかと予想される。
- 銀行・金融機関へは「家族が運転する車」、「家族」の付添を選択する人が少ない。  
本人が行かなければならないこと多く、家族には頼みづらいことが想定される。

# 茅ヶ崎地区

## 《全体考察》

- 地区傾向としては、全体的にバス等の車利用が多い。  
茅ヶ崎駅前の地区であり、どこへ行くのにも徒歩圏内であると考えがちだが、地区が東西に長く広がっている。茅ヶ崎駅から遠い住居については、車・公共交通機関を利用しないと十分な距離だと想定される。
- 公共交通機関については、コミュニティバスは病院行きのみ、バス停は国道1号線沿いに出ないとならないので使いづらいとの意見が出ている。その為、多少高くとも、1メートル料金で行きたい場所へ行けるタクシーは地区住民にとって、便利な交通手段であると考えられる。
- マンションが多い地区であり、築年数が古いマンションに住む人が高齢化している。古いマンションは階段のみであったり、エレベーターは隔階にしか止まらないなどのため、家から出ることを億劫に感じる人がいると想定される。
- 平成29年4月から、茅ヶ崎駅の南側5自治会が茅ヶ崎南地区として分離した。地域包括支援センターが管轄する地区割がよりコンパクトになる。自治会や民生委員・児童委員の数は多いが、地区社会福祉協議会との連携も出来ていると思われる。

# 茅ヶ崎地区

## 《全体考察》

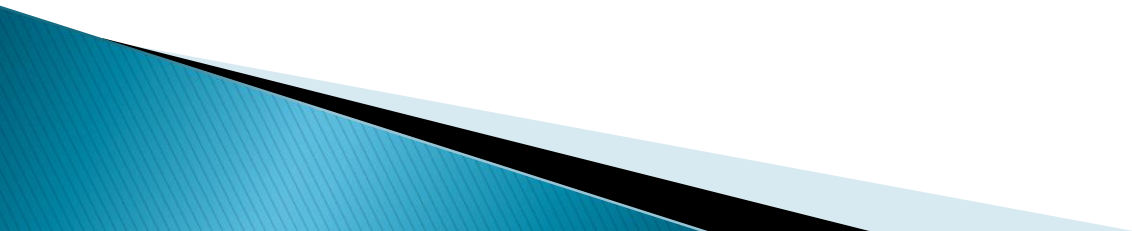
- 地区傾向としては、全体的にバス等の車利用が多い。  
茅ヶ崎駅前の地区であり、どこへ行くのにも徒歩圏内であると考えがちだが、地区が東西に長く広がっている。茅ヶ崎駅から遠い住居については、車・公共交通機関を利用しないと十分な距離だと想定される。
- 公共交通機関については、コミュニティバスは病院行きのみ、バス停は国道1号線沿いに出ないとならないので使いづらいとの意見が出ている。その為、多少高くとも、1メートル料金で行きたい場所へ行けるタクシーは地区住民にとって、便利な交通手段であると考えられる。
- マンションが多い地区であり、築年数が古いマンションに住む人が高齢化している。古いマンションは階段のみであったり、エレベーターは隔階にしか止まらないなどのため、家から出ることを億劫に感じる人がいると想定される。
- 平成29年4月から、茅ヶ崎駅の南側5自治会が茅ヶ崎南地区として分離した。地域包括支援センターが管轄する地区割がよりコンパクトになる。自治会や民生委員・児童委員の数は多いが、地区社会福祉協議会との連携も出来ていると思われる。



# 茅ヶ崎地区

## 《全体考察》

- 地区傾向としては、全体的にバス等の車利用が多い。  
茅ヶ崎駅前地区であり、どこへ行くのにも徒歩圏内であると考えがちだが、地区が東西に長く広がっている。茅ヶ崎駅から遠い住居については、車・公共交通機関を利用しないと十分な距離だと想定される。
- 公共交通機関については、コミュニティバスは病院行きのみ、バス停は国道1号線沿いに出ないとならないので使いづらいとの意見が出ている。その為、多少高くとも、1メートル料金で行きたい場所へ行けるタクシーは地区住民にとって、便利な交通手段であると考えられる。
- マンションが多い地区であり、築年数が古いマンションに住む人が高齢化している。古いマンションは階段のみであったり、エレベーターは隔階にしか止まらないなどのため、家から出ることを億劫に感じる人がいると想定される。
- 平成29年4月から、茅ヶ崎駅の南側5自治会が茅ヶ崎南地区として分離し、令和元年10月からは地域包括支援センターが管轄する地区割がよりコンパクトになった。自治会や民生委員・児童委員の数は多いが、地区社会福祉協議会との連携も出来ていると思われる。



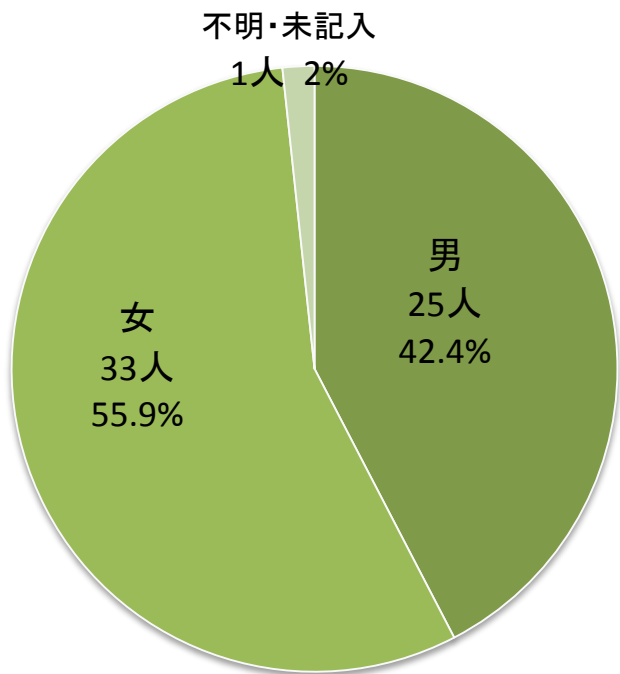


# 茅ヶ崎南地区

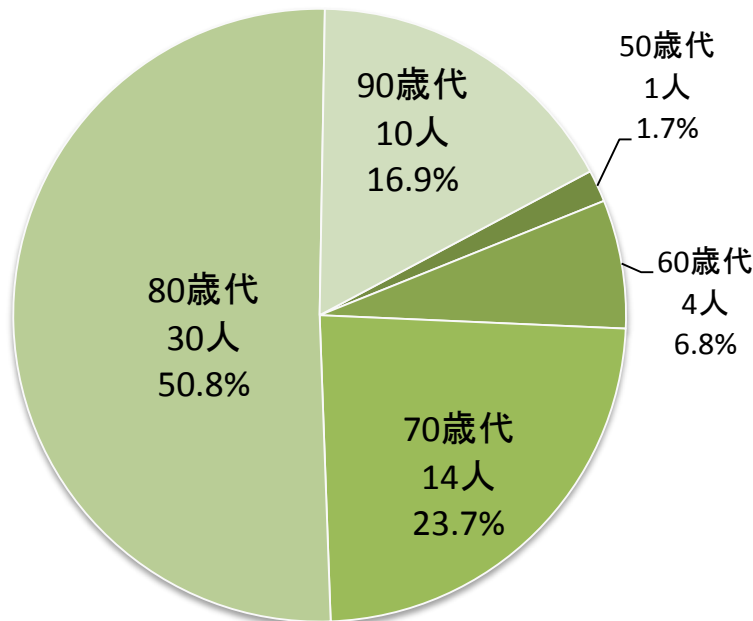
【回答数：59人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



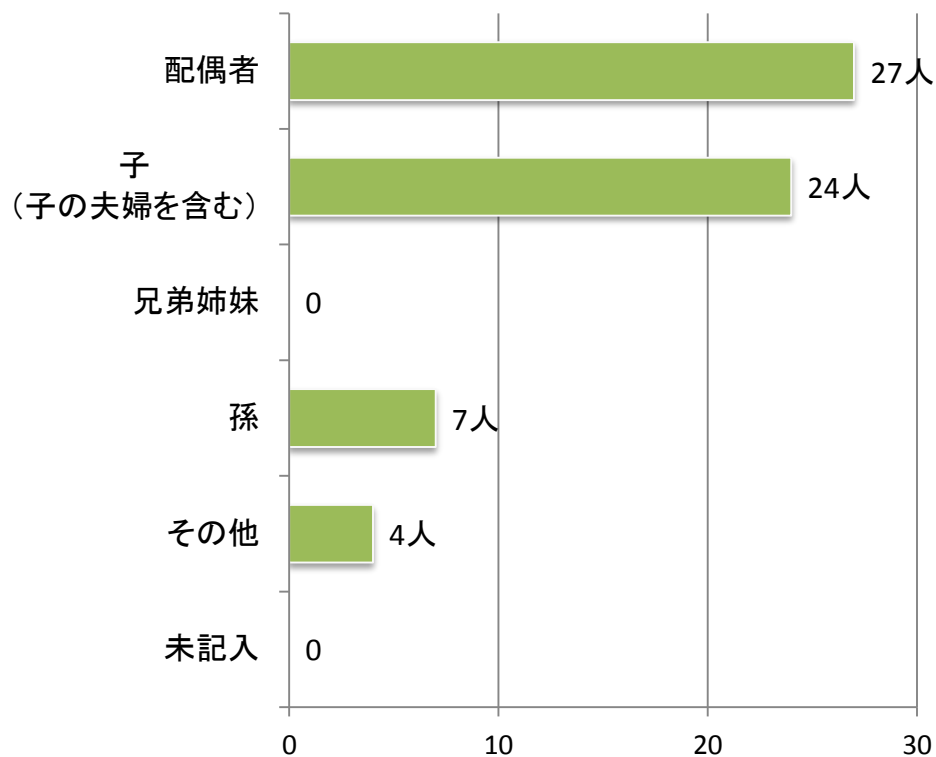
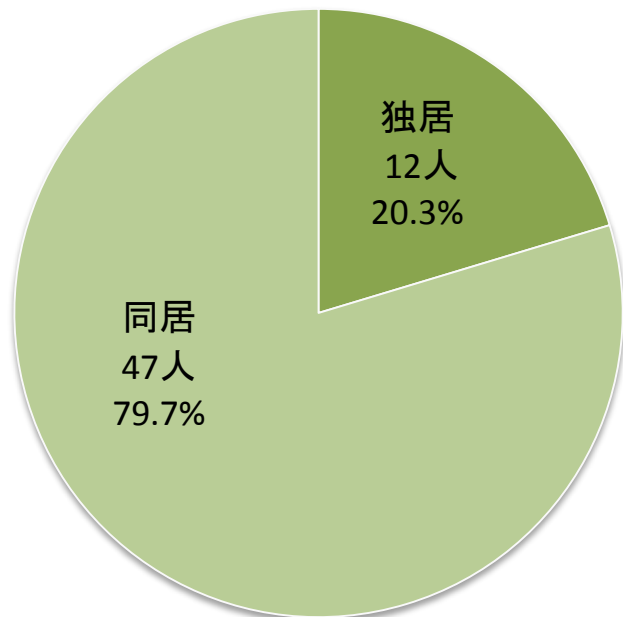
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 茅ヶ崎南地区

～基本項目～

## 問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？

(複数回答)

# 茅ヶ崎南地区

## 《基本項目 問2～問4について 市全域との比較》

- 性別・年齢共に市全域の平均値と概ね同様の結果となっている。(問2・問3)
- 同居しているかについては、「同居」との回答が79.7%と、市全域の72.6%に比べ、  
7%高い。(問4)
- 同居している人の比率は小出地区に次いで市内で2番目に高い。(問4)

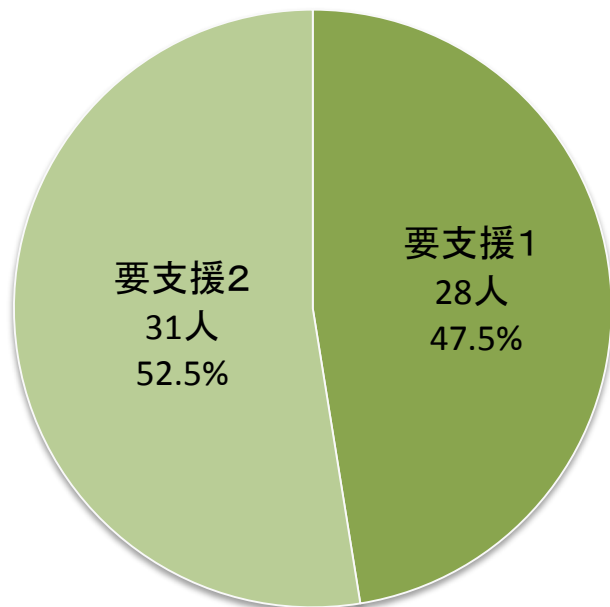
## 《考察》

同居している人の比率が他地区に比べて高く、その内訳は、市全域と比べても配偶者が多い。高齢者世帯(高齢者人数が多い世帯)の比率が高いことがうかがえる。

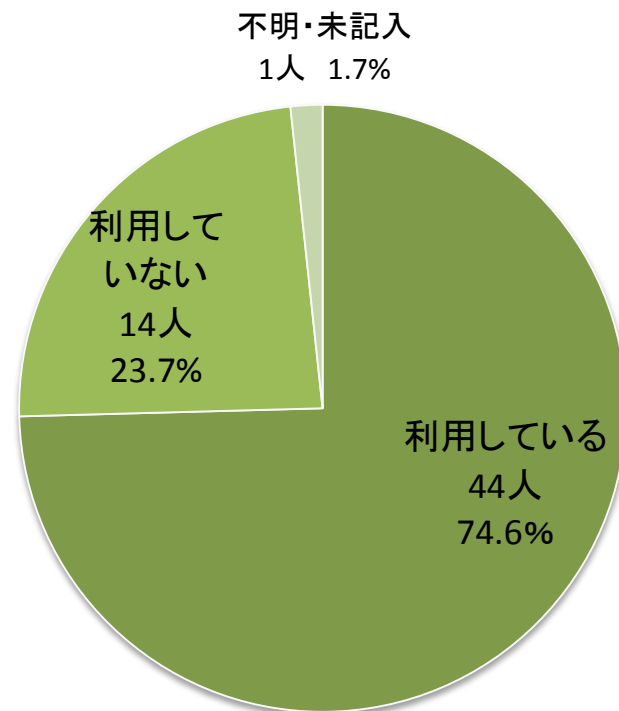
# 茅ヶ崎南地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



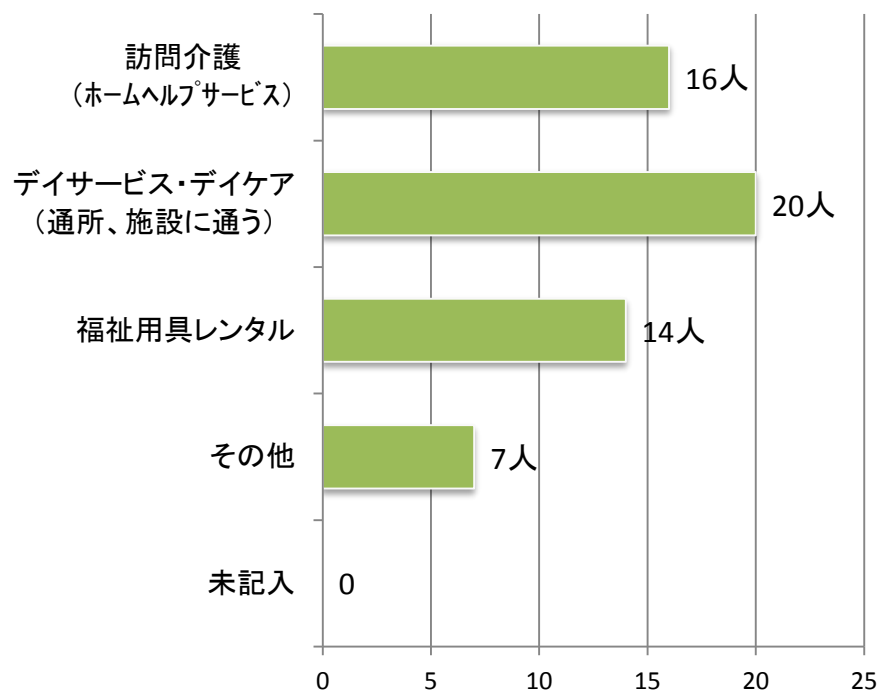
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



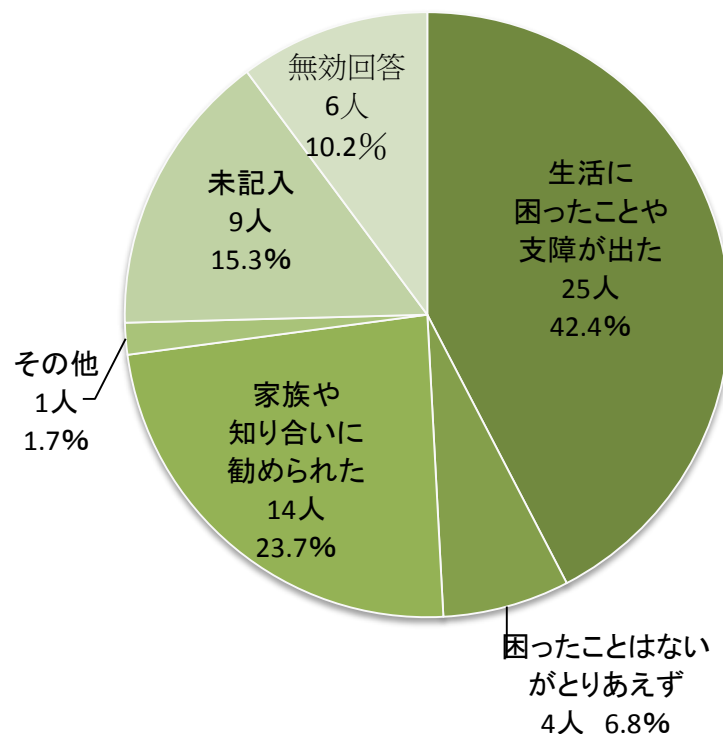
# 茅ヶ崎南地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 茅ヶ崎南地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 要支援2の認定を受けている人が、市全域に比べ6%多い。(問5)
- 但しサービスを利用している人の比率は市全域とあまり変わらない。(問6)
- 「訪問介護」を利用している人の比率が市全域より高い。(問6-2)
- 介護保険申請の理由は、市全域に比べて「家族や知り合いに勧められた」の比率が高い。(問7)

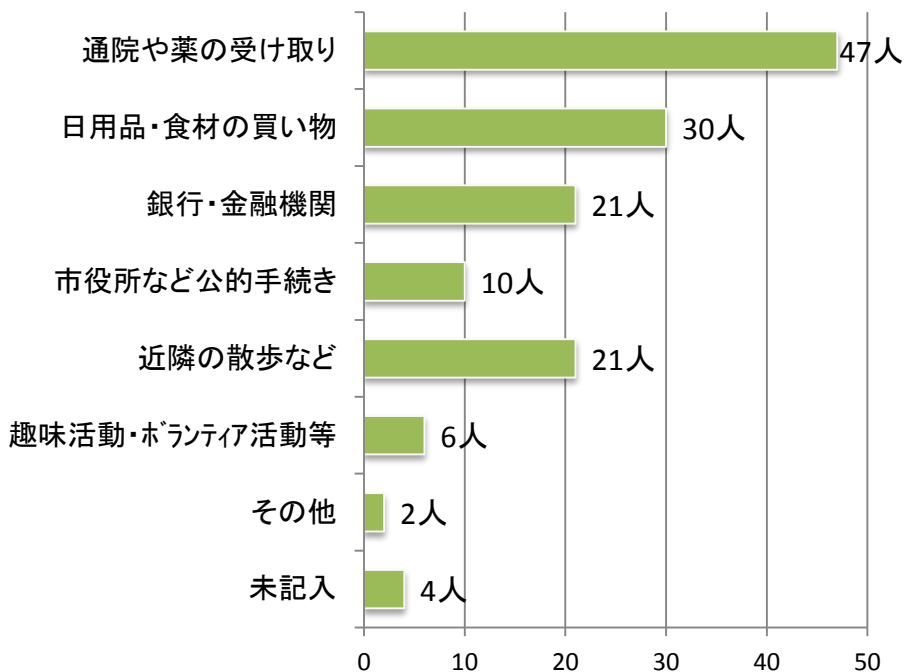
## 《考察》

- 介護保険申請を他者から勧められる程度の動作能力の低下があってから申請を行うケースが多いことがうかがえ、傾向として、人の手を極力借りたくない、もしくは近い親族の協力を頼って生活を送りたい、という風に考えている人が多いと考えられる。
- 「訪問介護」を利用している方が少ないのは、同居家族がいる世帯が多い事が影響しているものと思われる。

# 茅ヶ崎南地区

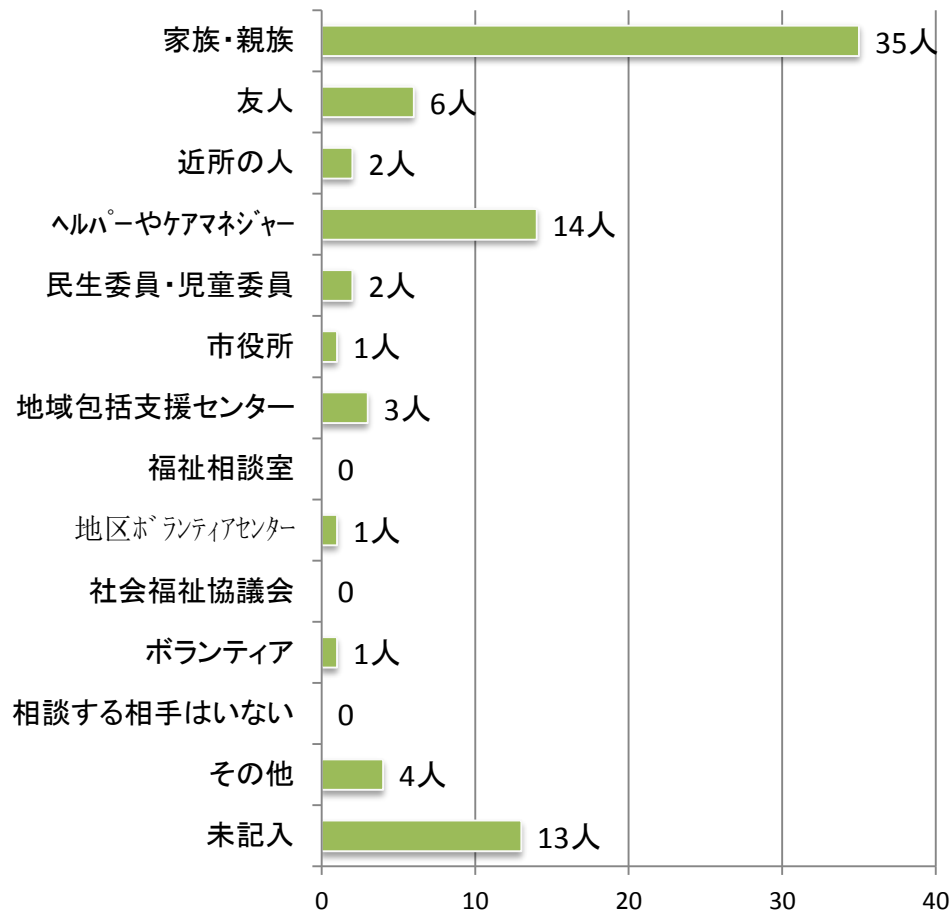
～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他： お寺、図書館

問13 外出について困ったことがある時など  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 茅ヶ崎南地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 普段よく出かけるところの傾向は、他地区とほぼ同様で、市全域の数値と1～2%の差に収まっている。(問8)
- 外出についての相談先の比率も市全域と大きく変わらない。(問13)

## 《考察》

- この項目については、市全域に比べ大きな差異はない。  
駅周辺で商店も多いが、良く出かけるところにそういった傾向も表れておらず、外出の用件は「生活に必要な外出」に限られていることがうかがえる。



# 茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計27)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	4
	4 月に1～2回	13
	5 その他	6
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計27)	1 早朝(8時以前)	2
	2 午前中	16
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計45)	1 徒歩	11
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	16
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計57)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	21
	4 交通費が負担	4
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	16
	7 その他	4
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	2
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 「徒歩」、「家族等の運転する車」、「タクシー」の3つが主な交通手段となっているが、特に「徒歩」、「タクシー」は、他地区に比べても最も多い。南口に面し、徒歩圏域で用件を済ませることが出来ている可能性がある他、タクシーの拾いやすさも影響しているものと考えられる。
- 「自分で運転する車」で出るという回答は無かった。バスの利用者も他地区に比べて少ない。上述の通り、比較的近い範囲で用件が完結していると仮説を立てると、タクシーも初乗り料金で移動が可能のため、手間・時間・費用など考えるとその方が利便性が高いとも言える。
- ④大変な理由は「身体がきつい」が最も多いが、市全域と比べると平均程度。「交通が不便」という理由は少なく、他地区に比べると「その他」が多い。この結果は、かなりパーソナルな事情がある、もしくは「駅が近く資源も多い地区特性上どの項目にも当てはまらないが、漠然と負担感や不安感を感じている」とも読み取れる。
- 「付添が必要」な人は、「家族」に同行を頼んでいる人が多い。同居率の高さが影響しているとも考えられる。

# 茅ヶ崎南地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	4
	2 週に2～3回	9
	3 週に1回	6
	4 月に1～2回	1
	5 その他	1
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	8
	3 午後	12
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計33)	1 徒歩	14
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	4
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	3

④大変な理由 (計48)	1 距離が遠い	5
	2 交通が不便	4
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	20
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かないので 付添が必要	9
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計9)	未記入	2
	1 家族	8
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに日用品食材等の買い物と回答した人

# 茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- ③通院に比べ「徒歩」の比率が増え、「タクシー」の比率が減少している。通院の頻度で最も多いのが「月に1～2回」だが、買い物は「週に2～3回」で頻度が多く、毎回の買い物にタクシーを利用するには経済的な負担が大きくなり過ぎるものと考えられる。
- ④大変な理由は通院と概ね同様だが、「交通が不便」という理由が若干増加している。中海岸地域にスーパーが無く、バスなどの公共交通を利用する人が一定数いる事が関係しているものと思われる。

# 茅ヶ崎地南区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計13)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	0
	4 月に1～2回	7
	5 その他	3
	未記入	3
	無効回答	0
②主な時間帯 (計13)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	6
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計15)	1 徒歩	6
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	1
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	1
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	2

④大変な理由 (計21)	1 距離が遠い	1
	2 交通が不便	0
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	8
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭等)	0
	6 一人では行かれないので 付添が必要	8
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計9)	未記入	1
	1 家族	6
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

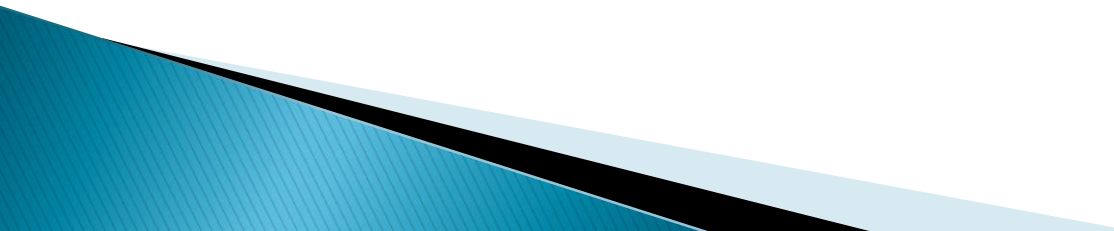
## 《考察》

- ③交通手段は「徒歩」と「タクシー」に二分化されている。頻度は通院と同様で、「月に1～2回」が最も多い。
- 地区内では、金融機関への外出よりも、市役所への手続きに対して大変と感じている人が多い。東海道線の北・南で生活圏域の認識に区切りがある事がうかがえる。

# 茅ヶ崎南地区

## 《全体考察》

- 茅ヶ崎駅南口に面するエリアを含み、他地区に比べると商店や金融機関、クリニックなどが多い地区ではあるが、そういった地域特性がアンケート結果に顕著に表れているかということそうではない。中海岸地域は商店・医療機関が少なく、そういった地区内での地域差により結果が均された可能性もある。また「通院・薬の受け取り」についての「大変な理由」は、他地区に比べても「その他」の回答が多い。この結果は、かなりパーソナルな事情がある、もしくは「駅が近く資源も多い地区特性上どの項目にも当てはまらないが、漠然と負担感や不安感を感じている」とも読み取れる。比較的地域資源が豊富な地区ではあるが、その環境だけでは外出の大変さは解決しないことから、個別の事情に合わせたサポートや、負担感・不安感解消の為の取り組みが必要と言える。
- 茅ヶ崎南地区に住む人の外出手段に「タクシー」が多く使われていることが分かった。上述の地域資源の観点から地区内で用件が完結する事が多く、概ね初乗り料金で移動が済む他、駅が近く手配がし易い事を考えるとバスよりタクシーの方が利便性が高い為と思われる。これは、「地区内の移動」を充実させる外出支援の仕組みのニーズがとても高い事を示していると言える。



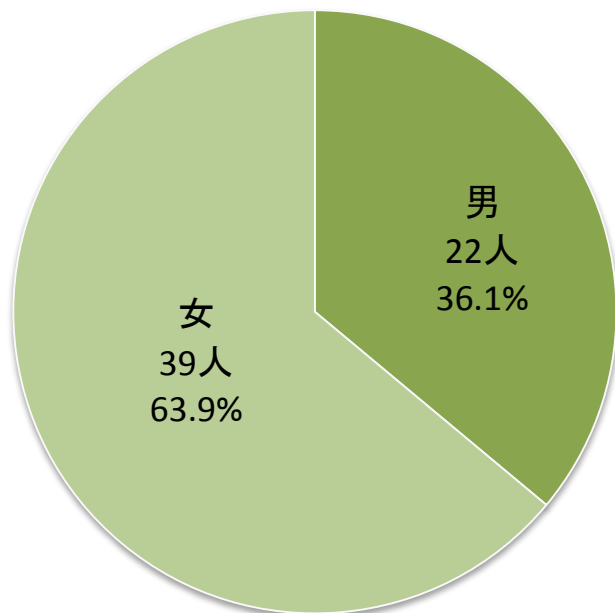


# 南湖地区

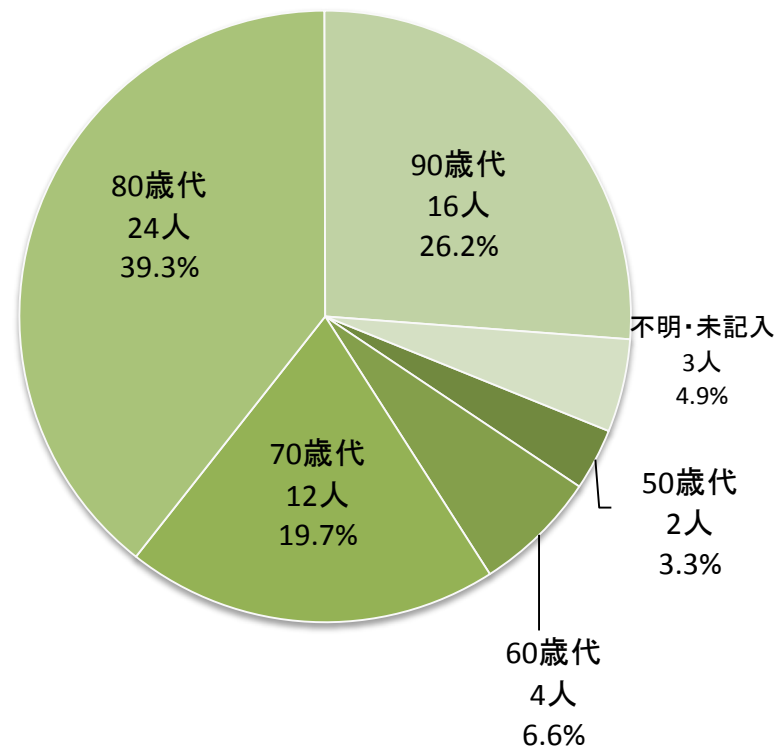
【回答数：61人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



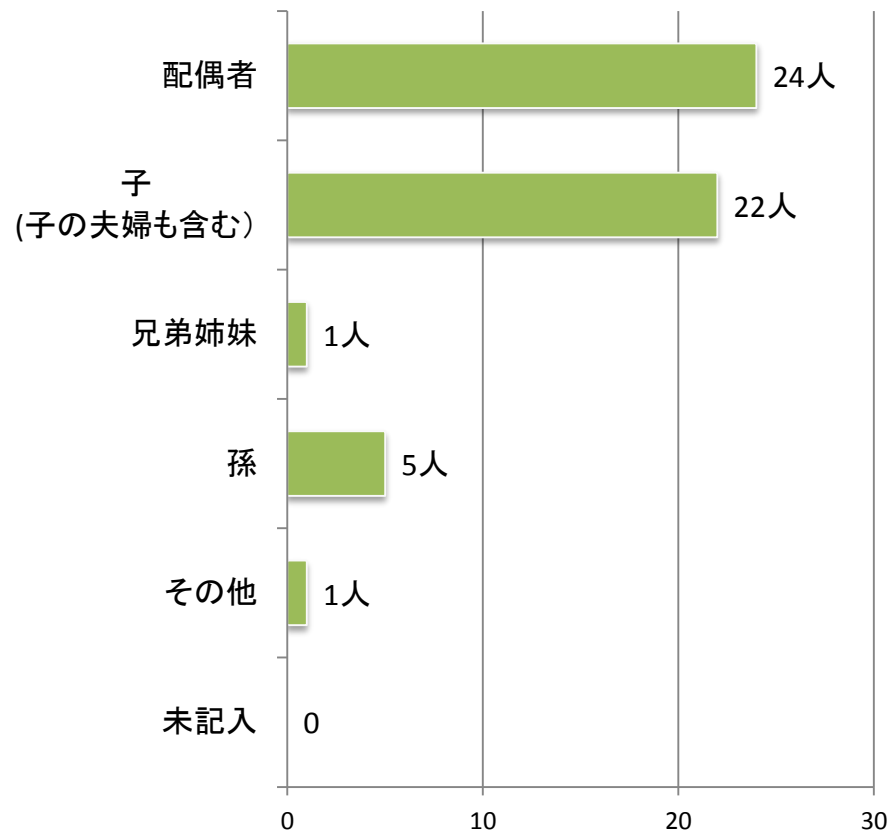
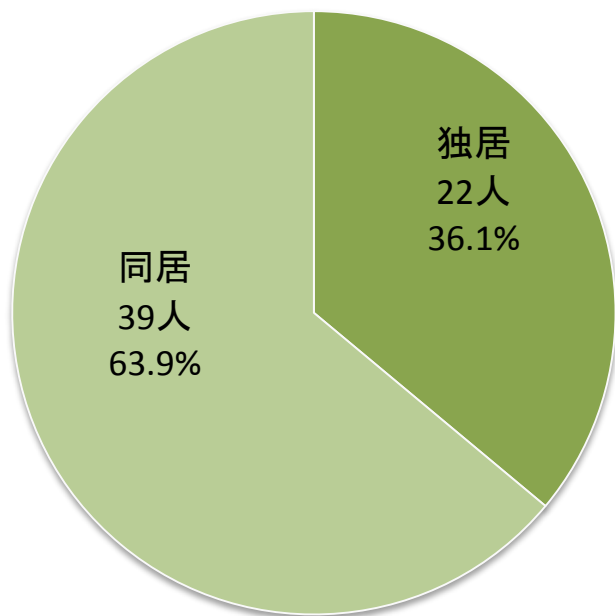
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 南湖地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか  
(複数回答)

# 南湖地区

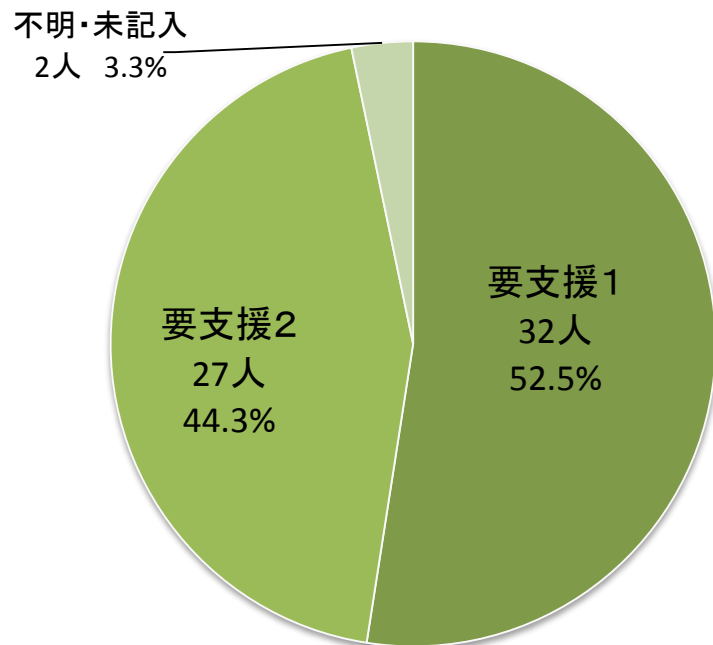
## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 南湖地区100の配布数のうち61と6割強の回答率となった。回答があった中で8割超が70歳以上の回答となり、より後期の高齢者にフォーカスしたアンケート結果と考えることができる。1割は60歳以下の比較的若い年齢の方であった。(問3)
- 南湖地区内の道は狭く入り組んでいるが、住居は1軒1軒の土地が比較的広いところが多く、2世代もしくは3世代で住んでいる世帯も多い。(問4)

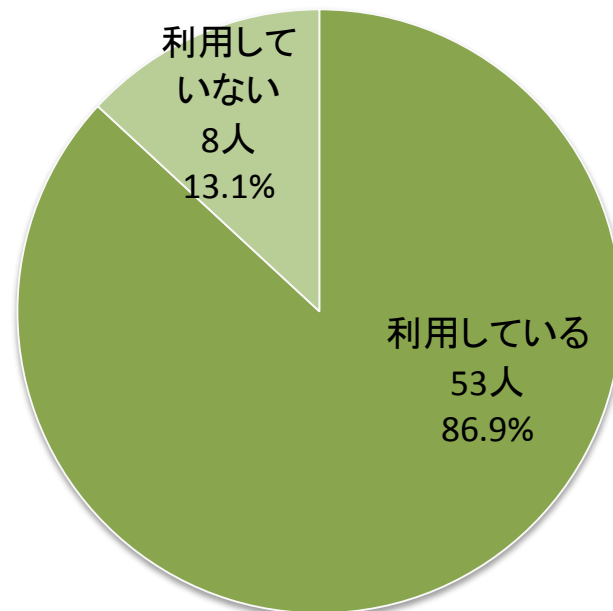
# 南湖地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



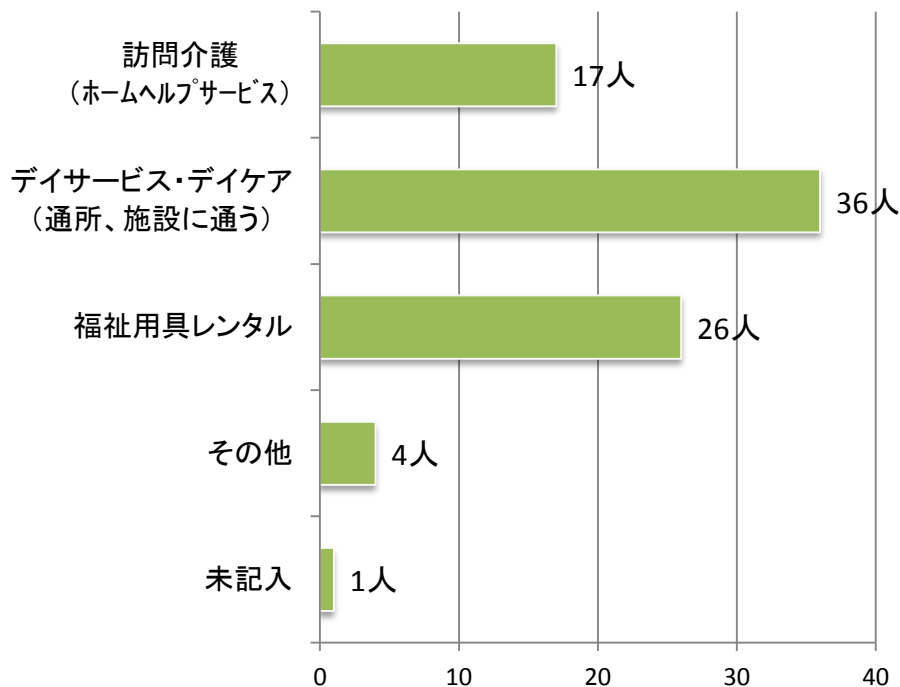
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



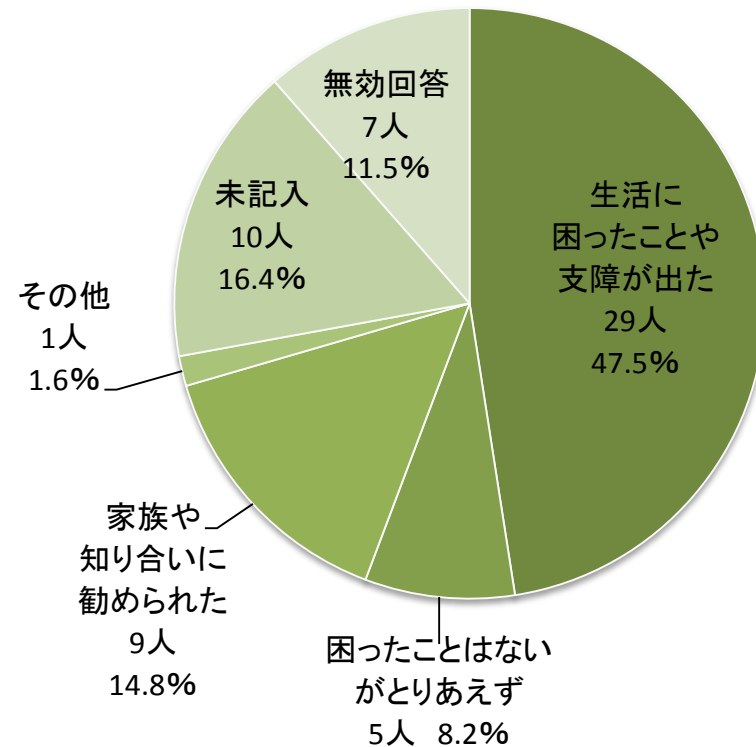
# 南湖地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 南湖地区

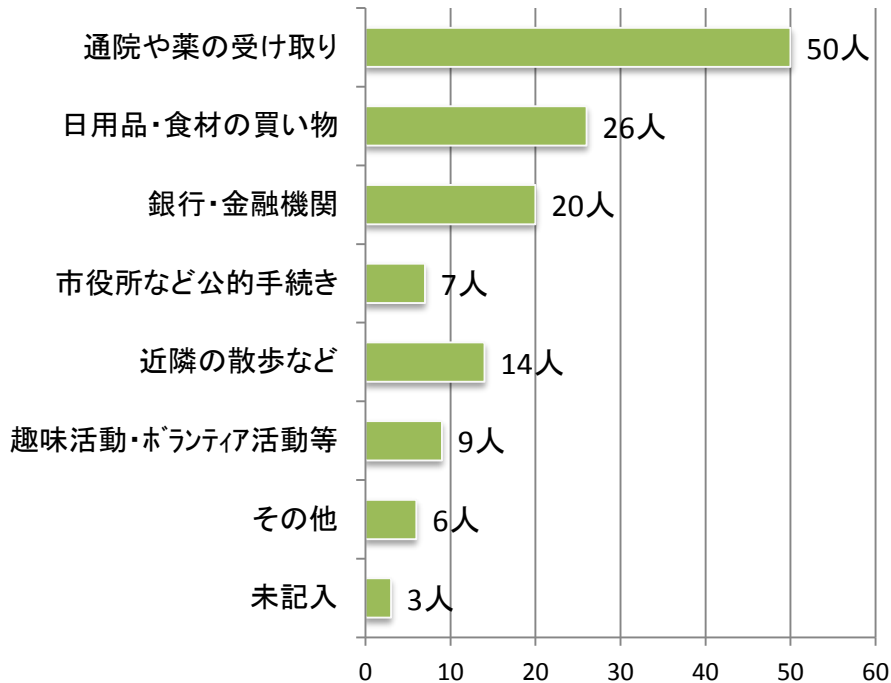
## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- サービス利用状況で8割後半の利用率は市内1番の数値。一方で、1割強は利用していない。(問6)
  - 地域包括支援センターれんげに入る相談でも、怪我や病気、加齢に伴い足腰に支障が出たなど、結果的に「介護保険申請に関する内容」が一番多いと聞いている。その大半が困りごとが発生してからの相談や申請で、4割弱が支障はないものの「一応」、「勧められて」と今後のために申請に至っている。れんげへの相談経路としては「本人や家族」のほか、「近所の人・民生委員からの紹介・勧め」で相談に至ることも多いという。世帯数が少なく、年に1回地区内の関係団体が集まるなど、福祉団体(ボラセンや地区社協、民児協等)の連携が取れていることが要因と考えられる。(問7)
  - 利用しているサービスでは、「デイサービス・デイケア」が回答数全体の4割を超えている。  
包括れんげからは、サービスの申請や相談を受ける中で、筋力維持や運動、外出機会の確保などの「健康維持・閉じこもり防止」、また、公民館にエレベーターがない・場所が遠い、送迎がないと移動できないなどの「移動に関する悩み」ほか、「1人での入浴に不安がある」などの様々な悩みが把握されるとあり、その悩みからサービス利用に至っていると考えられる。(問6-2)
- 《考察》 サービスの利用率が8割後半の中、1割強は利用していない。その理由等を把握できると課題把握のヒントとなる可能性がある。

# 南湖地区

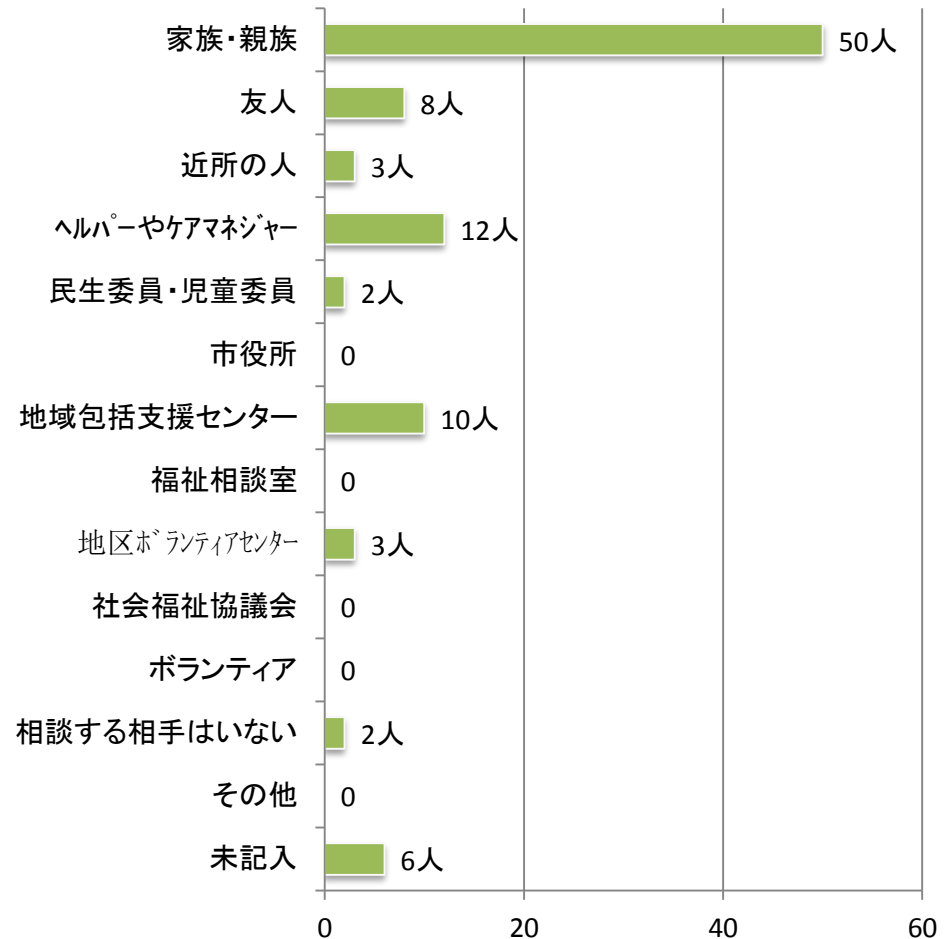
## ～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他：カラオケ、犬の散歩、  
コンビニ、自転車散歩等

問13 外出について困ったことがある時などは  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 南湖地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 「買い物」を超える割合で「通院や薬の受取り」が多く、市とも同じ傾向。(問8)
- 外出の相談先では、圧倒的に「家族・親族」が多く、同居もしくは近くに住んでいる可能性が高い。また、公的機関だけではなく、「友人」や「近所の人」のほか、「地区ボランティアセンター」や「民生委員・児童委員」という地域の団体へ相談するという人もいて、地域団体の認知もあるよう。(問13)

## 《考察》

「趣味・ボランティア活動等」の数値が低い理由としては、前述問5～問7の考察でも述べたように、健康に対する意識が強く、介護保険サービスの利用で希望の活動(体操等)が出来ていることや、求めている内容は現在のサロン(おしゃべり等)では達成できないことが考えられる。包括れんげでは、男性から「サロンで人間関係を築くのが面倒」という意見を聞いたということ。



# 南湖地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計30)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	7
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	16
	5 その他	0
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計30)	1 早朝（8時以前）	0
	2 午前中	22
	3 午後	7
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計46)	1 徒歩
2 自転車		4
3 バス (路線・えぼし号・予約乗 合)		11
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		10
7 タクシー		9
8 福祉タクシー		2
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計53)	1 距離が遠い	5
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	21
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	16
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計18)	未記入	1
	1 家族	15
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 南湖地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- ① 何科への通院と薬なのかは不明だが、「月1～2回」の通院が多い中、認定区分の中で軽度である要支援1・2でも毎週の通院が必要な方がいる。
- ② 通院する時間帯は「午前中」が多く、アンケート回答者などがサロンに参加できるようにするためには、午後からのサロンを検討することも一つである。
- ③ 「バス」と同じ割合で「タクシー」がある。地区内は道が狭くバスが入れないため、  
大通り付近に住んでいる住民はバス利用が比較的可能だが、大通りから離れていると「家族等が運転する車」かタクシーに頼らざるを得ないと考えられる。  
:「施設・店舗の無料バス」を使用している人がいることから、そのようなサービスがあることをもっと周知できれば、負担が少なくなる可能性が考えられる。
- ④ 距離や道に関する選択肢(1・2・5)の割合は低いが、選択肢3及び6が高く一人では通院等しづらい状況。付添いはほぼ「家族」に依頼できていると考えられる。

# 南湖地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計28)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	12
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	4
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計28)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	20
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計43)	1 徒歩	11
	2 自転車	5
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	0

④大変な理由 (計45)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	22
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計14)	未記入	1
	1 家族	12
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の買い物と回答した人

# 南湖地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- ① 毎週買い物で出かけていると考えられる数値。
- ② 昼間(特に午前中)の買い物が多く、夕方に出かけることはない。
- ③④ :「徒歩」と「家族等が運転する車」の割合が高い。近くにハマミーナがある反面、地区内部に入ると徒歩圏内に店は少ない。大通り沿い及びハマミーナ付近の住民は自分自身でも買い物できるが、遠いと持ち運びも含めて付添いが必要なのではと考えられる。  
:「施設・店舗の無料バス」を使用している人がいることから、そのようなサービスがあることをもっと周知できれば、負担が少なくなる可能性が考えられる。

# 南湖地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計18)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	12
	5 その他	2
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計18)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	11
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計27)	1 徒歩	5
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	2
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	0

④大変な理由 (計35)	1 距離が遠い	4
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	12
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	0
	6 一人では行かれないので 付添が必要	11
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	0
	1 家族	8
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 南湖地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

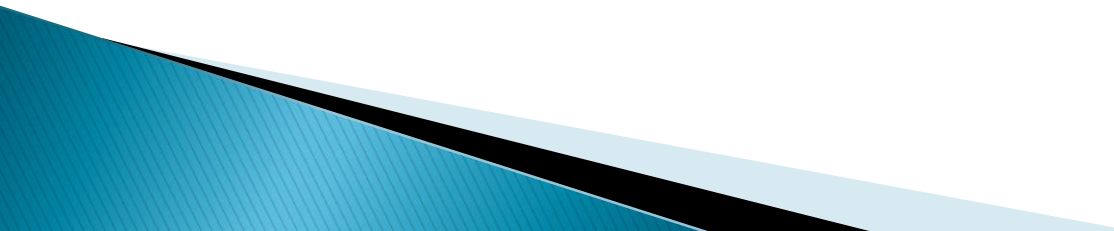
## 《考察》

- ① 通院や買い物に比べると外出の頻度は少なくなる。
- ② 時間帯としては午前中に利用する方が多い。
- ③ 金融機関等の無料バスがあるかは不明。おそらく他の無料バス(徳洲会病院のバス等)を上手く活用しているものと考えられる。
- ④ 金融機関への付添だけ「友人」が他よりも多くなっている。昔から住んでいる住民と新しく引越してきた住民がいる南湖地区では、付き合いが長い知り合いにはお金関係の付添も依頼しやすいのかもしれない。

# 南湖地区

## 《全体考察》

- 南湖地区は茅ヶ崎市市内でも世帯数が少ない。このため地域団体内でも兼務が多く、  
組織同士の連携が取りやすいこともあり、相互に相談をしたり、支援をしあえる環境が比較的整っている。
- 外出は午前中に集中しているため、サロンに参加できるようにしていくためには、時間帯を検討(午後の開催)することも必要。
- また、健康への意識が強く、身体機能を維持できるような内容が求められているため、事業所と連携し、会場と講師派遣をコーディネートしてサロンを行うというやり方も一つではないかと考える。
- 地区北部はサロン等の会場として使用できる場所がなく、空き家等の利活用を検討する必要がある。
- 移動手段では「施設・店舗の無料バス」が挙げられている。上手く周知・活用できれば、外出への負担が軽くなるのではないかと考える。  
また、地区内でも大通り沿いではなく、道が狭くバスなどの交通機関が利用し難い地区の中ほどの住民はタクシー等を利用することとなるため、外出への負担を軽くするには、活用できる資源などの把握・周知も必要である。



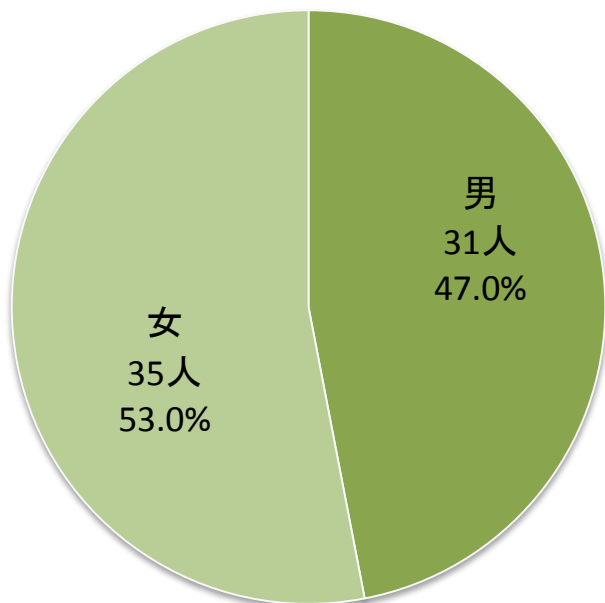


# 海岸地区

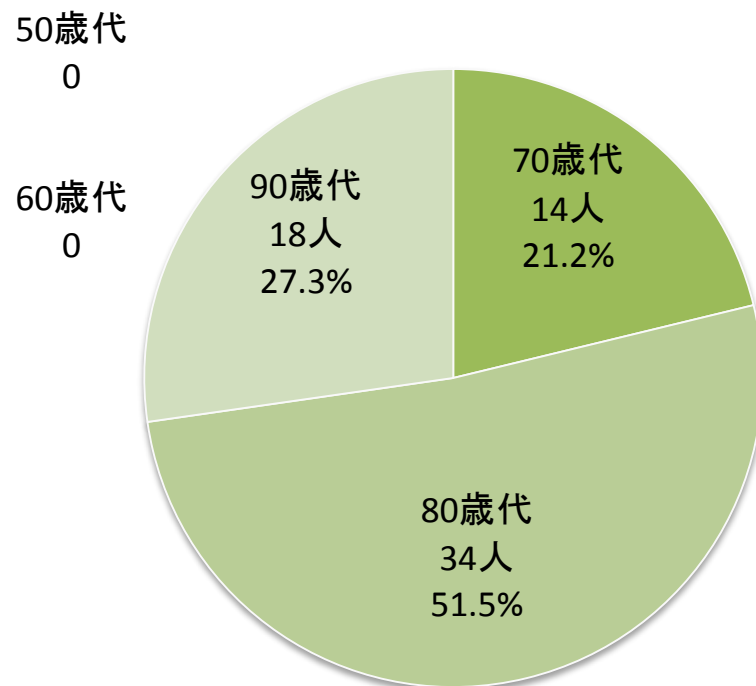
【回答数：66人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



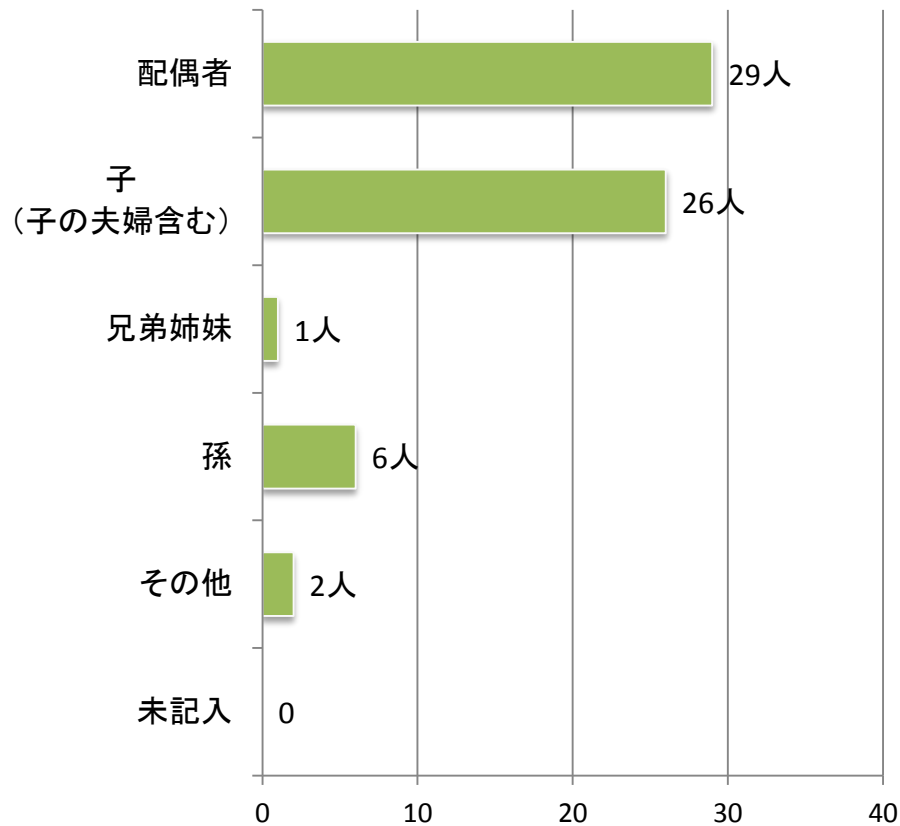
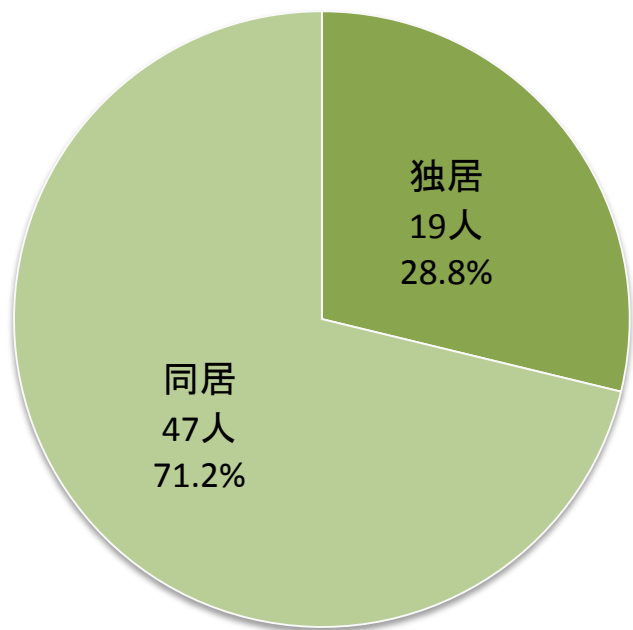
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 海岸地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？

(複数回答)

# 海岸地区

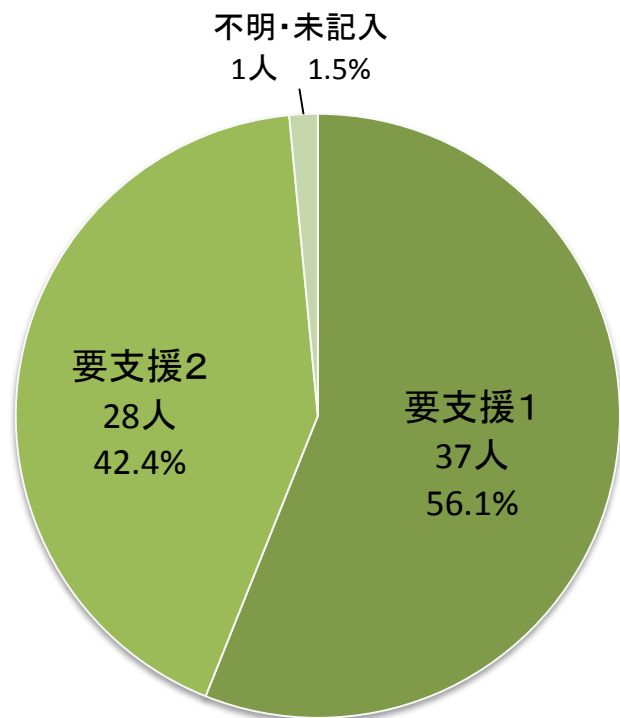
《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 要支援者の年齢では60代が見られず、70～90代に固まっている。第1号被保険者で、後期高齢世代に集中しているアンケート結果であると考えられる。(問3)

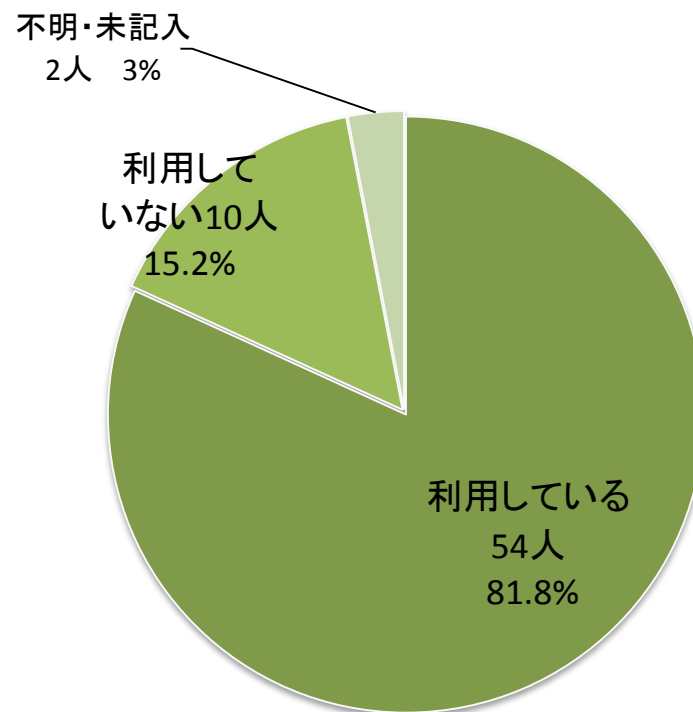
# 海岸地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



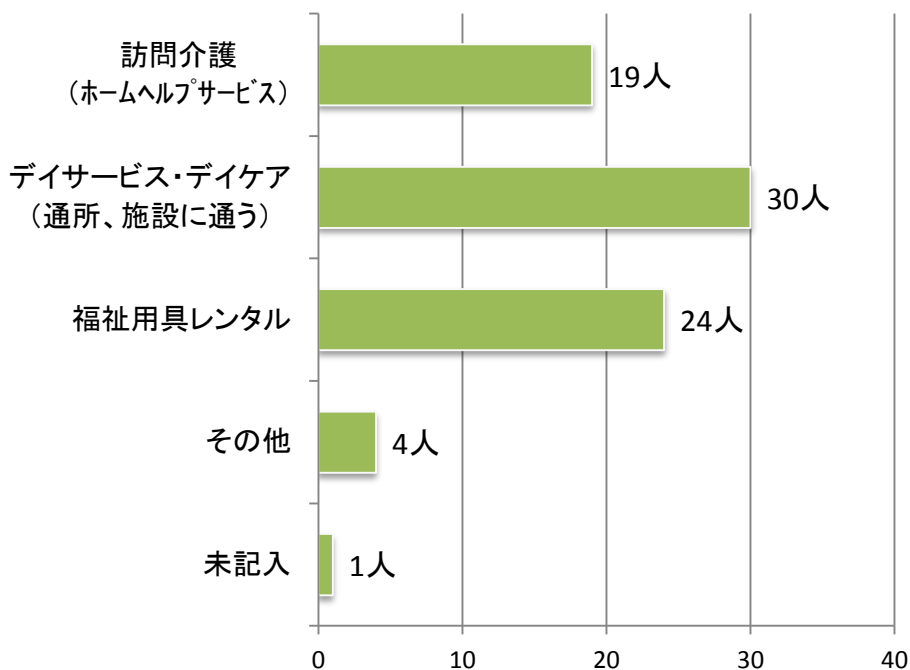
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



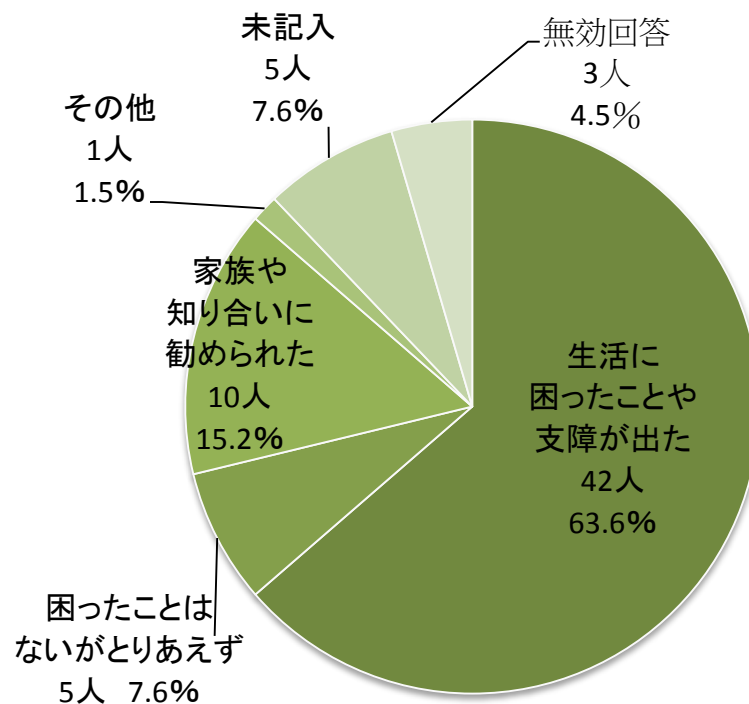
# 海岸地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 海岸地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定を受け、介護保険サービスを利用している人の割合が他地区と比しても高いほうに入る。(問5・問6)
- 利用サービスの中では通所サービスが多い。  
ミニデイ・サロンを行っている拠点が地区外や地区の外れにあることで、自力で通えないこともあるためか。(問6-2)

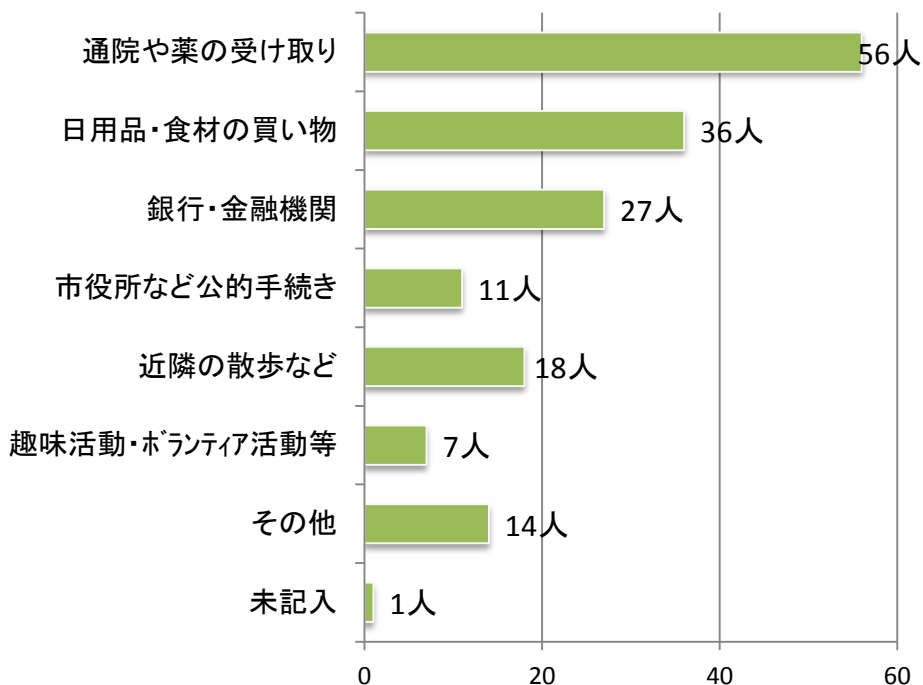
## 《考察》

- 「高齢になると近隣の人が亡くなったり、子どもの所へ引っ越したりと近所付き合いが少なくなり、単身である则一日誰とも話さない日がある」との声もある。地区内で通所サービスの利用が最も多いことから、通所施設等と連携をしていくことや、自力で通える小地域でのミニデイ・サロン開催支援が必要と思われる。
- 地域包括支援センターでは、「使わないが受けられるサービスは受けておきたい」「とりあえず申請しておきたい」という世帯からの相談も多いとのこと。制度に対する住民意識が高いか。

# 海岸地区

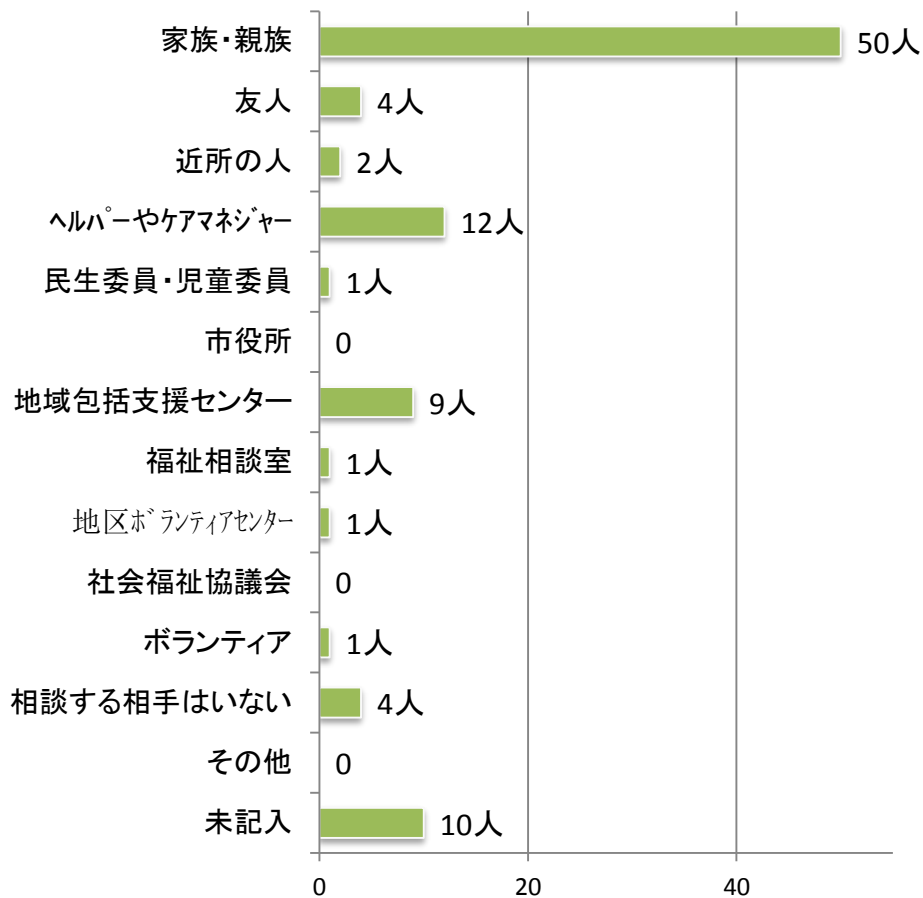
## ～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他：カラオケ、体操、理髪店、  
ポスト、デイサービス等

問13 外出について困ったことがある時などは  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 海岸地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 相談先としては、「家族・親族」の回答が圧倒的多数である。「地域包括支援センター」、「福祉相談室」、「地区ボランティアセンター」の回答があることは強みと思われる。しかし「相談する相手がいない」と回答した人に対するフォローが十分であるとは言えない数値結果である。(問13)

## 《考察》

- 土地が広く大きな家も多く、同敷地内に子が家を建てるケースもあるが、親子の関わりが少なく頼みにくいために地区ボランティアセンターへ依頼が来る事例がある。これらからは、「家族・親族」の数が多いことと、安心は繋がっていない面もあるのではないかと考える。
- 平成29年4月から中海岸が分離して東海岸北・南のみとなり、令和元年10月1日より地域包括支援センターが管轄する地区割りがよりコンパクトになっている。身近な相談窓口周知に努めるべく、包括支援センター・福祉相談室含め地区と各関係機関との連携をより強固なものしていく必要がある。



# 海岸地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計36)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	9
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	13
	5 その他	5
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計36)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	26
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
	③交通手段 (計59)	1 徒歩
2 自転車		0
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		14
7 タクシー		15
8 福祉タクシー		1
9 その他		4
未記入		2

④大変な理由 (計71)	1 距離が遠い	11
	2 交通が不便	8
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	25
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	2
	1 家族	16
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 海岸地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- ③ : 出掛ける主な手段として、住宅が密集しているクラスター地域は狭い道を車が通り歩くのが危険なこともあり、「タクシー」を利用する人が多いと想定される。
- : 「施設・店舗の無料バス」利用があるのは茅ヶ崎徳洲会病院のシャトルバス利用等が考えられる。
- : 「車」利用は、身近な地区内には大きい医療機関が少ないことから、地区外や市外の医療機関を利用する人も多いのではないかと想定される。

# 海岸地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	10
	3 週に1回	10
	4 月に1～2回	7
	5 その他	3
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	20
	3 午後	11
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計48)	1 徒歩	14
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	2
	9 その他	4
	未記入	1

④大変な理由 (計66)	1 距離が遠い	10
	2 交通が不便	8
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	23
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	6
	6 一人では行かれないので 付添が必要	14
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	1
	1 家族	13
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 海岸地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- ① 外出頻度としては、「週に1回」ないし「週2～3回」と回答している人が多く買い物  
が、困難ではあるが外出の機会ともなっている。
- ③ : 地区内にスーパーの数が少なく、大きなスーパーもないため、「徒歩」と回答し  
た人は近くに点在するコンビニエンスストアを利用している人がいるのではない  
かと想定される。  
: 「徒歩」以外では、「家族が運転する車」、「タクシー」を利用するとの回答が多  
い。
- ④ 「一人では行かないので付添が必要」であり、「家族」に付添を頼む人も多い。  
これを見ると、買い物の内容により、歩いて買って帰ることが難しいことも想定さ  
れる。歩いて行かれる人は、買ったものを宅配してくれるサービス等の情報があ  
ると役に立つ可能性もあるのではないか。

# 海岸地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計27)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	17
	5 その他	3
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計27)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	17
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計42)	1 徒歩	12
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	8
	7 タクシー	7
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	3
	未記入	1

④大変な理由 (計50)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計14)	未記入	1
	1 家族	12
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 海岸地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

- ③ 金融機関については駅近くの中心地にあることが多く、そこまで出る必要があるため、一定程度の「バス」利用者があることが想定される。

# 海岸地区

## 《全体考察》

- 出かける主な時間帯については、どの項目も「午前中」が多い。  
今後新たにミニデイ・サロンを開催する場合、外出しやすい時間帯を狙うと良いと思われるが、現在あるミニデイ・サロンは午前中開催が多い。午前中用事を済ませ、午後は比較的時間の余裕があると考えれば、試行的に午後開催も良いと思われる。
- 現在ある地区内拠点（東海岸会館、海岸地区コミュニティセンター）は地区の外れにあるなど「使いづらい」との意見がある。福社会館に代わり新たな拠点となったうみかぜテラスも、新設当初は行きづらいとの声を聞いた。バスルートが覚えられないこともあるのか、高齢者にとって慣れるまで時間を要することもあると考えられる。
- 交通手段の利用傾向としては、えぼし号や神奈中等の「バス」が大通り（東西は桜道、鉄砲道、134号線、南北は雄三通り、一中通り）を通るにも関わらず、「タクシー」や「徒歩」が多い。
- いずれの行き先も「距離が遠い」と感じる人が多いよう。地図上、大通りには多くの店があるように見えるが、住宅密集地からだとバス停も店も距離が遠いものと思われる。
- 上記理由及び「交通が不便」と感じる人も市内平均より多くいることから、地区内でその結果を共有し、理由を考察する機会があると良いかも知れない。地区内に使いやすい拠点がもっと出来るように、空き家の活用支援等も必要と思われる。



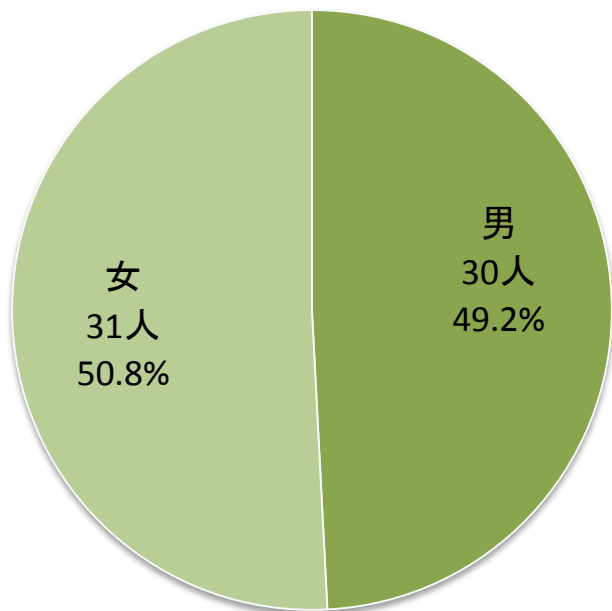


# 鶴嶺東地区

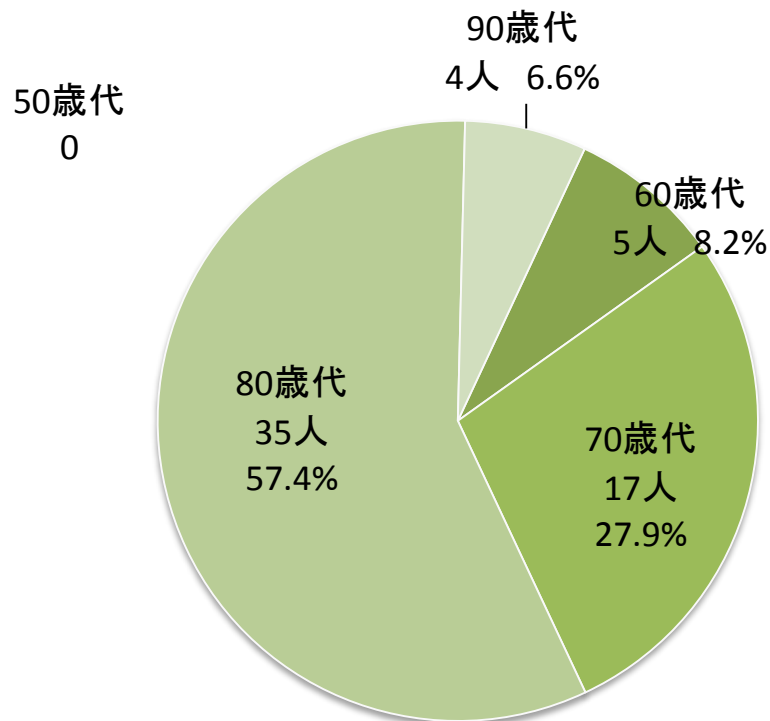
【回答数：61人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



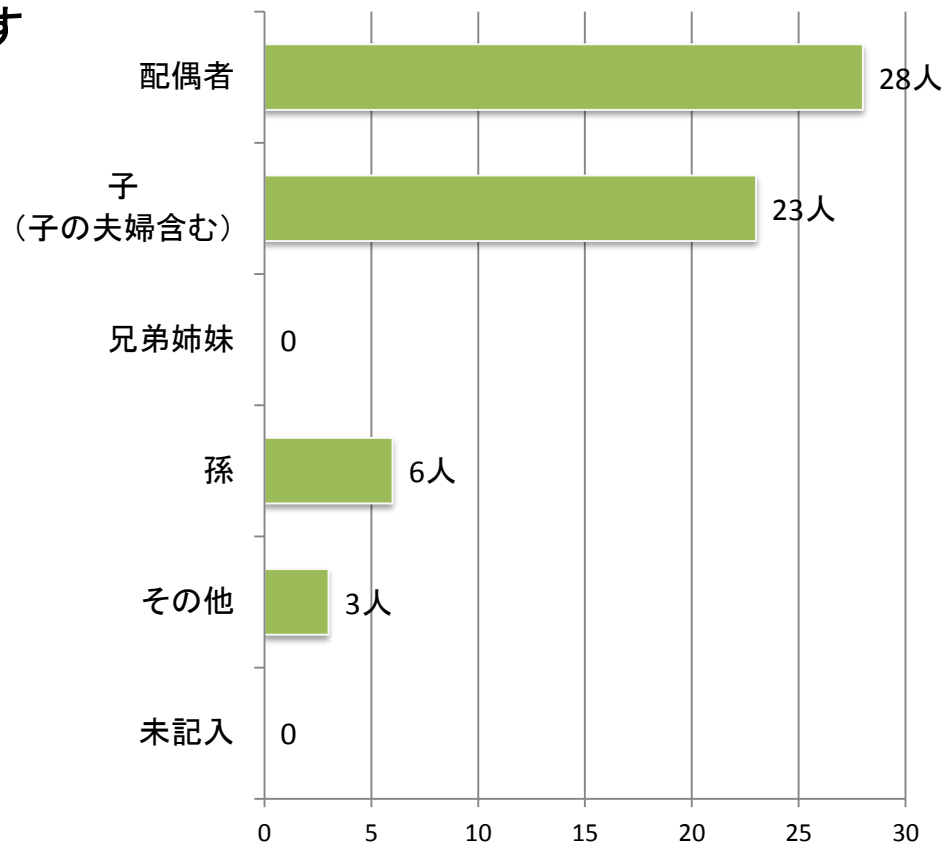
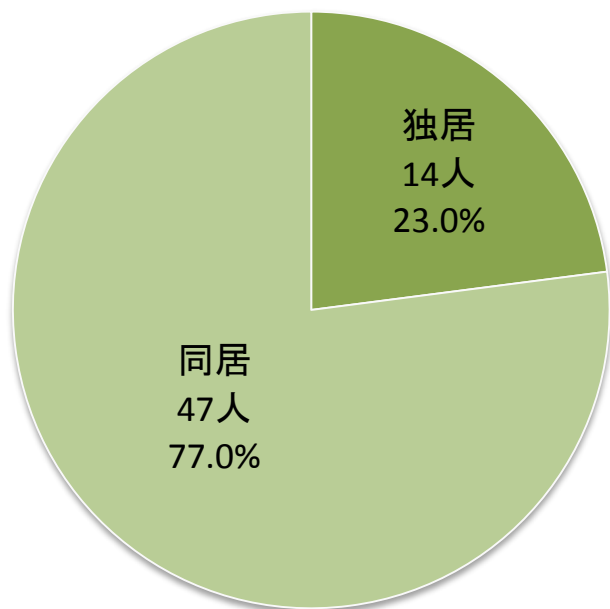
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 鶴嶺東地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？(複数回答)

# 鶴嶺東地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市域では80代が全体の48.8%であるのに対して57.4%ある。  
市域では90代が全体の18.8%に対して6.6%となっており、市域全体の中からはやや下回っている。(問3)
- 独居については市域全体が27.4%に対して23%とやや平均を下回っているといえる。(問4)
- 同居のカテゴリーについて、配偶者や子との同居は市域のバランスとほぼ変わらず平均的である。(問4)

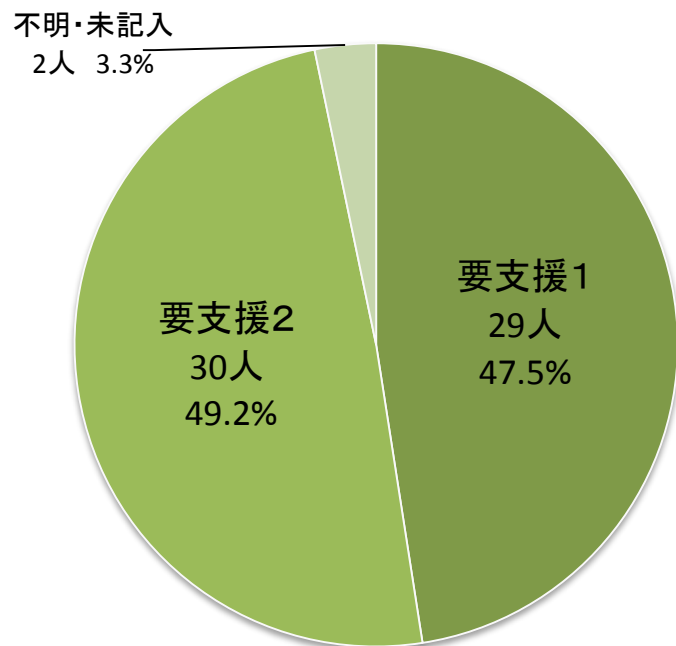
## 《考察》

古くからの果樹園や畑、農家等がある地域と、分譲住宅、近年は大型マンションが建設されるなどバラエティに富んでいる地域である。新しい世代も入ってきており、様々な世代、世帯が混在し、概ね平均的な結果になっていると思われる。

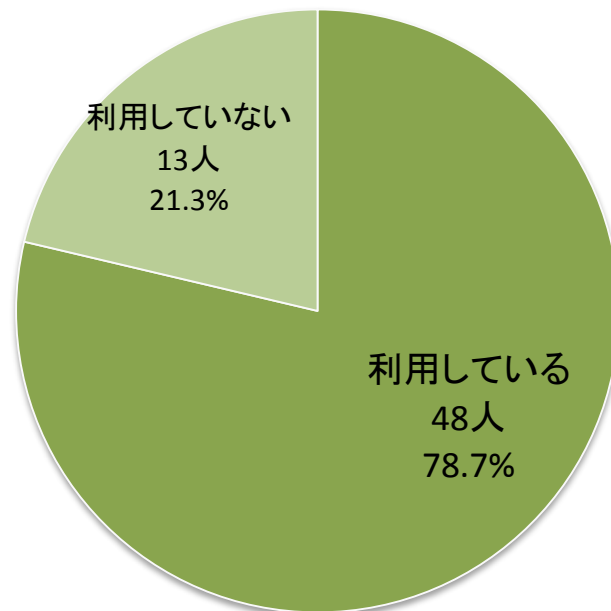
# 鶴嶺東地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



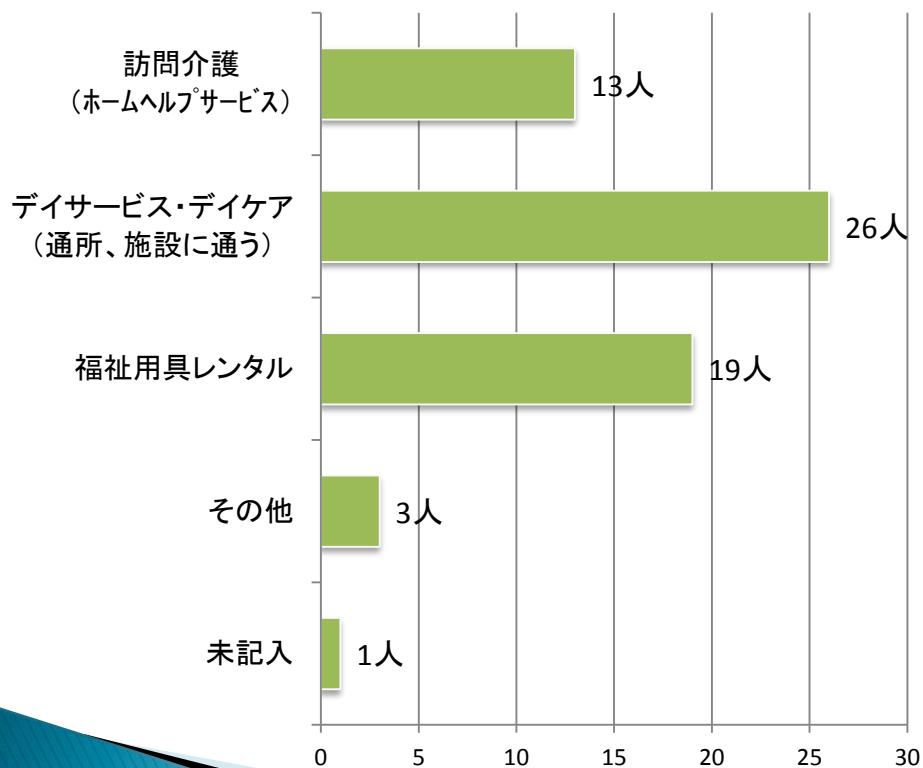
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



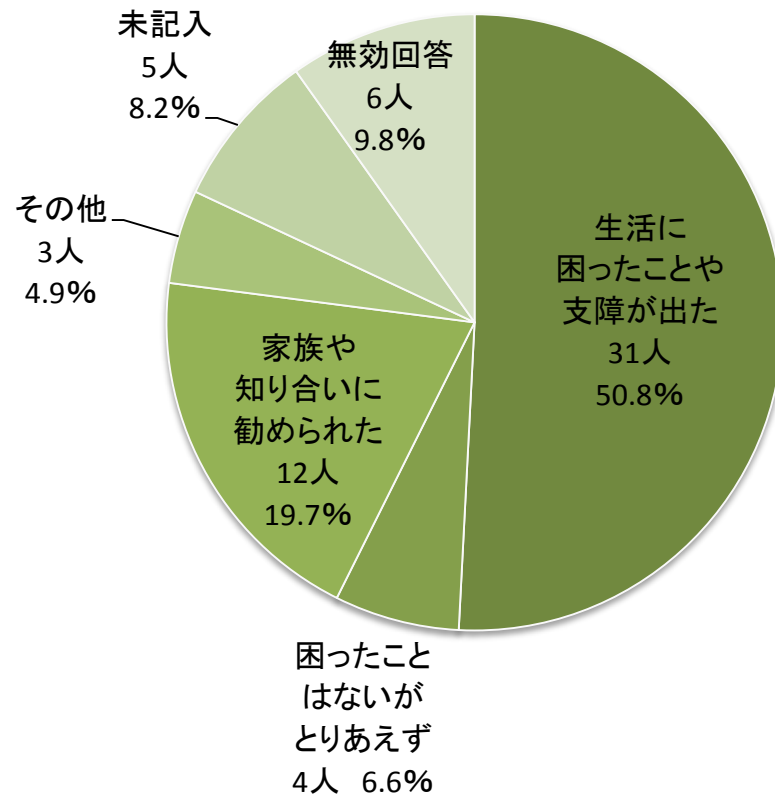
# 鶴嶺東地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 鶴嶺東地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定については要支援1が市域49.3%に対して47.5%、要支援2が市域46.6%に対して49.2%とやや要支援2の方が多傾向にある。(問5)
- 介護保険サービスの利用については市域が75.7%に対して利用が78.7%とやや多い傾向にある。(問6)
- 利用している内容については市域とほぼ変わらない。(問6-2)
- 介護保険申請理由については「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」は市域が54.2%対して50.8%と少ない。「家族や知り合いに勧められた」が19.7%と市域よりやや多い。(問7)

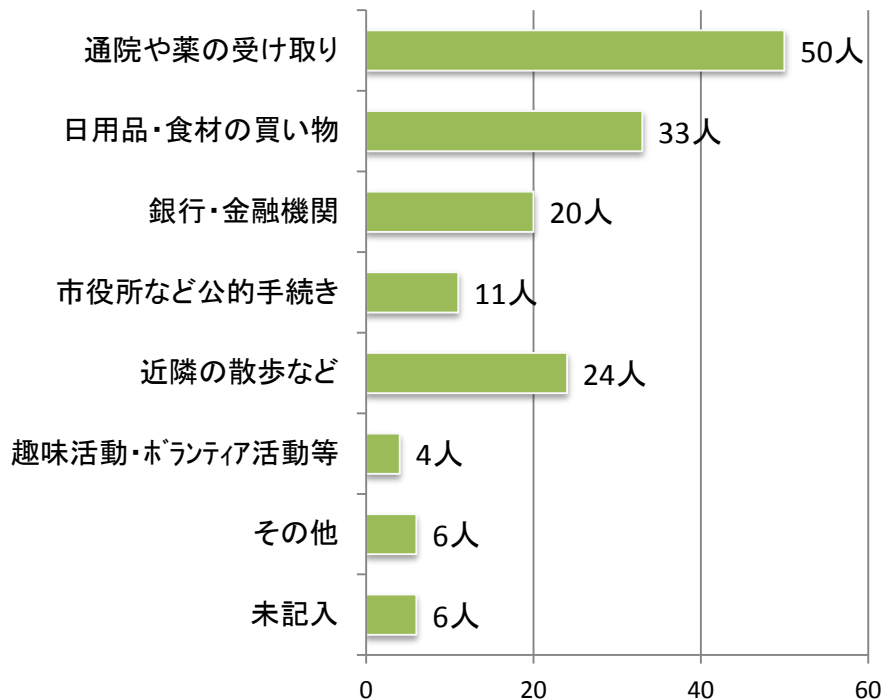
## 《考察》

結果的にはサービス利用者の割合は市域全体よりやや多いため、必要性をそれほど感じていなかった方も勧められて申請した結果サービス利用につながっていることが推測される。

# 鶴嶺東地区

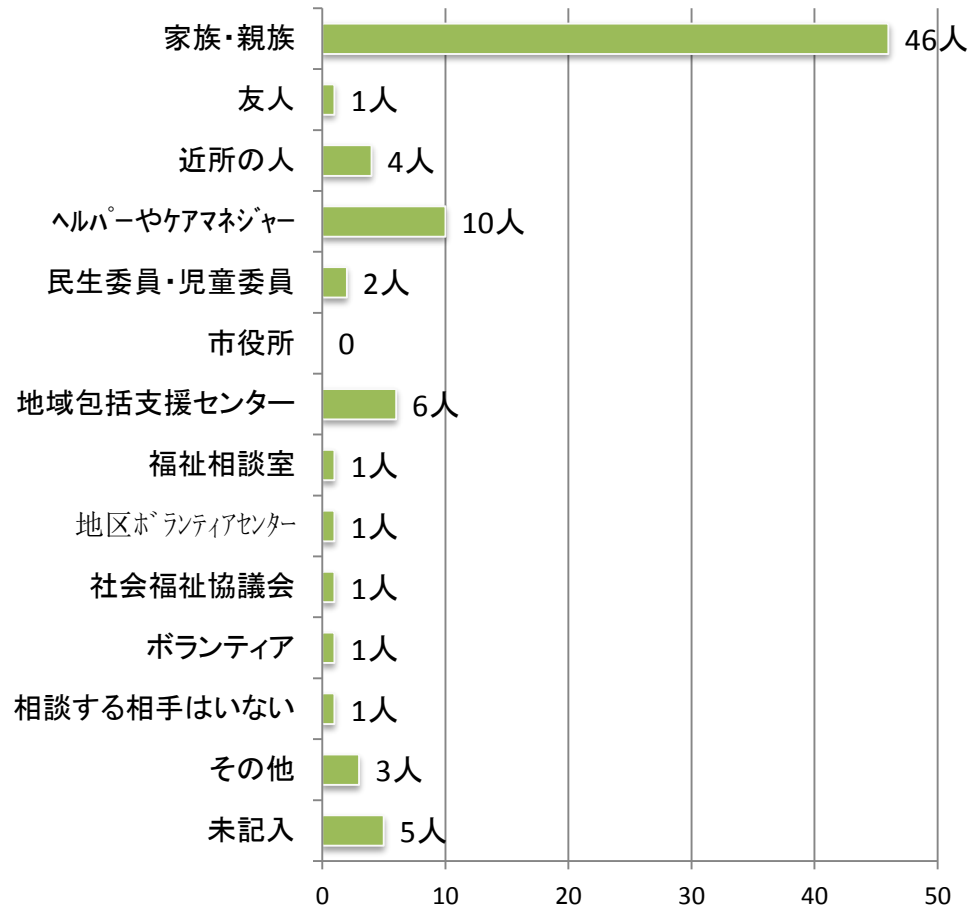
## ～外出関連～

問8 普段良く出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他： 作業所、コミュニティ料理、  
宗教の集まり、リハビリ

問13 外出について困ったことがある時など  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 鶴嶺東地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 普段良く出かける外出先については、ほぼ市域の平均と同程度である。「趣味・ボランティア活動」については市域に対してやや少ないが、「その他」の記述として「コミュニティ料理」や「作業所」の記載もあり、多様な外出先があることも示されている。(問8)
- 外出について困った時の相談先は、「家族・親族」と回答した人が46人で1位、「ヘルパーやケアマネ」は10人で2位と、市域の順位構成と変わらない。(問13)

## 《考察》

- 同居率が市域の平均よりやや高いことから、家族や親族の協力を得ながら生活している高齢者が比較的多いことが推察される。



# 鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計22)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	12
	5 その他	5
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計22)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	16
	3 午後	4
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	0
	無効回答	0
	③交通手段 (計32)	1 徒歩
2 自転車		1
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		8
4 施設・店舗の無料バス		0
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		7
7 タクシー		8
8 福祉タクシー		0
9 その他		4
未記入		0

④大変な理由 (計49)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	8
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	11
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	0
	1 家族	10
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 頻度は「月に1～2回」が多く、定期的な通院をしている人が多いと推察される。
- 交通手段は「タクシー」「バス」に次いで「家族等が運転する車」があがっている。
- 大変な理由として「体がきつい」、次いで「一人では行かれないので付添が必要」があがっており、家族の手助けなどを受けながら通院していることが推察される。
- 地区ボランティアセンターへ障害のある人の市立病院への付き添い依頼なども数件あることなどから、ニーズは一定数あると推察される。地域としては湘南東部総合病院や開業医も点在している。

# 鶴嶺東地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計15)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	4
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	4
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計15)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	7
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計21)	1 徒歩	6
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	2
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	5
	7 タクシー	2
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	3
	未記入	0

④大変な理由 (計29)	1 距離が遠い	5
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	9
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	4
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計5)	未記入	0
	1 家族	3
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 頻度は「月に1～2回」と「週に1回」「週に2～3回」「週に4回以上」が同程度あり、  
頻回な外出となっている。
- 交通手段は「徒歩」、次いで「家族等が運転する車」があがっている。
- 大変な理由は通院とほぼ同様だが、地区内でも差はあるものの、ある程度スーパー等の店舗もあり、体がきついながらも自力で買い物などを行っている、また家族の助けを受けながら生活している人がいることが推察される。
- 地区ボランティアセンターでも配達をしてくれる店舗の情報を収集するなども行っており、買い物に外出をすることはできても、重い荷物などを持って帰ることは大変という高齢者のニーズがあることが伺える。

# 鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計9)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	0
	4 月に1～2回	7
	5 その他	0
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計9)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	4
	3 午後	4
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計11)	1 徒歩	3
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	2
	7 タクシー	0
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計20)	1 距離が遠い	2
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	5
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	5
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計5)	未記入	0
	1 家族	4
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

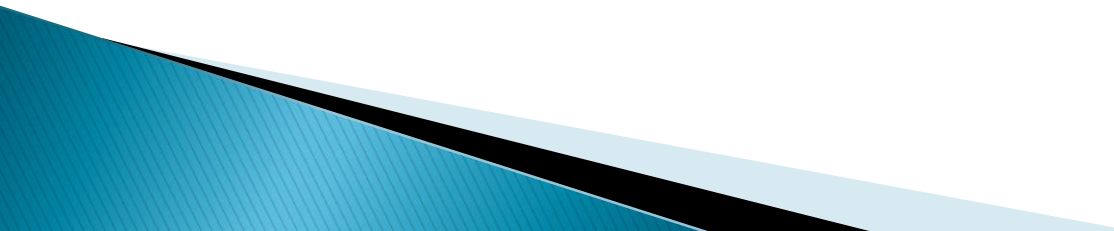
## 《考察》

- 頻度は「月に1～2回」が多く、ある程度まとめて用事を済ませていることが推察される。
- 交通手段は「徒歩」、「バス」があがっている。ATMが近隣で利用できるほか、駅まではやや距離があるものの、バスなどを利用すれば比較的短時間で出ることができる地域であるためかと思われる。
- 他の外出と同様、大変な理由としては「体がきつい」、「一人では行かないので付添が必要」があがっている。

# 鶴嶺東地区

## 《全体考察》

- 市域全体の結果と比べて概ね平均的な結果である。
- 福祉相談室からの聞き取りによれば、湘南東部総合病院や開業医が多く点在しているので受診はしやすいよう。また、コミュニティバスや病院のシャトルバスを利用する人もおり、外出についての相談はそれほど多くないとのこと。週1～2回程度外出をしている人については、他地区に比べて「徒歩」、「自転車」の割合が車よりも多いところからも上記の地域の特徴はうかがえる。
- 大変な外出先と良く出かける先について、共に1位が「通院・薬の受け取り」、2位が「買い物」というところから、要支援者の外出が必要に迫られた外出のみとなっていること、またこれについても大変さを感じていることが読み取れる。
- 古くからの農家等がある地域と、分譲住宅、近年は大型マンションが建設される地域があるなど、バラエティに富む地区である。地縁・血縁が密な地域と、比較的新しい世代や世帯構成の地域とが混在し、地区内での支え合いについても多様な形態であるといえる。
- 今回のデータには示されなかったが、ミニデイ・サロン活動が活発な地区であり、活動を支えているボランティアも多い。もともとは地区全体を対象とした大規模なサロンが月1回程度開催されていたが、より身近な地域での開催が大切との考え方から、自治会単位のサロンが複数立ち上がってきた経緯がある。こうした地域の福祉活動も外出先の選択肢の一つとなっていると思われ、引き続きミニデイ・サロン活動等への支援は重要であると考えます。
- いずれにせよ必要に迫られた外出にも困難さを感じているというデータは示されており、潜在ニーズ、また具体的な課題については更に掘り下げていく必要があると思われる。



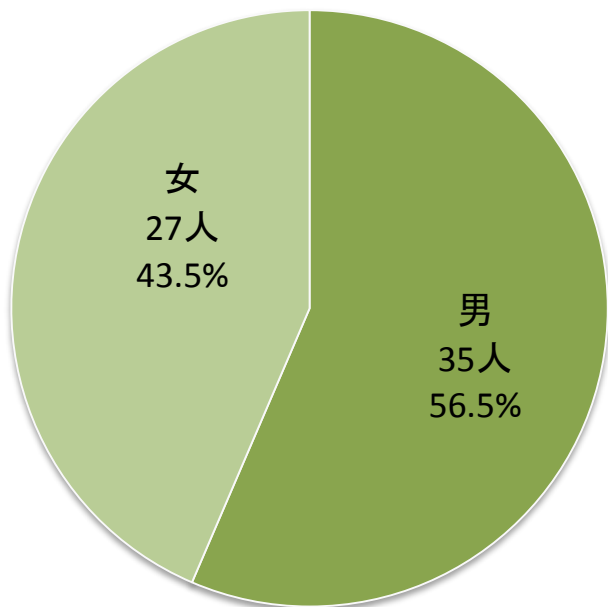


# 鶴嶺西地区

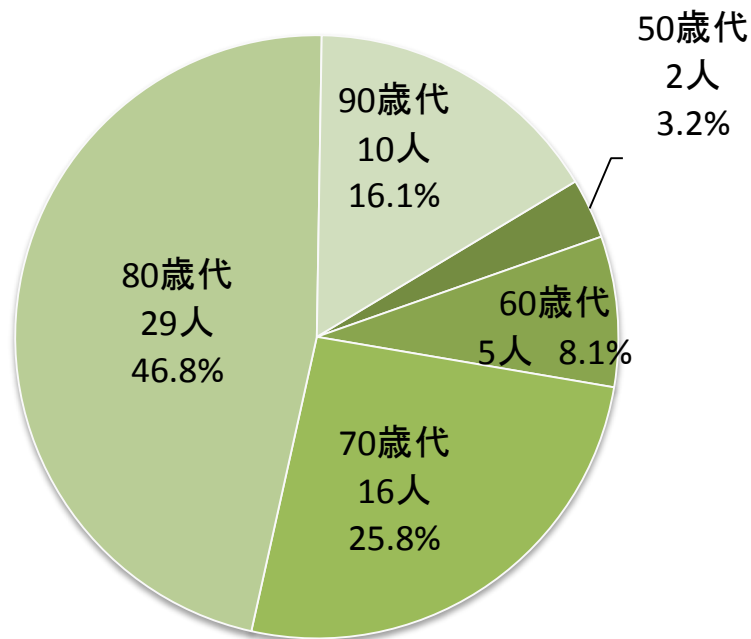
【回答数：62人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



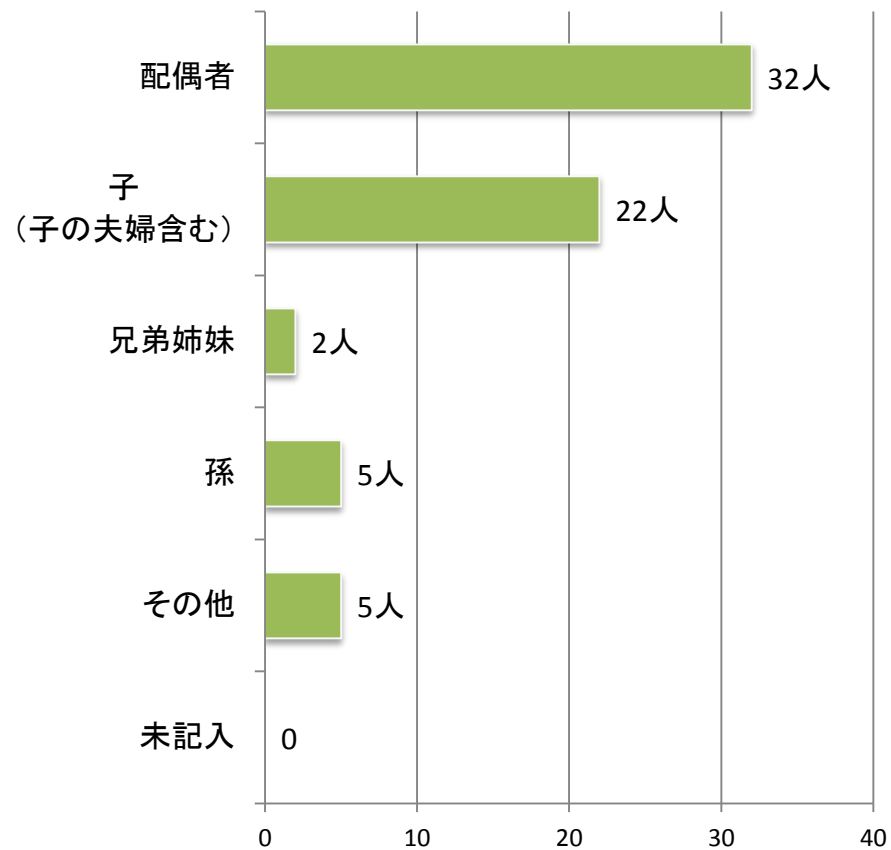
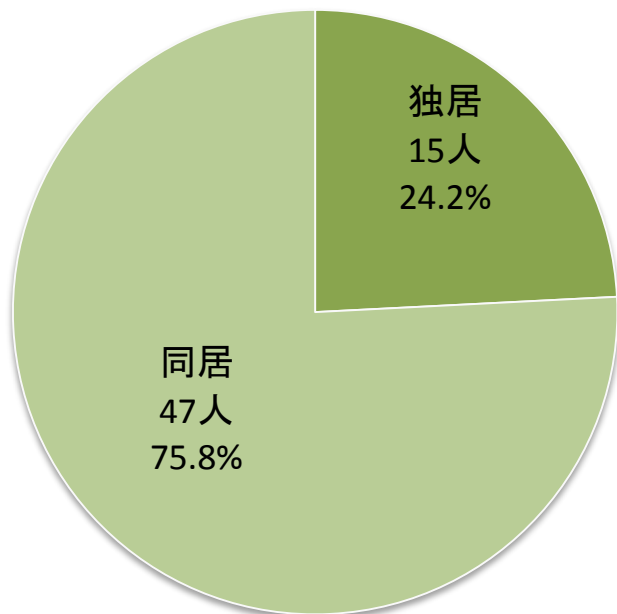
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 鶴嶺西地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか (複数回答)

# 鶴嶺西地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 年齢構成は市域と大きな差はないが、50歳代と60歳代の割合がやや高い。(問3)
- 独居の割合は市域よりやや低い傾向にある。(問4)
- 誰と同居しているかについても、市域の構成と大きな差はないが、「兄弟姉妹」との同居がやや多い。(問4)

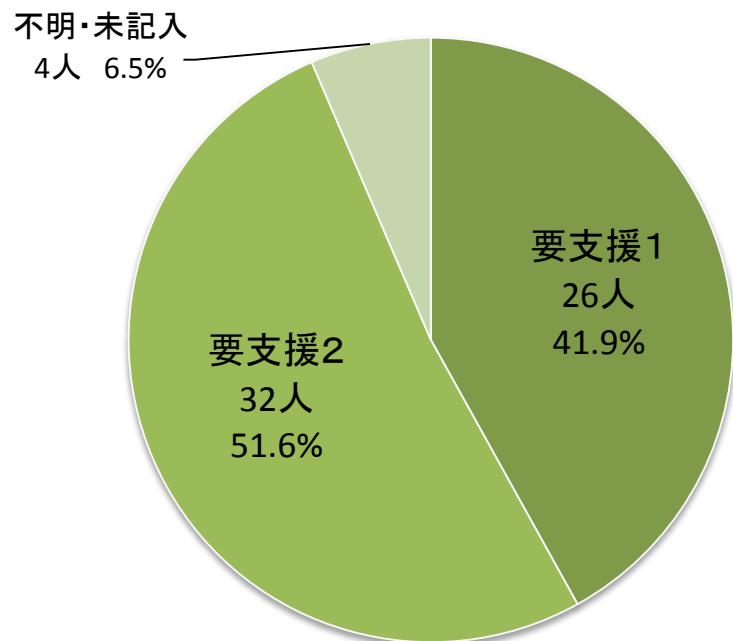
## 《考察》

- 鶴嶺西地区には、古くからの農家等がある地域と、平成初期に建設されたマンションのある地域、県営・市営住宅がある地域とがある。
- 古くからの農家等がある地域があることは、市全域と比較して独居の割合がやや低い傾向にあること、兄弟姉妹と同居している割合がやや高いことと関連があると考えられる。

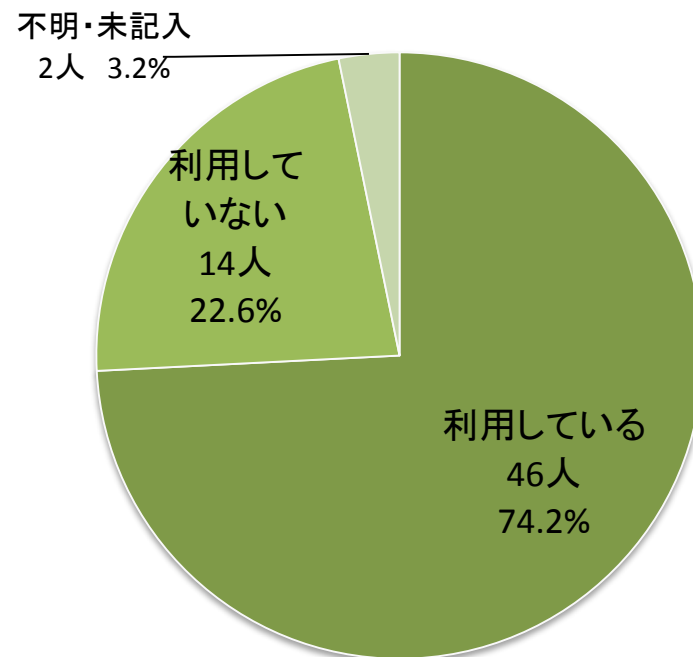
# 鶴嶺西地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



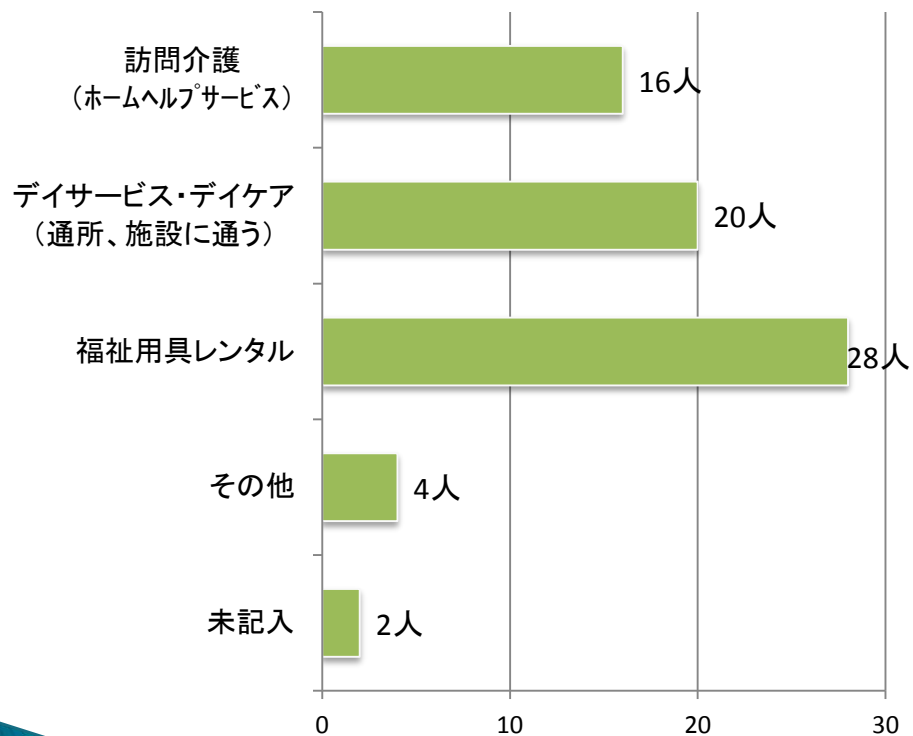
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



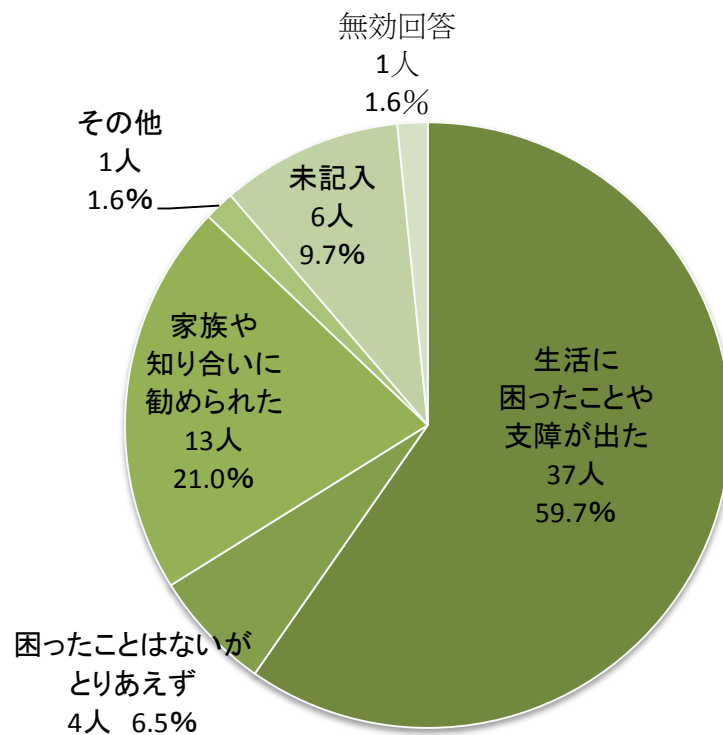
# 鶴嶺西地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 鶴嶺西地区

## 《介護認定関連 問5～問7について 市全域との比較》

- 介護認定の割合は、市域全体と比べて要支援1が低く、要支援2が高い。(問5)
- サービス利用の有無についてを市域と比べると「利用している」割合がやや低く、「利用していない割合」がやや高い。(問6)
- 利用しているサービスは、「デイサービス・デイケア」が少なく、「福祉用具レンタル」が多い。(問6-2)
- 介護保険申請の理由は、「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」が市域と比較して高い。要支援2の割合がやや高いこととの関連があるのではないかと考えられる。(問7)

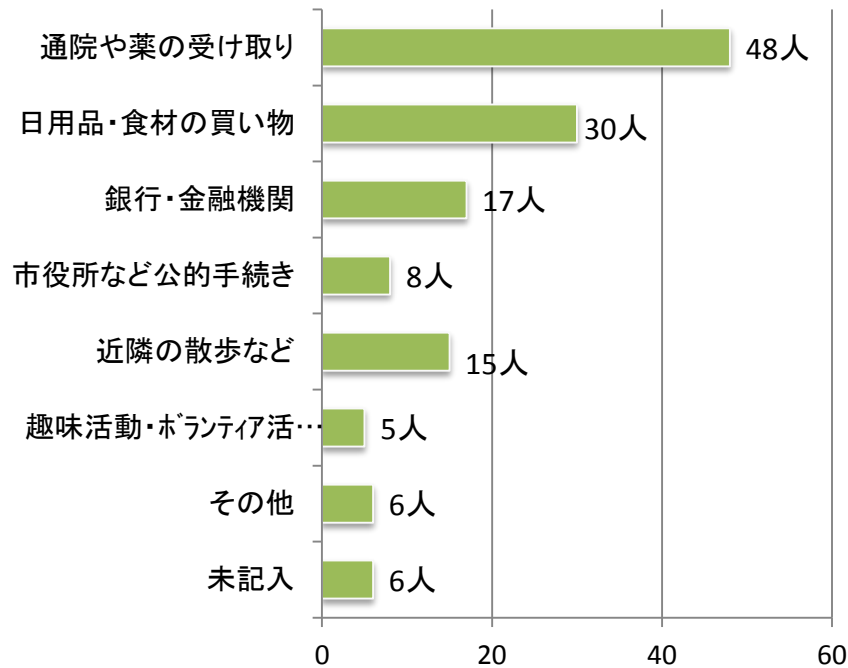
## 《考察》

サービスを利用している割合がやや低いことに関しては、古くからの農家等がある地域があり、家族による支援が受けられている世帯がある一方で、県営住宅・市営住宅がある地域があり、生活に困窮しているためにサービスを利用しない世帯が一定数存在するものと考えられる。

# 鶴嶺西地区

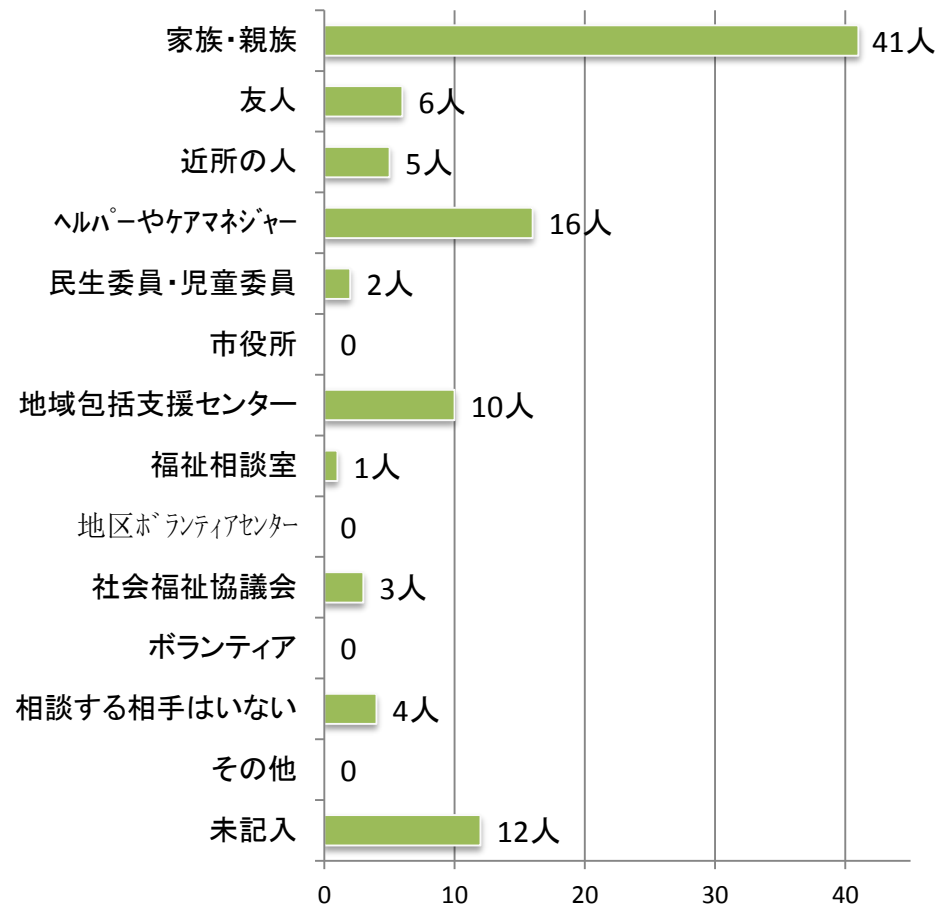
～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他： 仕事、通勤、  
フィットネス、デイサービス

問13 外出について困ったことがある時などは  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 鶴嶺西地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 普段出かけるところについては市域と構成比がほぼ同じである。その中で、「通院や薬の受け取り」がやや高い。(問8)
- 外出についての相談先として「社会福祉協議会」をあげた人が3人(市全体の半数)いた。地区社会福祉協議会(地区ボランティアセンター)が病院への車送迎を実施しているためではないかと考えたが、他地区では相談先として地区ボランティアセンターがあがっていることもあり、市社協のハンディキャブ運行事業等を指している可能性もある。検討する必要がある。「相談する相手はいない」が4人いた。(問13)

## 《考察》

外出についての相談先として社会福祉協議会をあげた人がいる一方で、「家族・親族」と答えた人は41人であった。古くからの農家等がある地域があり、家族による支援が受けられている世帯があることが考えられる。



# 鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計36)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	23
	5 その他	7
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計36)	1 早朝（8時以前）	1
	2 午前中	29
	3 午後	5
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計42)	1 徒歩
2 自転車		0
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		3
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		20
7 タクシー		9
8 福祉タクシー		2
9 その他		3
未記入		0

④大変な理由 (計73)	1 距離が遠い	10
	2 交通が不便	8
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	22
	4 交通費が負担	7
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	23
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計27)	未記入	0
	1 家族	23
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	2
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- ① 出かける頻度は「月に1～2回」が約6割である。
- ③ 交通手段としては「家族等が運転する車」が回答数のうち約半数を占めている。  
「施設・店舗の無料バス」をあげた人が1名いるのは、地区内を走っている湘南東部総合病院のバスを利用しているものと考えられる。
- ④ 大変な理由として「歩くには道が悪い」をあげた人は1名であった。地区内に医院が2か所(うち1か所は小児科)しかなく、車で出かけることが前提となっているためではないかと思われる。

# 鶴嶺西地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計26)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	11
	4 月に1～2回	6
	5 その他	4
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計26)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	17
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計29)	1 徒歩	5
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	2
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	12
	7 タクシー	6
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	20
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	12
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	11
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

### ③・④

交通手段の「家族等の運転する車」の回答数と、④大変な理由の「一人では行かれないので付添が必要」の回答数が同数である。一人では行かれない人が家族等の運転する車で出かけていることが考えられる。

また、③交通手段の「徒歩」を選んだ人が5名で、④大変な理由の「距離が遠い」を選んだ人が7名いることから、徒歩で行っても距離が遠くて大変であると感じていることが考えられるのではないか。

その場合、スーパー等のある場所が大きな道路沿い(産業道路・萩園通り)となり、住宅地から離れていることが要因とも考えられる。

# 鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計11)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	0
	4 月に1～2回	8
	5 その他	3
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計11)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	8
	3 午後	3
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計16)	1 徒歩	3
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	1
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	7
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	0

④大変な理由 (計21)	1 距離が遠い	1
	2 交通が不便	0
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	8
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	7
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計7)	未記入	1
	1 家族	7
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

＜＜考察＞＞

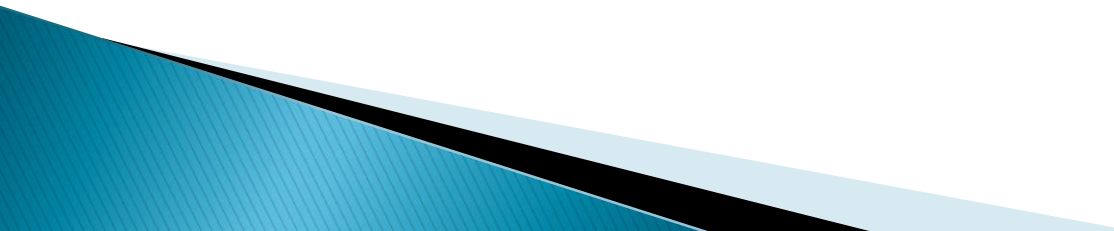
③・④

③交通手段の「家族等の運転する車」の回答数と、④大変な理由の「一人では行かないので付添が必要」の回答数が同数である。一人では行かない人が家族等の運転する車で出かけていることが考えられる。また、「徒歩」と回答した人3人いた一方、「自転車」と回答した人はゼロであった。地区内の金融機関は農協(さがみ農協つるみね支店)のみであることから、近くの農協に徒歩で行くか、茅ヶ崎駅付近の他の金融機関に「家族等の運転する車」または「タクシー」で行っている様子がうかがえる。

# 鶴嶺西地区

## 《全体考察》

- 鶴嶺西地区には医院が2か所(うち1か所は小児科)しかないため、通院が一番大変な外出であることは予測がついていた。
- 地形が平坦であることから、通院・買い物・金融機関ともに徒歩で行く人が一定数存在する。しかし、医院のある場所(鶴嶺通り)、スーパー等・金融機関がある場所(産業道路・萩園通り)が大きな通り沿いに限られていることから、車で行くことが前提となりやすいのではないかと考えられる。
- 一番大変な外出が週1回程度の人でも月1~2回程度の人でも、手段としては家族運転の車が一番多い。
- 他地区との比較でも徒歩が少ない傾向が見られる。車で出かけることを前提としていることがうかがえる。



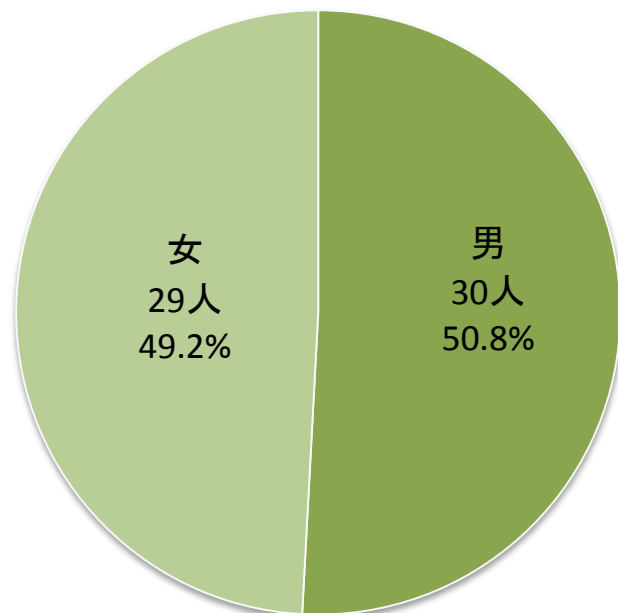


# 湘南地区

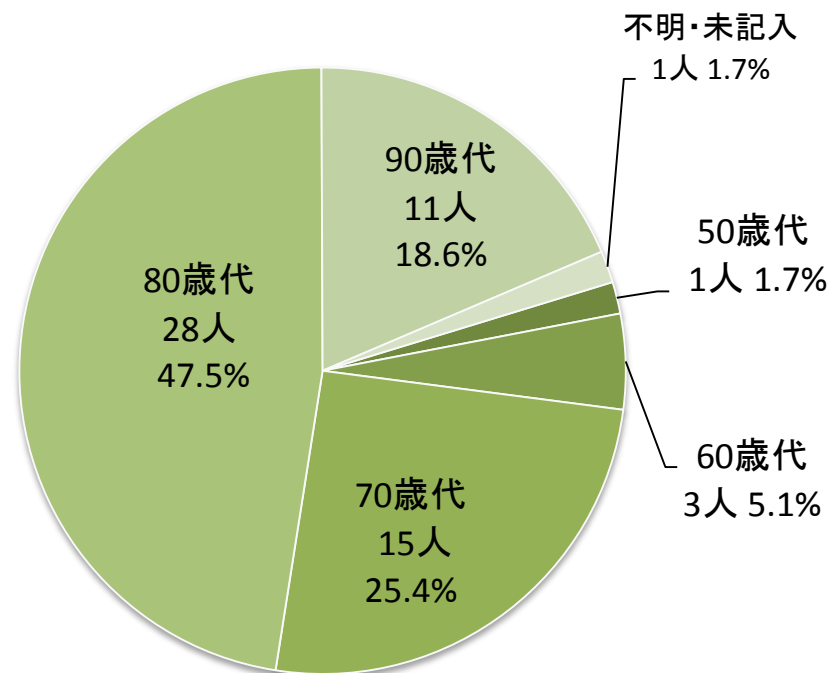
【回答数：59人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



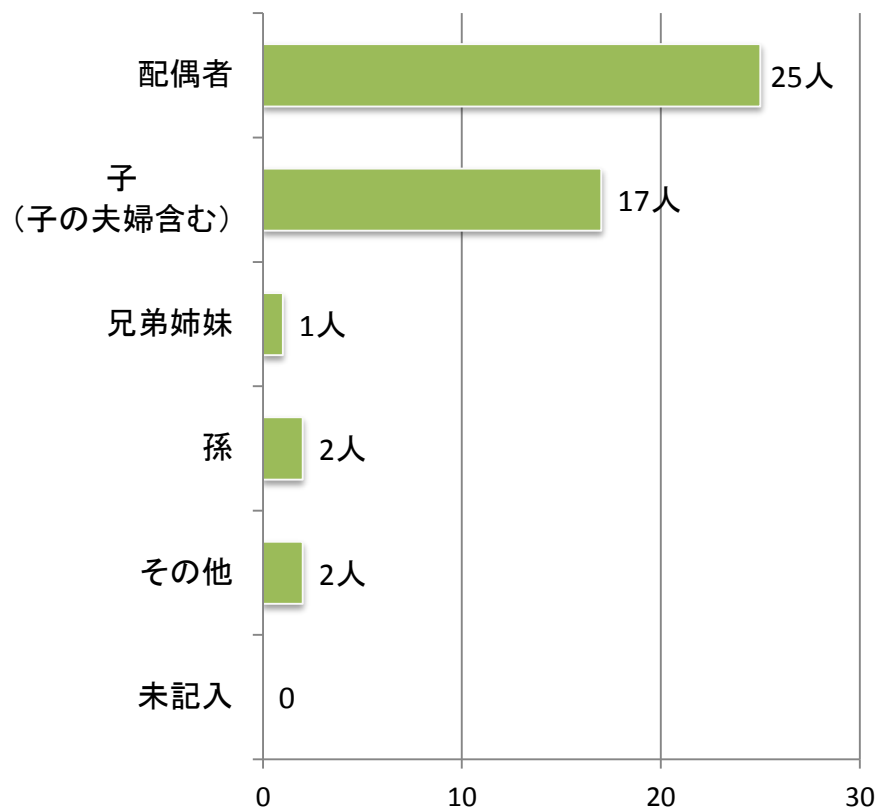
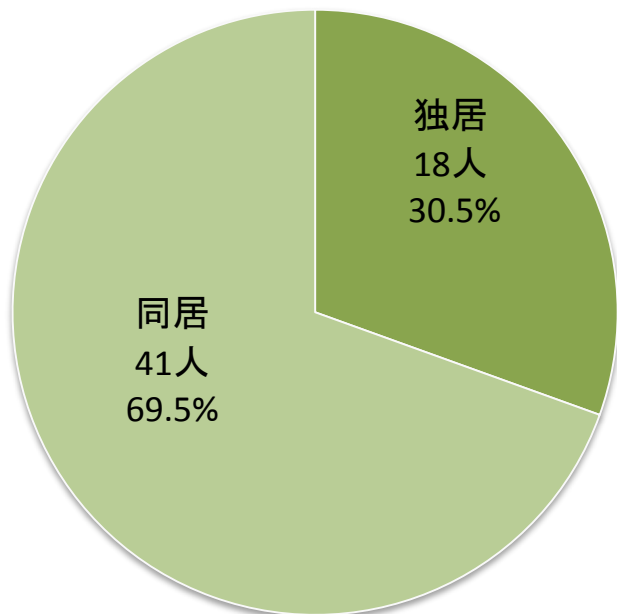
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 湘南地区

～基本項目～

## 問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 湘南地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市全体の独居の割合27.4%と比較しても湘南地区は30.5%と割合が大きい。独居よりも同居の方が多いが、「配偶者と同居」が最も多いため、高齢世帯が多いことがうかがえる。(問4)
- 「子と同居」している方も17人いるが、回答者の半数以上が80代以上となっていることから、同居する子も青年期ではなく、60歳以上であることが想定される。「孫と同居」の回答は低いことから、高齢の両親とその子で構成されると予想される。(問4)

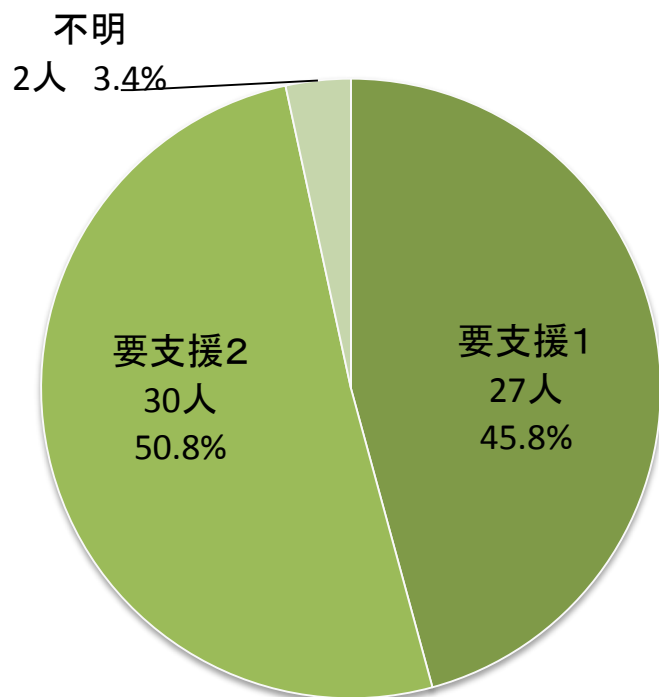
## 《考察》

上記のことから、今後独居世帯は増え続けていくのではないだろうか。柳島などは近隣に子や親族が住んでいる場合が多く、同居していなくても近くに支援者がいることも想定される。親戚関係は多いが皆高齢になり、付き合いも疎遠になっているように感じられるが、子どもからの支援は浜見平団地に比べ多いように感じる。

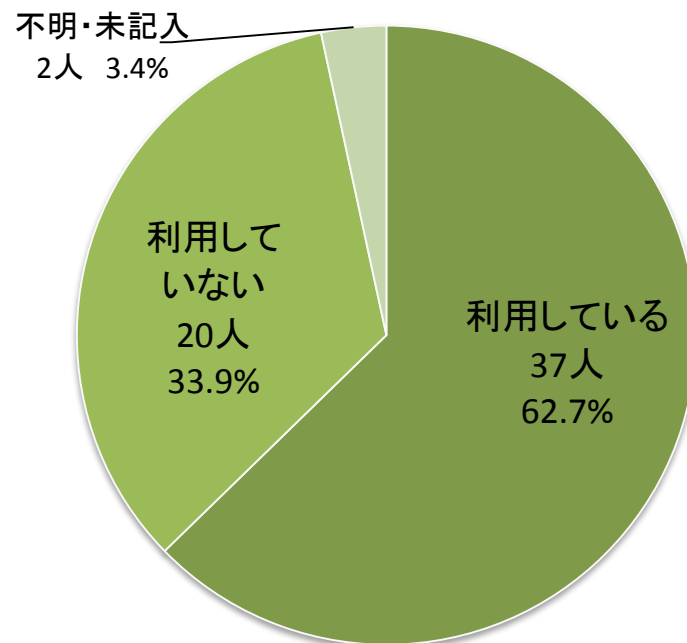
# 湘南地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



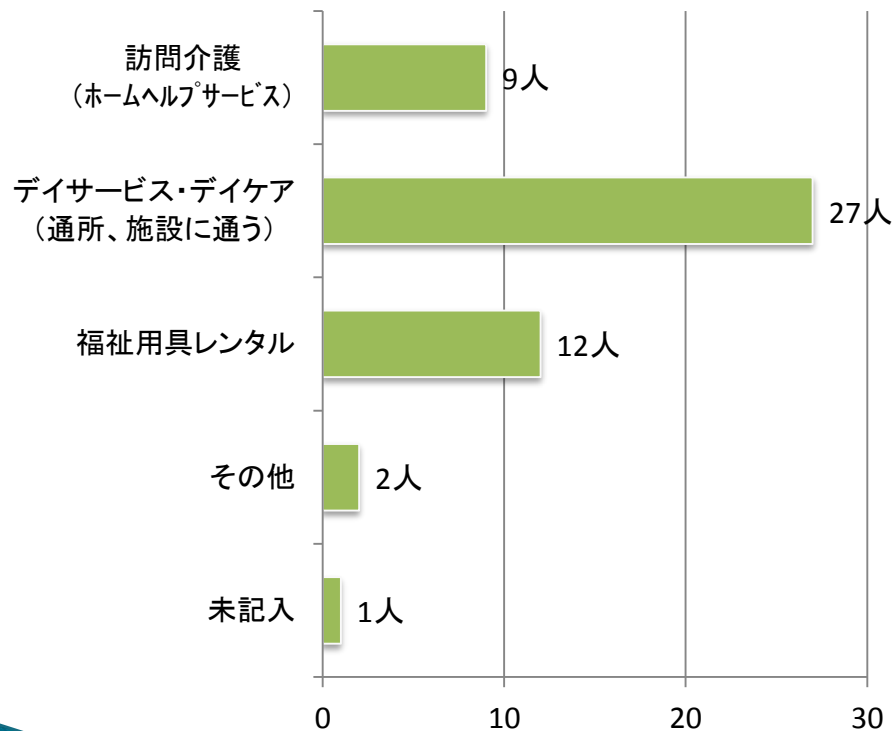
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



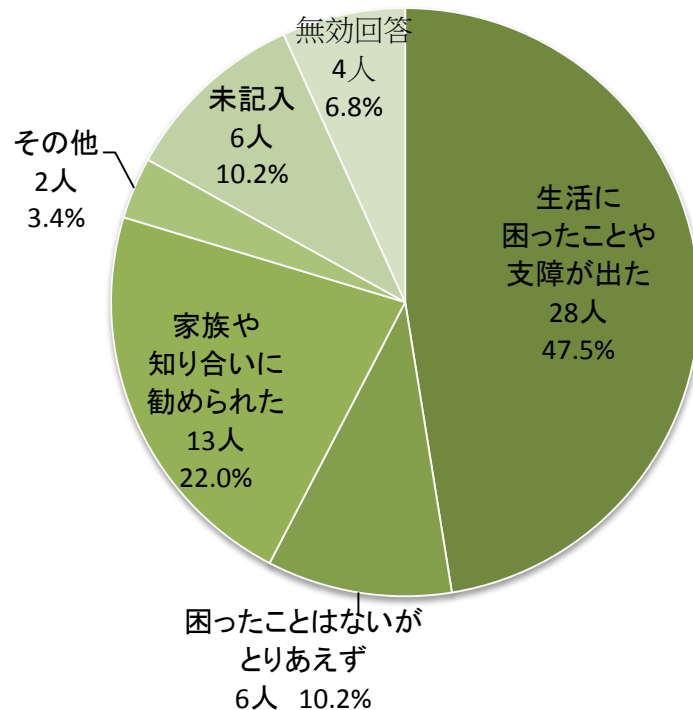
# 湘南地区

## ～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 湘南地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護保険を「生活するのに困ったことや支障が出てきた」ために申請した方が5割近いが、実際に利用しているサービスは、「デイサービス・デイケア」などの通所サービスが最も多い。(問6-2)
- 「家族や知り合いに勧められて」介護保険の申請をしたという人の割合が比較的大きい。独居の高齢者は、周りに勧められて申請に至る可能性が特に高いと思われる。  
(問7)

## 《考察》

- 地区内には、地縁が強く、近隣に子や親族が住む世帯が多い地域があるため、日常的な支援は家族や近隣住民から得られている可能性がある。そういった地域特性を踏まえると、日ごろ介護をしている家族のレスパイト、他者との交流、ADLの維持・改善を主目的に、通所施設の利用をしていると考えられる。
- 一方、浜見平団地は高齢化率が地区内の他地域に比べかなり高い。高齢世帯で頼れる親族が近くにいない場合が多く、互いに介護することが難しい世帯が多いと想定されるため、入浴などの身体的な支援を目的に通所施設を利用していると考えられる。通所サービスの利用が全体の過半数以上を占めているが、地区内には地域のミニデイサービス、サロンも多数あるため、併用するなどの方法も周知していければ良いと思

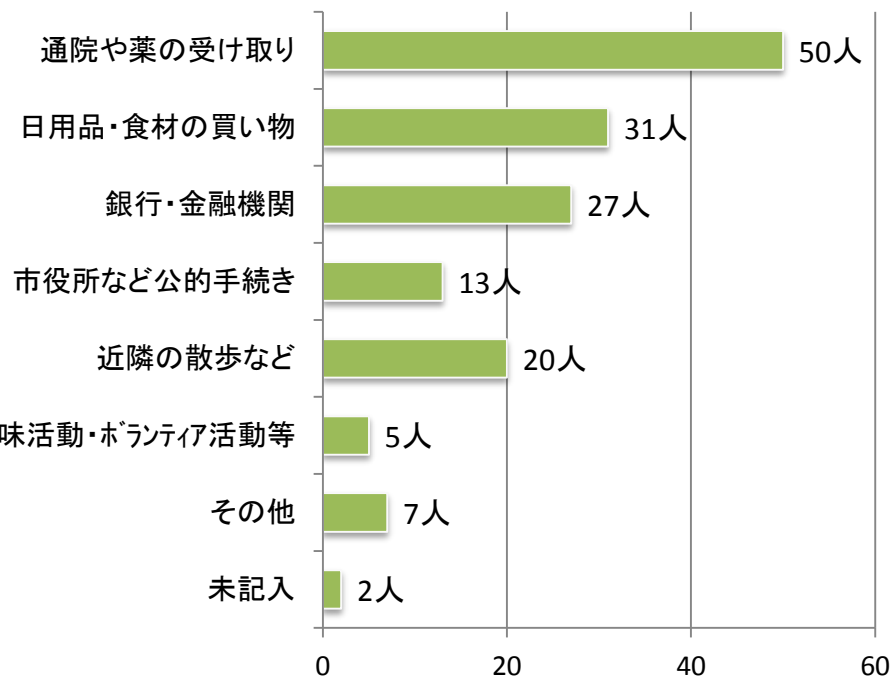
う。

# 湘南地区

～外出関連～

## 問8 普段よく出かけるところを教えてください

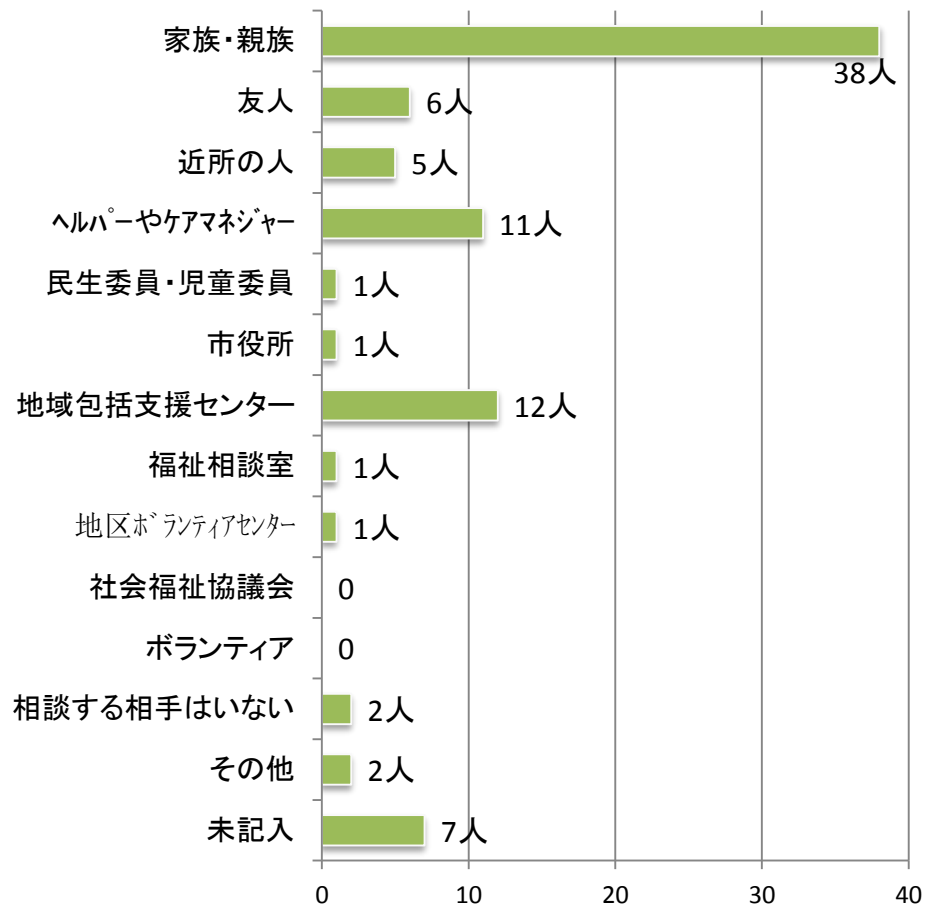
(複数回答)



※その他： 会社、地域のお楽しみ会、  
長命会、通所リハ等

## 問13 外出について困ったことがある時など

誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 湘南地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 地縁が強く、相談できる距離に子や親族が住む世帯が多いことから、外出について困ったことを家族や友人、近隣に相談する人の割合が高くなっていることが想定される。一方で、浜見平団地などは高齢独居または夫婦で住まい、子が市外に住んでいるケースが多く日常的な協力が得にくい。また、子どもに迷惑をかけたくないと言う人が多いのか、近くに頼れる親族がいない世帯が多いことから、「地域包括支援センター」、「ヘルパーやケアマネジャー」へ相談していると思われる。（問13）

## 《考察》

- 今回のアンケート結果では、相談先として「地域包括支援センター」を選択する人が他地区と比べ多かった。「地区ボランティアセンター」の選択数は少ないが、地域包括支援センターと同施設にあり、日頃より互いに連携が図れている。結果としては表れていないが、相談事が繋がっているケースもある。
- 今後、相談窓口として地区ボランティアセンターの知名度をより上げていく必要があると思われる。



# 湘南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	22
	5 その他	2
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝（8時以前）	2
	2 午前中	23
	3 午後	7
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計52)	1 徒歩
2 自転車		3
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		3
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		11
7 タクシー		12
8 福祉タクシー		1
9 その他		2
未記入		1

④大変な理由 (計72)	1 距離が遠い	12
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	2
	1 家族	16
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 湘南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 「徒歩」や「自転車」で外出する人に比べ、「タクシー」や「バス」、家族の送迎など「車」を使って外出する人は倍となっている。
- 商業施設や病院、薬局、市の出張窓口、銀行など、生活に必要な機関がほとんど浜見平周辺に集中している。
- 地区内に総合病院はなく、地区外になることから、通院の足が必要となる。週に複数回通院している方は、地区内の個人医院へ通院していることが想定される。月に1、2回の通院の場合は、総合病院に通院していることが想定される。
- 「距離が遠い」、「交通が不便」との回答については、柳島、中島などは交通網が通っておらず身近な外出の足がないため、浜見平周辺の個人医院であってもそこまでの交通手段の確保が必要となり、より負担感を感じているものと思われる。特に付き添いが必要な場合、家族や友人の支援で通院している方が多く、地のつながりが強い、近隣に親族が住んでいることが多いといった柳島周辺の地域特性が出ていると思われるが、逆に浜見平団地では高齢世帯が多く、通院時に家族の支援を受けられる割合は減ることが推測される。

# 湘南地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計25)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	7
	5 その他	2
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計25)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	13
	3 午後	10
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計32)	1 徒歩	11
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	7
	7 タクシー	6
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	18
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	11
	7 その他	4
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	1
	1 家族	11
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 湘南地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 週に複数回買い物に出る人よりも、「週に1回」、「月に1～2回」と回答している人の方が多。
- 湘南地区は商業施設や病院、薬局、市の出張窓口、銀行など、生活に必要な機能がほとんど浜見平団地周辺に集中している。浜見平周辺の方は買い物先まで徒歩圏だが、柳島、中島などは、最寄りのスーパーまでも距離があり、買い物に出るのに車で連れて行ってもらうといった支援が必要となるため、家族の休日と一緒に連れて行ってもらう場合が多いのではないかと推察される。月に1～2回との回答からは、日ごろの買い物は近隣の家族や親族がしているが、月に1～2回駅周辺へ出ているということも考えられる。この辺りは、家族などの支援が得やすい特性があるからか。
- 一方で、浜見平周辺に関してはスーパーなどが比較的に近いため「徒歩」で、週に複数回の買い物に出やすいと思われるが、浜見平の地域特性上家族の支援が得られにくいことが想定され、一人で買い物に出ているケースが多いのではないかと推察される。そのため、近場で徒歩で行かれても、荷物が重いと運ぶのが大変といった体力的負担が大きいと想定される。

# 湘南地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計16)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	6
	5 その他	2
	未記入	3
	無効回答	0
②主な時間帯 (計16)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	9
	3 午後	3
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	4
	無効回答	0
③交通手段 (計20)	1 徒歩	3
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	4
	7 タクシー	4
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	3

④大変な理由 (計30)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	1
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	9
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	10
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計10)	未記入	3
	1 家族	8
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 湘南地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

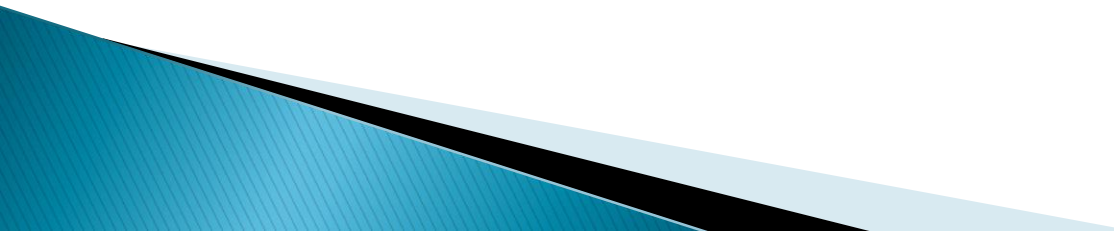
- 地区内にある金融機関は限られているが、他行のATMやコンビニのATMの利用が可能となるため、日ごろの出入金については近場で済ませられる。それ以外の手続きが伴うものなどは、取引のある銀行や支店でないとできない場合が多いため、駅周辺に出向いていく手段が必要となる。
- 浜見平では駅まで出るバスが近くを通るが、柳島、中島などは交通網が通っておらず身近な外出の足がないため、送迎やタクシーの利用が多いことが想定される。
- また、お金という部分で他者には頼みづらいこと、手続きなどに伴う不安感から、一人では行かれず家族と行く人が多いのかもしれない。



# 湘南地区

## 《全体考察》

- 湘南地区は、浜見平周辺と柳島や中島などの地区東側とでは、社会資源の数や地縁の濃淡、近隣に頼れる家族・親族がいるか否かなど取り巻く環境に差がある。
- 浜見平周辺に関しては、主要な機関がほとんど徒歩圏内にそろっているが、古くからある団地はエレベーターがないため、上階に住む方は徐々に外出が困難になり、買い物や通院が困難になっている。また、団地の建替え工事に伴う転居によりコミュニティが再編されており、高齢化に伴い友人宅への訪問が困難になって孤立化の誘引となるなど、頼れる人が近くにいない場合が多い。外出の「あし」というよりも、老化による体力的な衰えから来る外出の困難さの方が大きいと思われ、外出の不安を和らげる支援、荷物を持つなどの身体的負担を減らす支援などが必要とされていることが想定される。地区ボランティアセンターへ、浜見平団地の住民からの生活支援の依頼が一番多いことも、このことを裏付けている。
- 一方、柳島などは、出かける先までの「あし」の問題が一番大きいと思われる。家族や親族が近くに住み、地縁が強い分助け合いがあるが、家族や親族、近隣の都合に合わせての外出となり、行きたい時、必要な時に外出できるような状態ではないと思われる。また、回答者の年齢から想像するに子も若くはないため、子が運転できない、付き添えないとなった時すぐに外出困難者に陥ることが想定され、外出困難者予備軍と呼べるのではないか。外出の際には近隣にも声をかけ、必要があれば乗せていくなど、地縁を活かした近隣同士の「乗り合い支援」のようなものがあるとよいかもしれない。
- 今回のようなアンケートは、地区内の字別データもとれると、より深く地区の状況を確認することができるのではないかと思う。



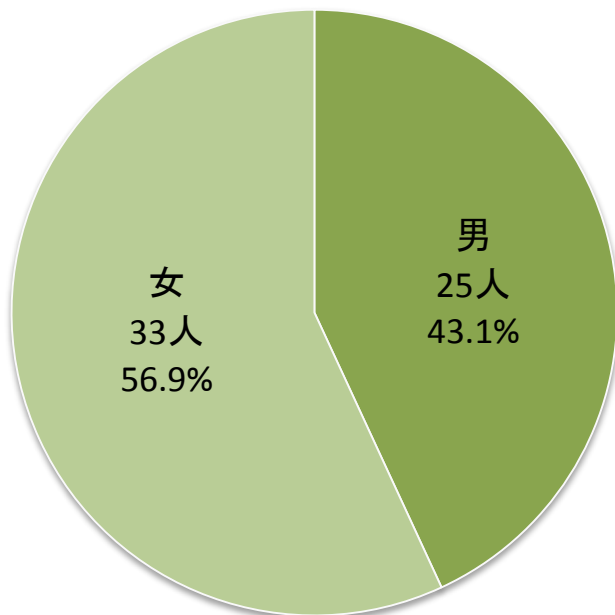


# 松林地区

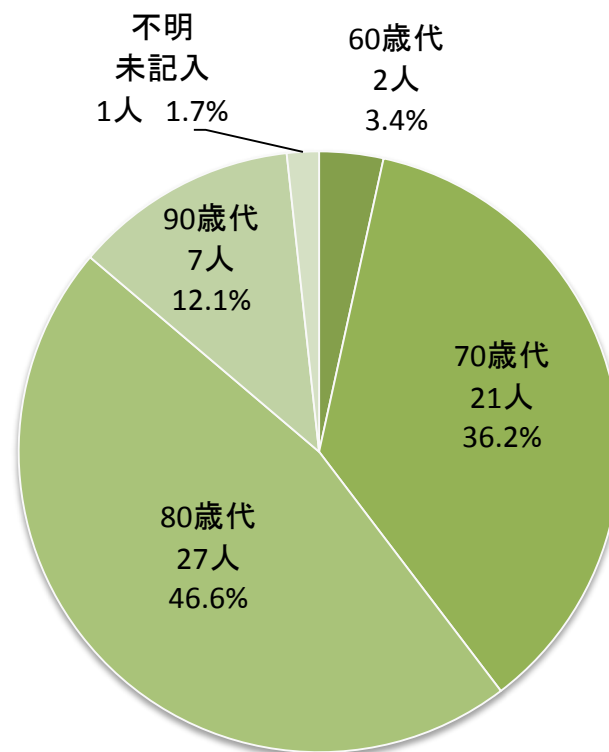
【回答数：58人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



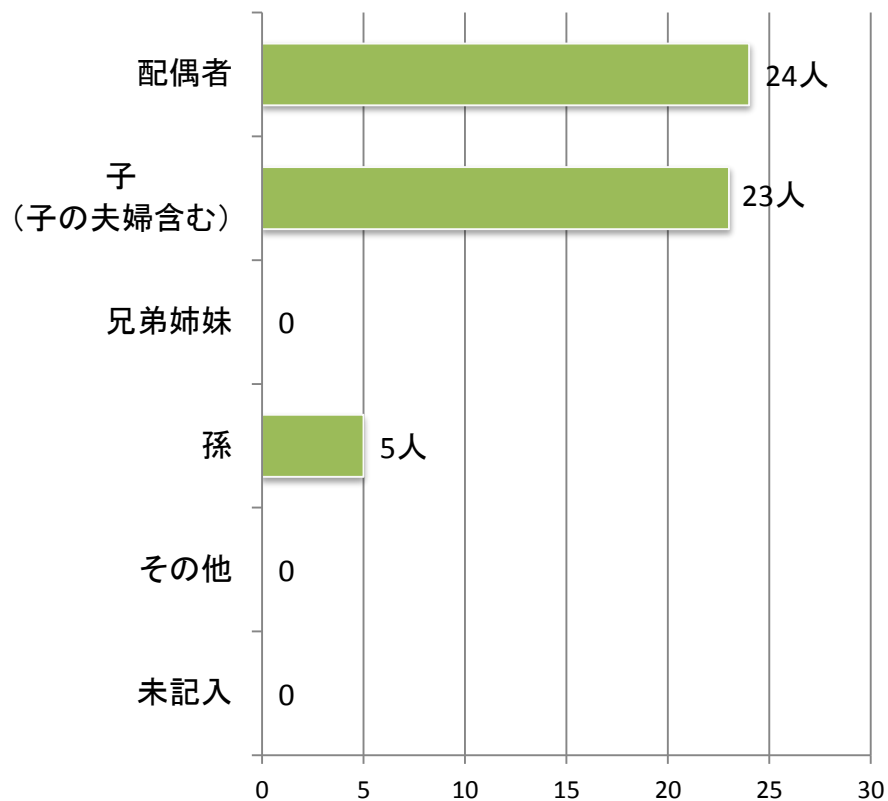
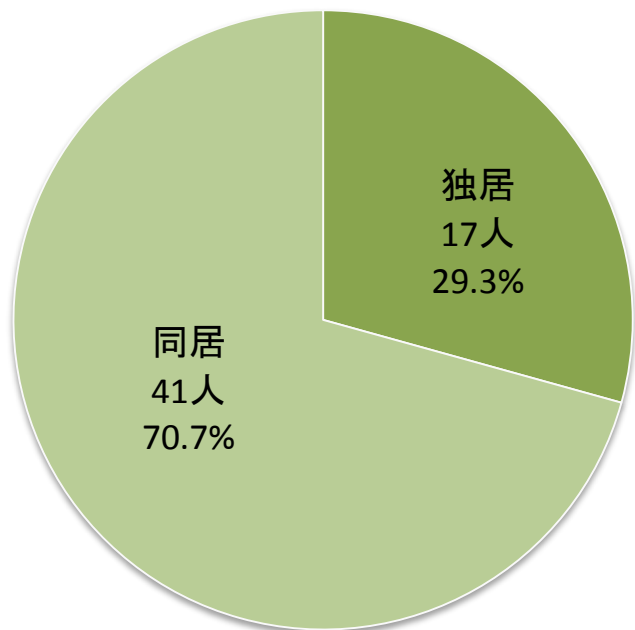
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 松林地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 松林地区

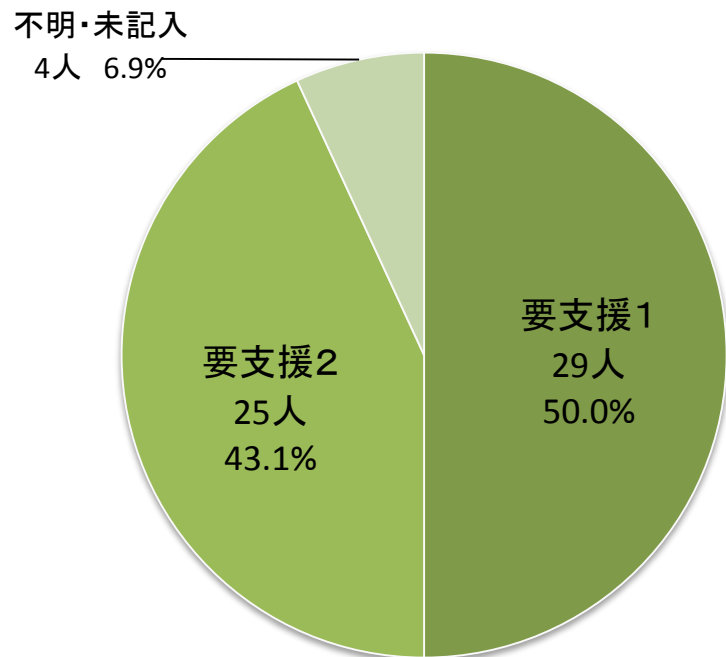
## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市域：男44.9%女54.7%と比較して偏差ないと思われる。(問2)
- 市域と比べて70歳代の回答割合が高く、90歳代が低かった。60歳代以下の回答割合も低かった。(問3)
- 独居の割合は市域と比較して偏差ないと思われる。(問4)
- 同居している41人中、「配偶者(24/41)」、「子(23/41)」との同居が多い。市域でも同様の傾向。(問4)

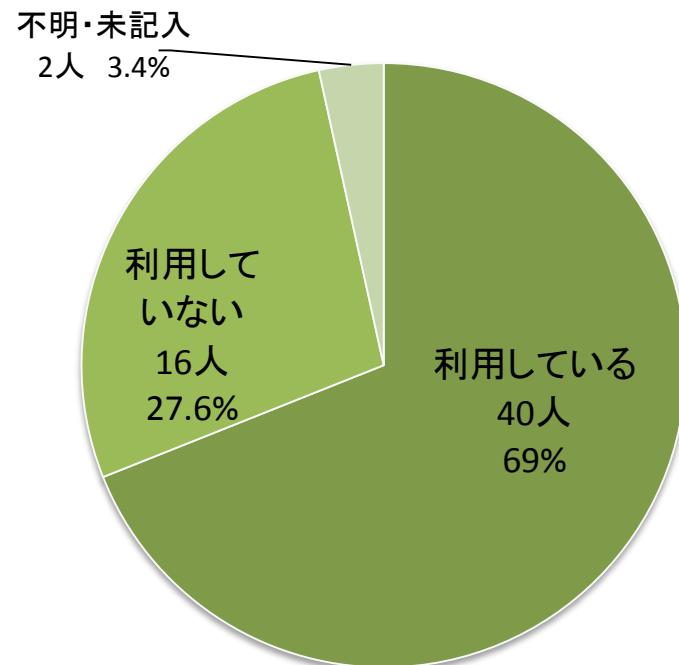
# 松林地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



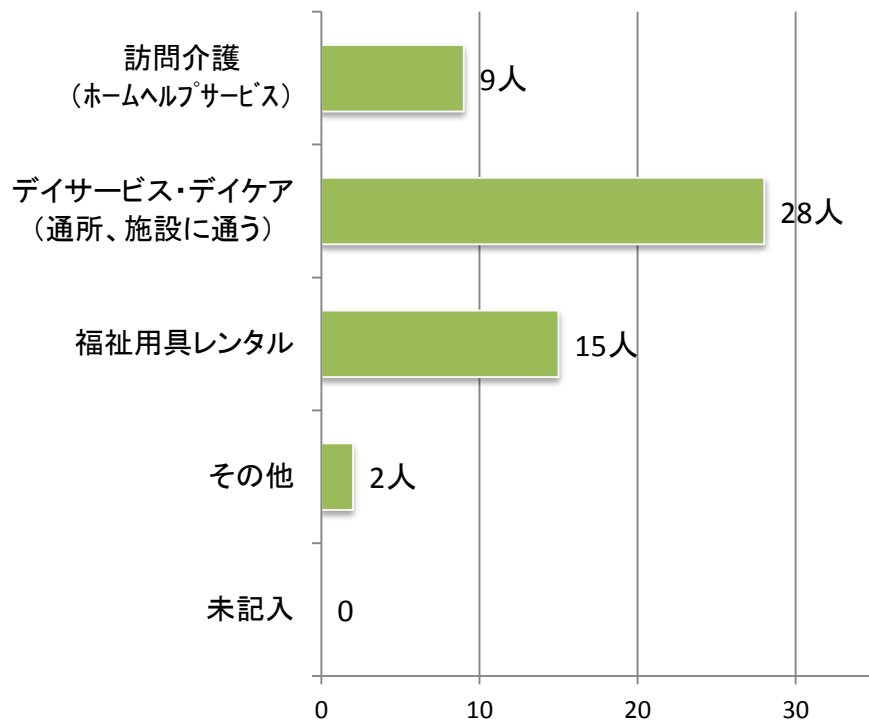
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



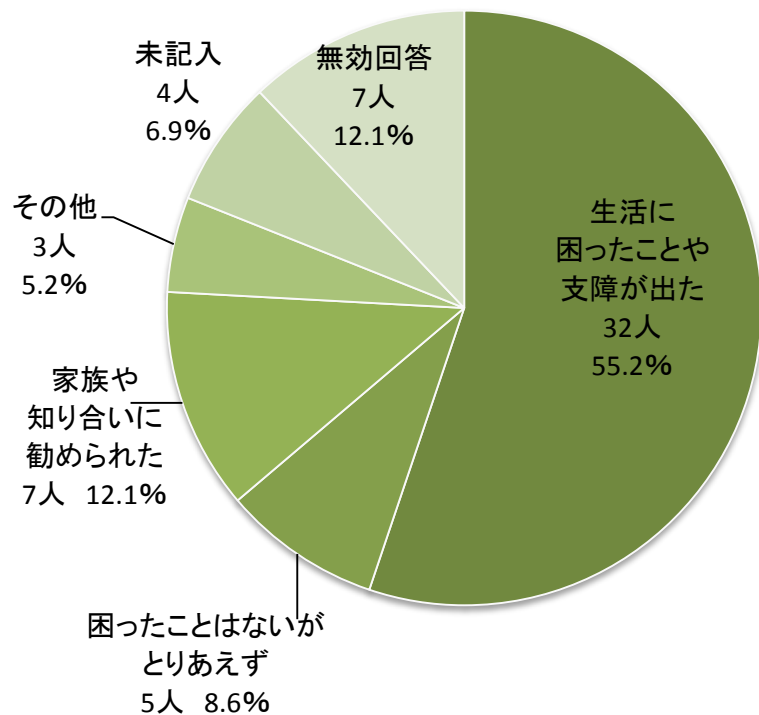
# 松林地区

## ～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 松林地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

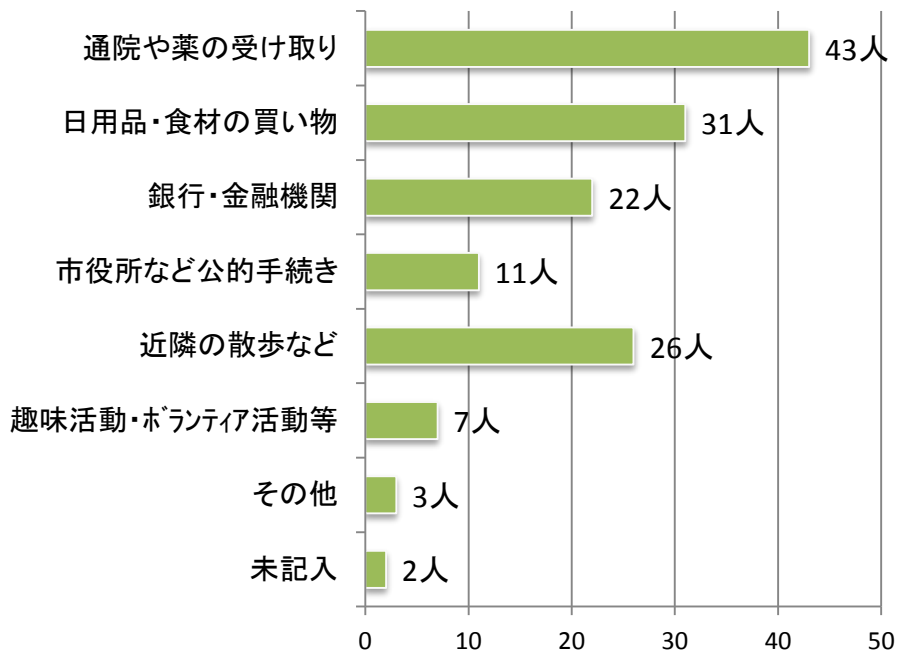
- 要支援2の割合が市域と比較して3.5%少ない。(問5)
- 介護保険サービスを「利用していない」人の割合が5.6%高い。(問6)
- 市域同様に「デイサービス・デイケア」の利用が一番多い。(利用している40人のうち29人がデイサービスを利用)。(問6-2)
- 「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」と回答した人が55.2%で、市域とほぼ同じ。(問7)

# 松林地区

～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください

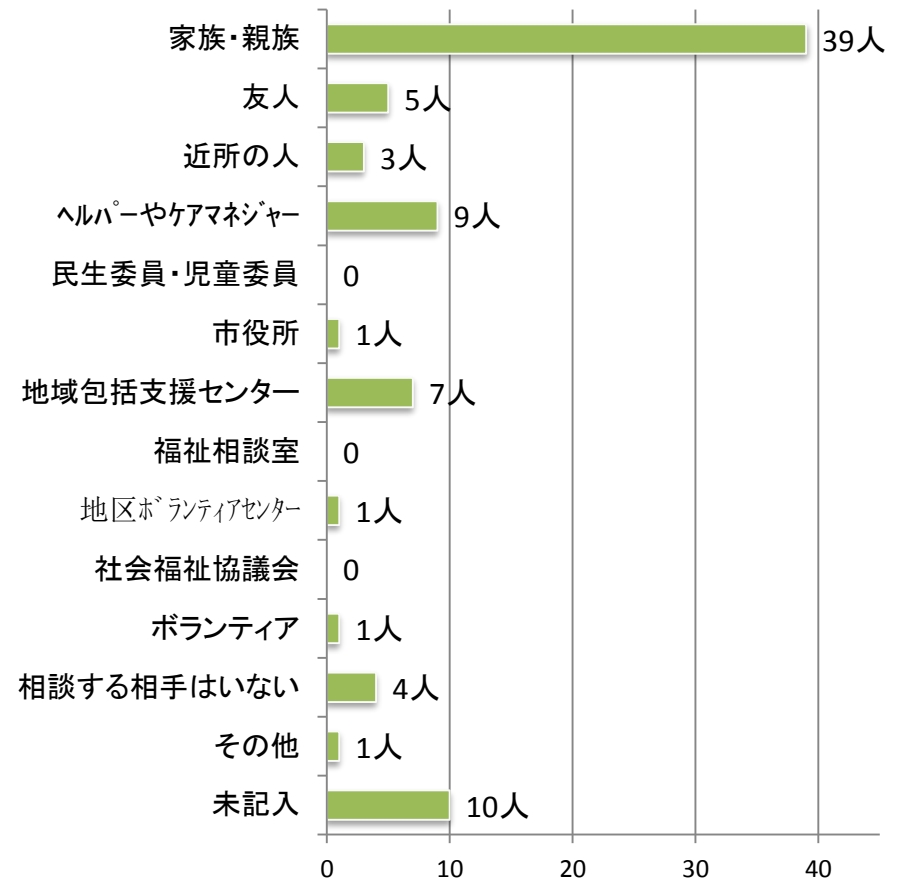
(複数回答)



※その他: 美容院、親戚宅  
デイサービス

問13 外出について困ったことがある時など

誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 松林地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 市域と比較して「近隣の散歩等」の外出が多い。上位3つについて見ると「銀行・金融機関」より「近所の散歩等」が3位に入る。(問8)
- 市域と比較して偏差がないと思われる。(問13)

## 《考察》

- 多くは「通院・薬の受け取り」を回答。要支援者のアンケートのため、通院等が外出先として大きく占めることが再確認された。(問8)
- 「同居」が41人で39人が「家族・親族」に相談できており、家族・親族で相談できる環境にあることが見える。(問13)



# 松林地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計32)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	19
	5 その他	5
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計32)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	27
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
	③交通手段 (計43)	1 徒歩
2 自転車		2
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		4
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		3
6 家族等が運転する車		10
7 タクシー		12
8 福祉タクシー		0
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計70)	1 距離が遠い	13
	2 交通が不便	7
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	26
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かないので 付添が必要	13
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計13)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 松林地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## ＜＜考察＞＞

- 通院・薬の受け取りについては「月に1～2回」で「午前中」、「家族の運転する車」か「タクシー」での移動が多い。
- 「一人で行かれない」場合、「家族」に100%頼んでいる。

# 松林地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	7
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	4
	5 その他	1
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	15
	3 午後	6
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計33)	1 徒歩	8
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	6
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	8
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	2

④大変な理由 (計48)	1 距離が遠い	8
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	18
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かないので 付添が必要	5
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計5)	未記入	3
	1 家族	5
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 松林地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 買い物については「週に1回」以上の頻度が多く、「午前中」が多い。交通手段は「家族の運転する車」「徒歩」が多い。
- 地区内でも住んでいる場所によって違うかと思う。
- 地域包括支援センターによると、買い物については宅配の利用も多い模様。
- 「一人で行かれない」場合、「家族」に100%頼んでいる。

# 松林地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計19)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	1
	4 月に1～2回	11
	5 その他	3
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計19)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	13
	3 午後	3
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計23)	1 徒歩	4
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	6
	7 タクシー	3
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	3

④大変な理由 (計33)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	14
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	7
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計7)	未記入	2
	1 家族	7
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 松林地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

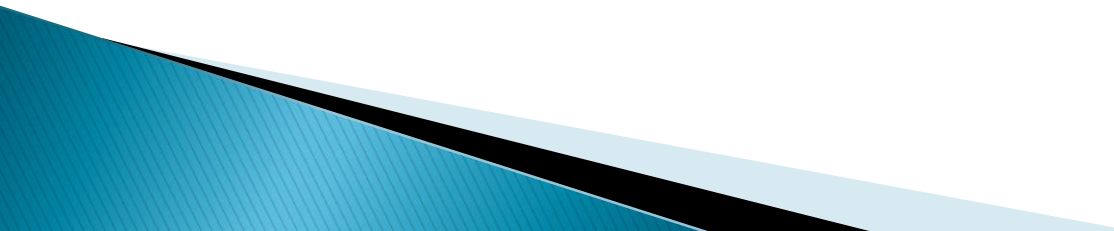
## 《考察》

- 銀行については、「月に1～2回」の頻度が多く「午前中」が多い。交通手段は「家族の運転する車」に次いで「徒歩」が多い。地区内でも住んでいる場所によって違うかと思う。
- 地区近辺の金融機関であると郵便局（高田、鶴が台、松林、小和田）の他、コンビニのATMか。
- 「一人で行かれない」場合、「家族」に100%頼んでいる。

# 松林地区

## 《全体考察》

- 問2～問4における基本属性について  
市域と大きな偏差はなかったが、子との同居は市域と比べて少し高い。  
要支援者へのアンケートなので、要介護認定申請するにあたって、家族等の協力が得られる状況(同居)等があることが反映しているように思われる。
  - 問5～問7より
    - : 介護保険サービスの利用率は6.7%市域より低く、申請理由は「生活に困ったことや支障が出たため」と答えた人は55%と市域とほぼ同じ。
    - : 認定を受けてもある程度は同居親族の支援がありサービスを使わずにいるように思われる。利用サービスについて市域の順位と変わりはない。「デイサービス・デイケア」が一番多く、「福祉用具」「ヘルパー」と続く。
    - : 普段よく出かけるところ第3位に「近隣の散歩等」が挙がっており、市域第3位の「銀行・金融機関」よりも多い。
- ⇒ もし、要支援におけるデイサービス等の利用制限等がある場合、ミニデイサービスなどのインフォーマルな地域の居場所をより充実させることで、現状の利用者等を支えることの一助になるのではないか。



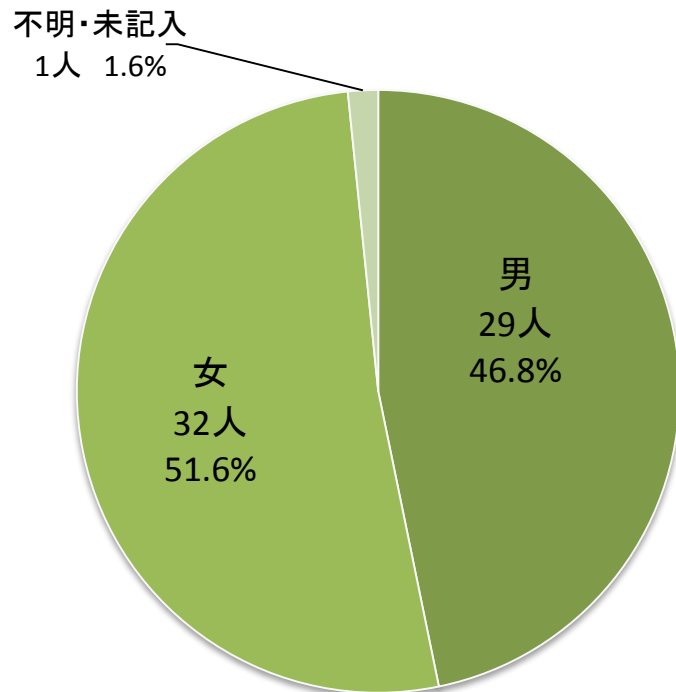


# 湘北地区

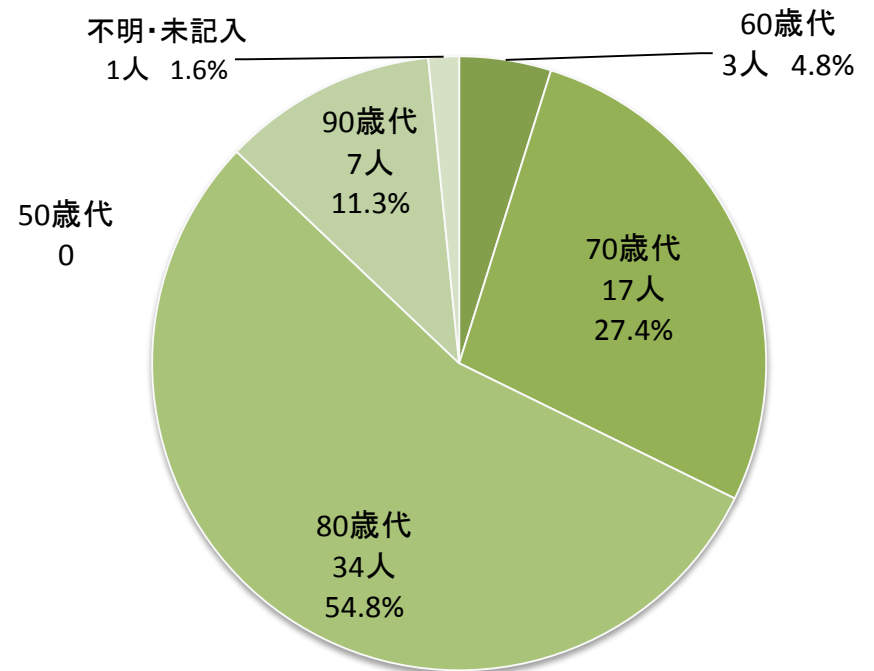
【回答数：62人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



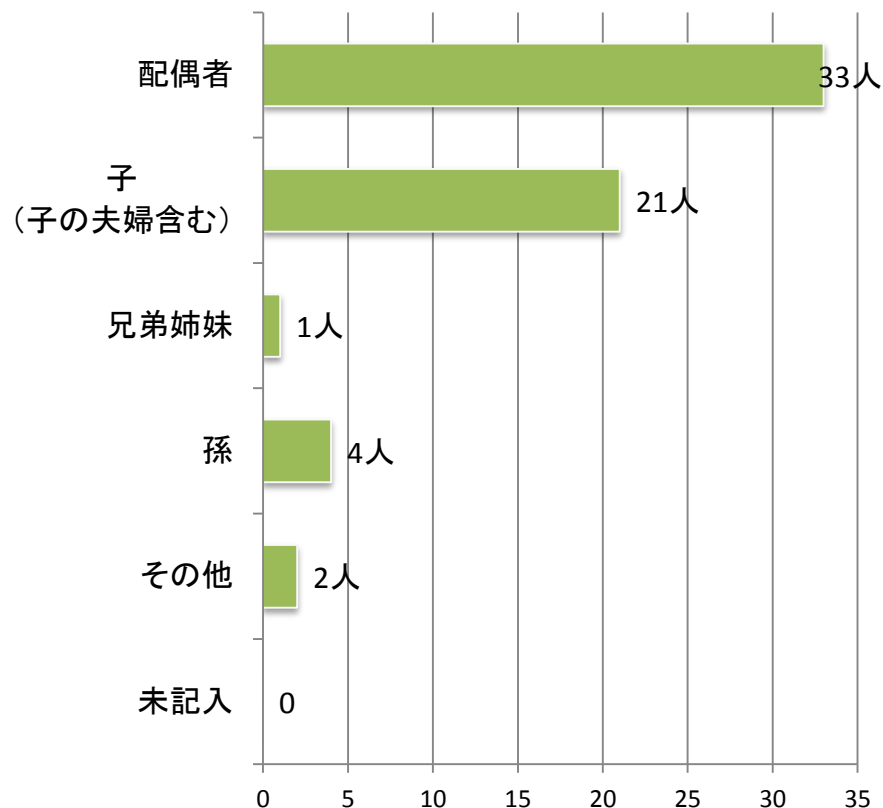
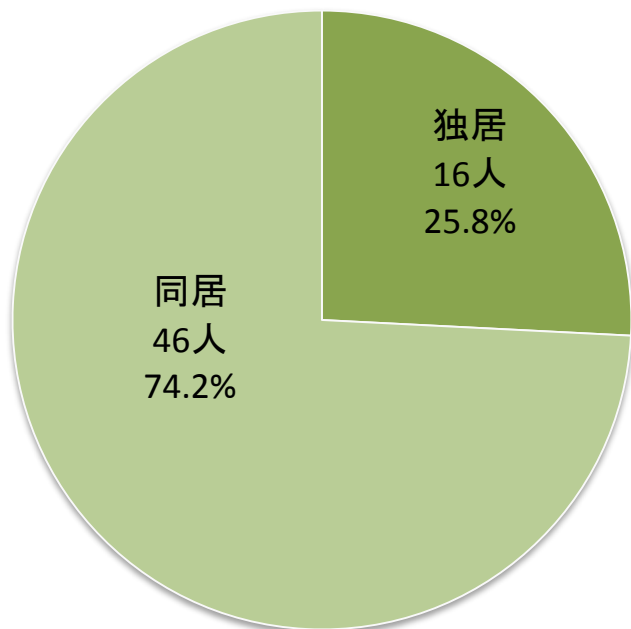
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 湘北地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 湘北地区

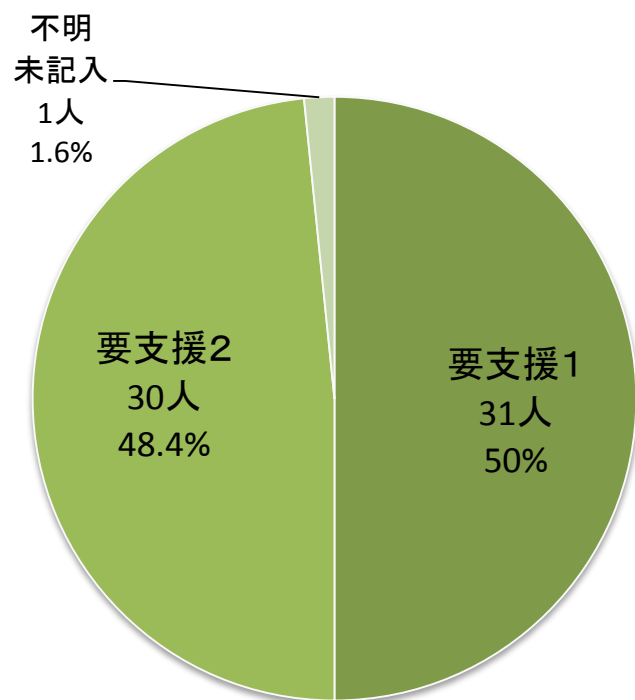
## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 性別については市域とほぼ変わらぬ割合。(問2)
- 年齢については市域と比べ90代が8%低く、その分80代が多い。(問3)
- 「同居」の割合が7割を超えていて市域と変わらない。(問4)
- 市域の構成と比べると配偶者との同居が多い。(問4)

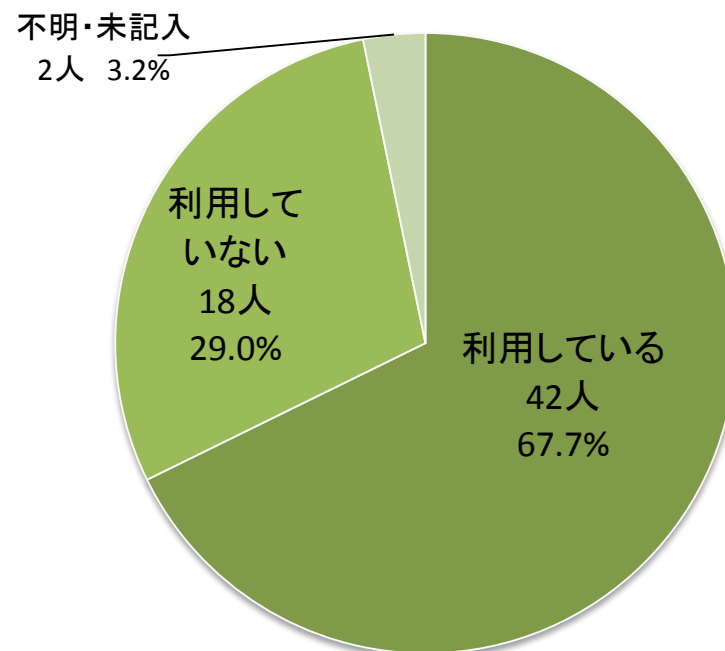
# 湘北地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



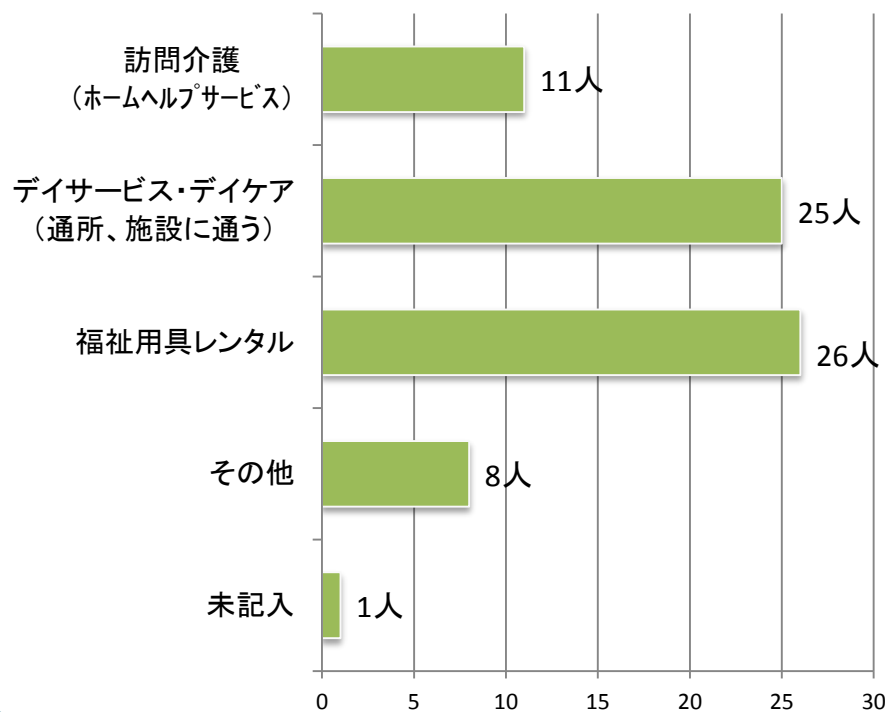
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



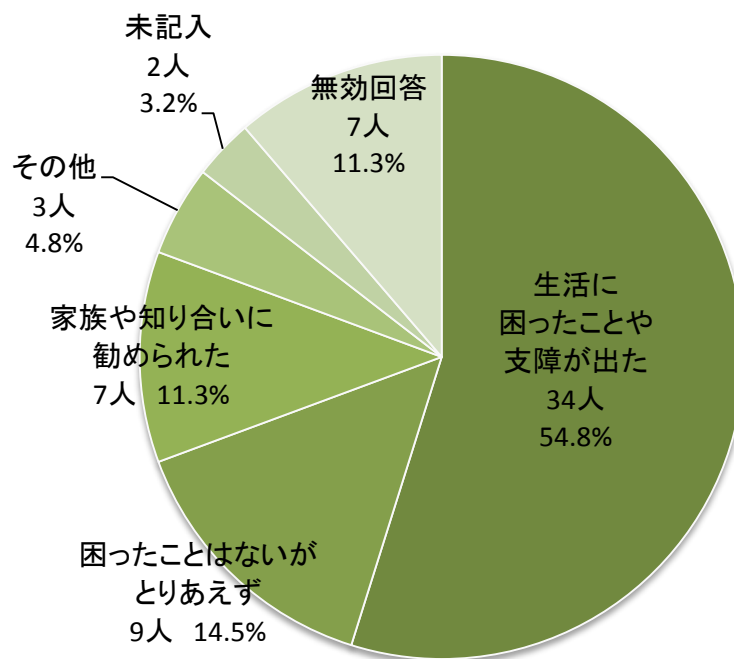
# 湘北地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 湘北地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 市域全体に比べ、介護保険サービス利用率は8%低い。(問6)
- 「訪問介護」「デイサービス・デイケア」利用がともに市域と比べると少ない。その分「福祉用具レンタル」「その他」の利用が多い。(問6-2)
- 「困ったことや支障はないがとりあえず」申請した人が市域の約倍になる。(問7)

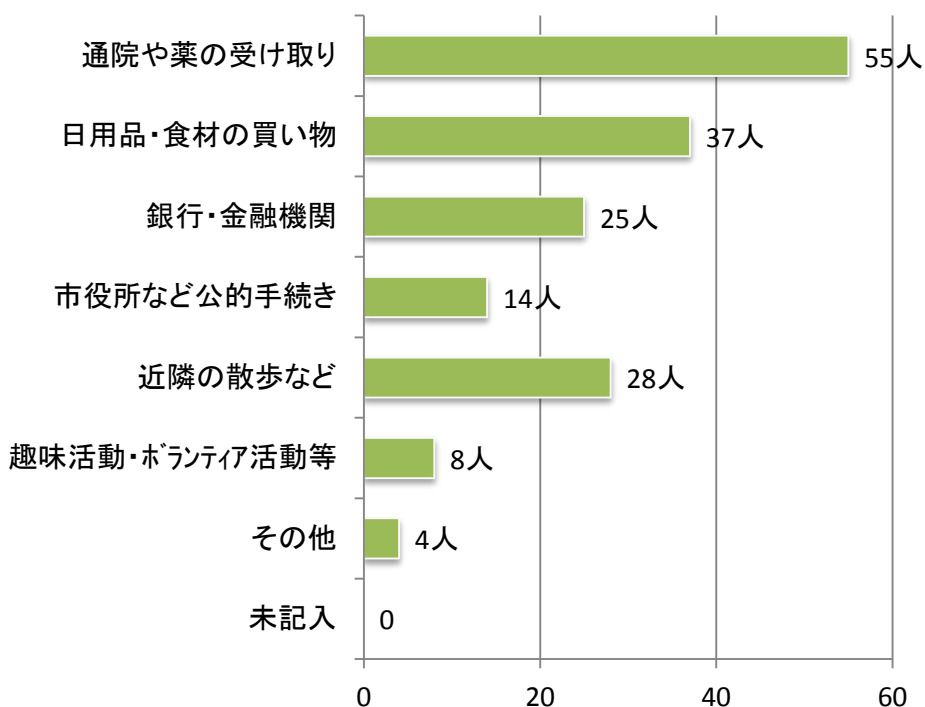
## 《考察》

「訪問介護」「デイサービス・デイケア」利用が市域の構成より少ない。その分「福祉用具レンタル」「その他」が多く、問6の結果も考慮すると比較的度が軽めとも推測できる。「困ったことや支障はないがとりあえず」申請した人が市域と比較すると倍になるので、介護認定を受けていても利用していないことと関連があると思われる。

# 湘北地区

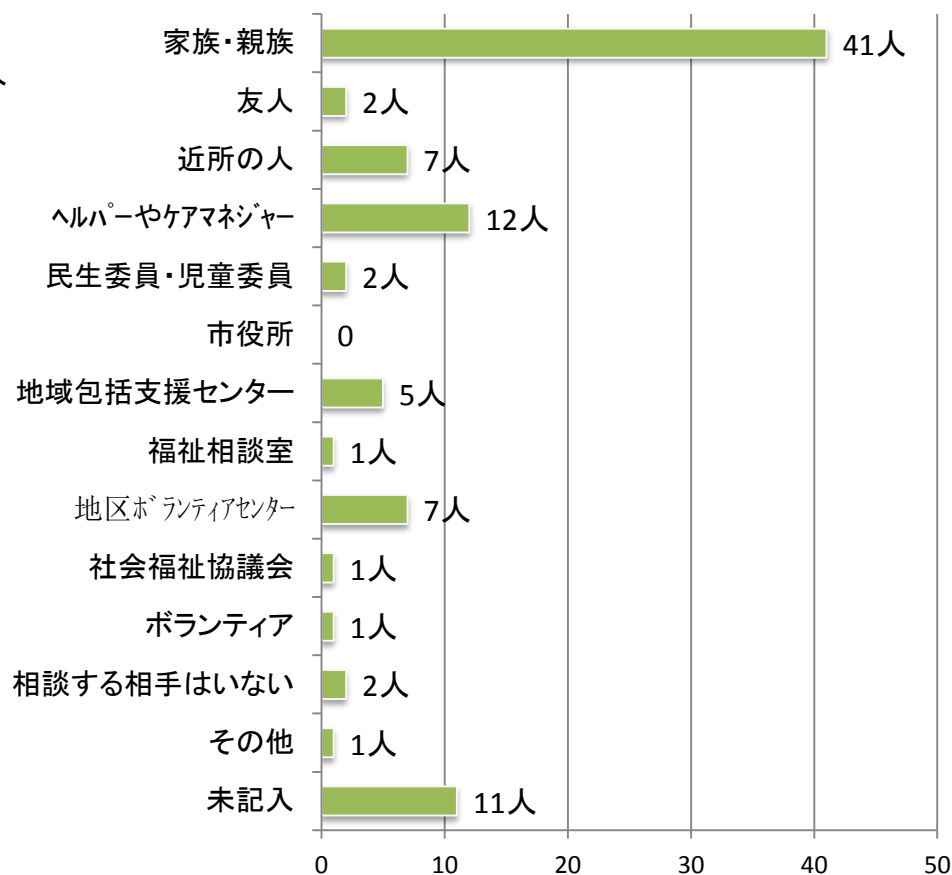
## ～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください  
(複数回答)



※その他：畑の草取り、ケアハウスの草取り、  
信仰道場

問13 外出について困ったことがある時など  
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 湘北地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 市域全体と変わらず、男女比が同じ。(問8)
- 地区ボラセンの順位が高め。(問13)

### 《考察》

問13の結果により日頃より地区における知名度が高いことがうかがえる。このアンケート実施後には地区ボラセンのパンフレットを全戸配布しているので、さらなる周知が期待される。また、回答者62人、同居46人の中で40人が家族・親族に相談と回答。まずは家族・親族に相談できる状況にあることが見える。



# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計29)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	4
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	16
	5 その他	2
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計29)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	20
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
	③交通手段 (計52)	1 徒歩
2 自転車		2
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		2
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		12
7 タクシー		13
8 福祉タクシー		2
9 その他		2
未記入		0

④大変な理由 (計55)	1 距離が遠い	6
	2 交通が不便	4
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	22
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	16
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計19)	未記入	0
	1 家族	15
	2 友人	0
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 通院薬取りについては「月に1～2回」で「午前中」、「タクシー」「家族の運転する車」「徒歩」での移動が多い。
- 「一人で行かれない」場合、ほぼ「家族」に頼んでいる。

# 湘北地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計35)	1 週に4回以上	6
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	10
	4 月に1～2回	8
	5 その他	1
	未記入	5
	無効回答	0
②主な時間帯 (計35)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	19
	3 午後	13
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計56)	1 徒歩	17
	2 自転車	5
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	7
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	14
	7 タクシー	7
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	1
	未記入	1

④大変な理由 (計69)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	18
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計21)	未記入	3
	1 家族	17
	2 友人	1
	3 近所の人	2
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 買い物については「週に1回」以上の頻度が多く、「午前中」が多い。交通手段は「徒歩」に次いで「家族の運転する車」が多い。地区内でも住んでいる場所によって違うかと思う。
- 「一人で行けない場合」、ほぼ「家族」に頼んでいる。

# 湘北地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計20)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	4
	4 月に1～2回	13
	5 その他	2
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計20)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	4
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計38)	1 徒歩	12
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	3
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	2
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計35)	1 距離が遠い	6
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	7
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計8)	未記入	0
	1 家族	6
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 湘北地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

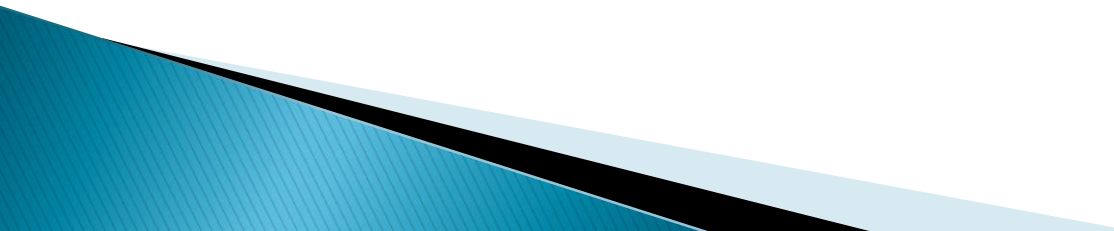
## 《考察》

- 銀行については、「月に1～2回」の頻度が多く「午前中」が多い。交通手段は「徒歩」に次いで「タクシー」「バス」が多い。他の外出先と違い「家族等の運転する車」が少ない。

# 湘北地区

## 《全体考察》

- 家族構成については、市域と比べ配偶者との同居が多いため、生活に不自由を感じることもお互いが支え合うことで解決し生活出来ていると想定できるが、今後死別等によりこの層が独居になった際の支援を検討する必要がある。
- 利用しているサービスでは福祉用具のレンタルが多い。次いでデイサービスの利用が多いため、外出先として地区内のミニデイ・サロンを情報提供することも可能だと考えられる。
- 外出に関する相談先に「地区ボランティアセンター」が上位にあるが、実際の地区ボランティアセンターの活動実績と比較して、今後の外出支援の取り組み方の検討も可能だと考えられる。



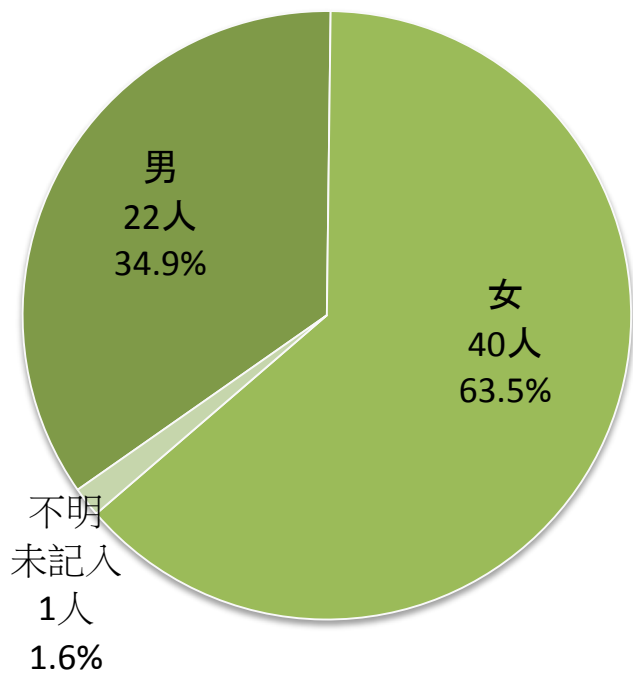


# 小和田地区

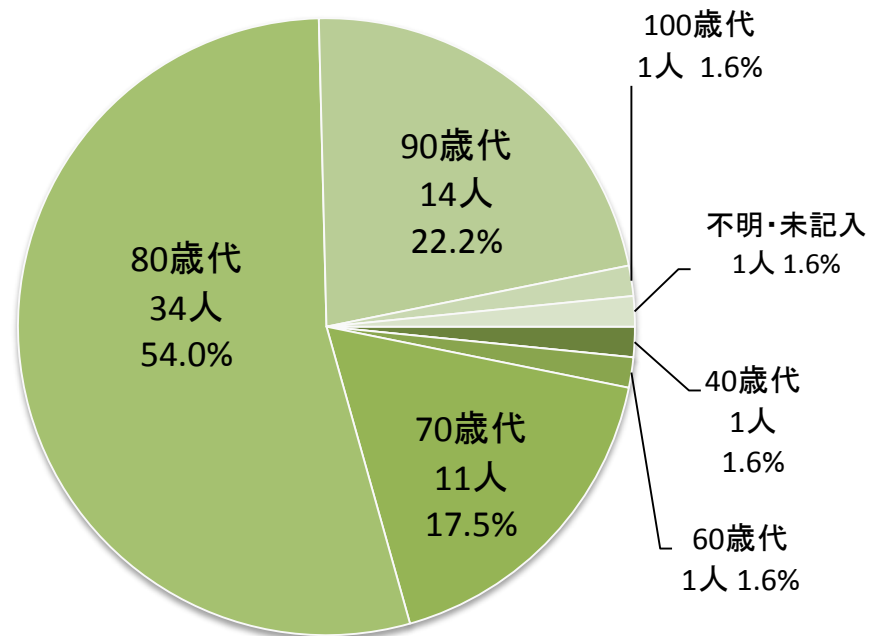
【回答数：63人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



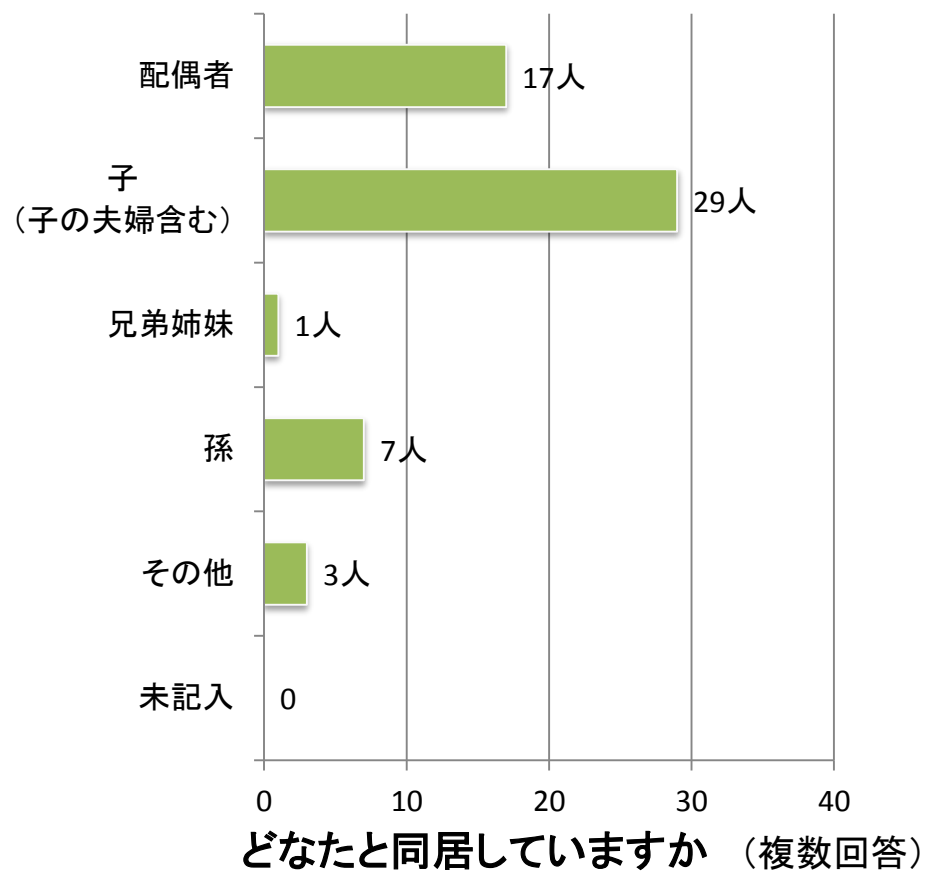
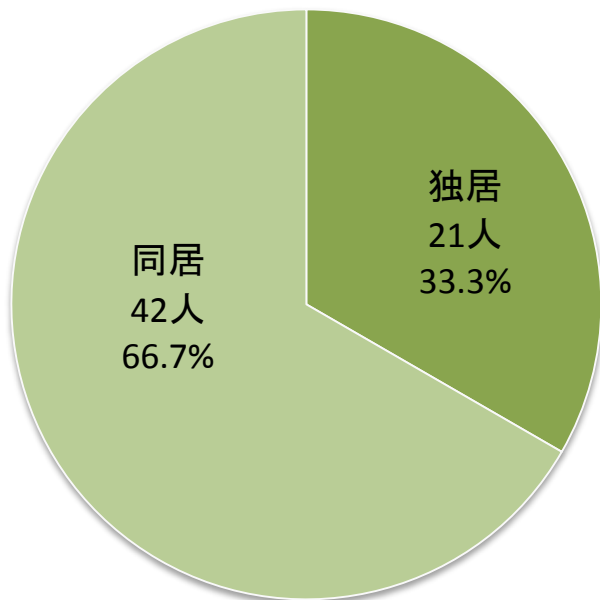
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 小和田地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



# 小和田地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 回答者の性別は市全域に比べ女性の割合がやや高い(8.8%)。(問2)
- 年齢構成は、市全域に比べて80代、90代が高くなっている。(問3)
- 「独居」の人が市全域に比べ約6%高くなっている。(問4)
- 市域の順位とは逆で、「子」との同居が「配偶者」よりも多い。「孫」との同居もやや多くなっている。(問4)

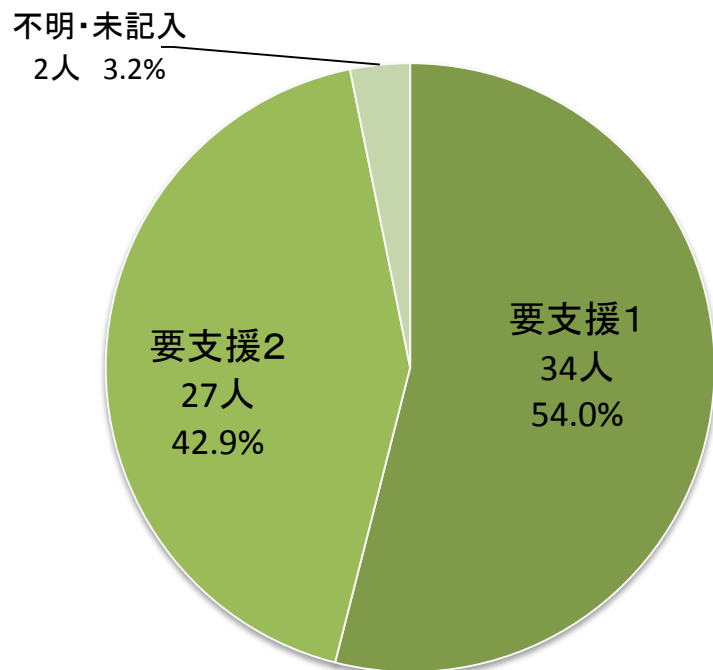
## 《考察》

- 従来からの戸建が多く、元々は夫婦、子の世帯構成であったが、子が独立し配偶者が亡くなり独居となった人が多いと推測される。
- 子や孫との同居が高くなっているのは、駅への利便性等による生活環境の良さによるものと推測される。

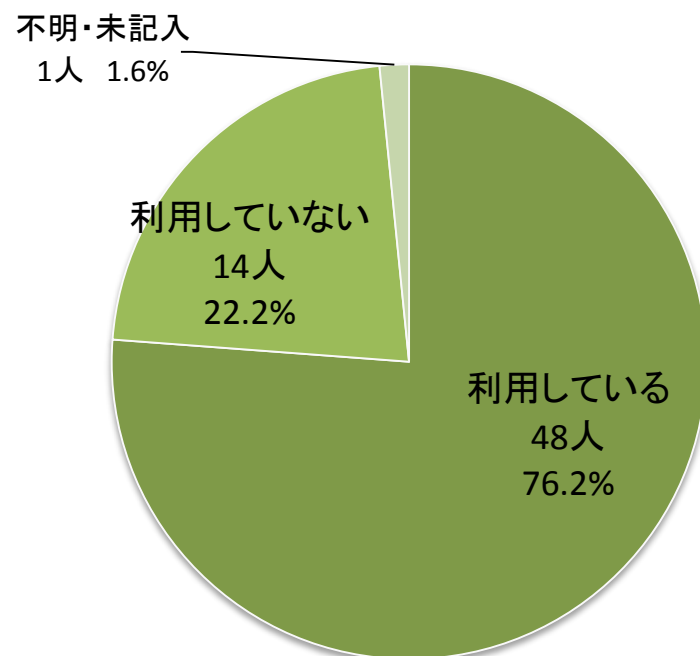
# 小和田地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



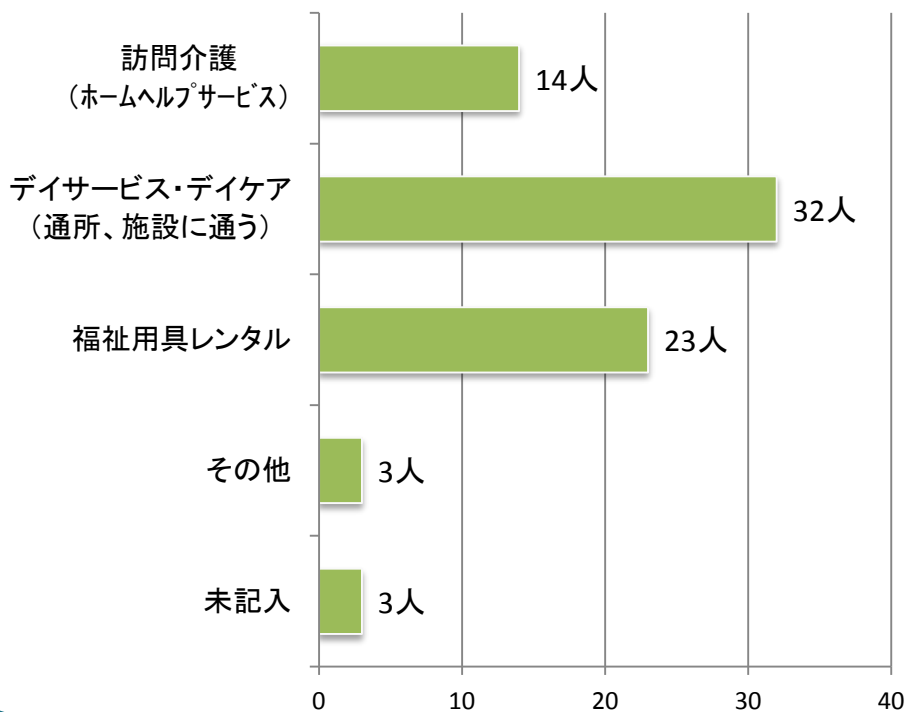
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



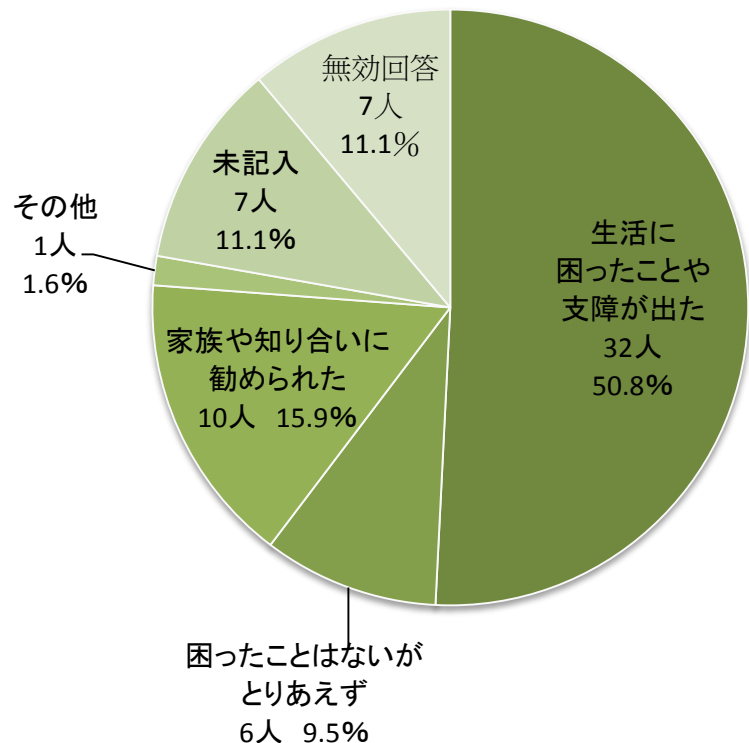
# 小和田地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 小和田地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定は要支援1の方が多くなっている。(問5)
- サービスの利用の有無、利用しているサービス、介護保険の申請の理由については市全域と比較して変わりがない。(問6・問6-2・問7)
- 申請理由の「困っていないがとりあえず」については、不安感から来るものかと思われる。(問7)

## 《考察》

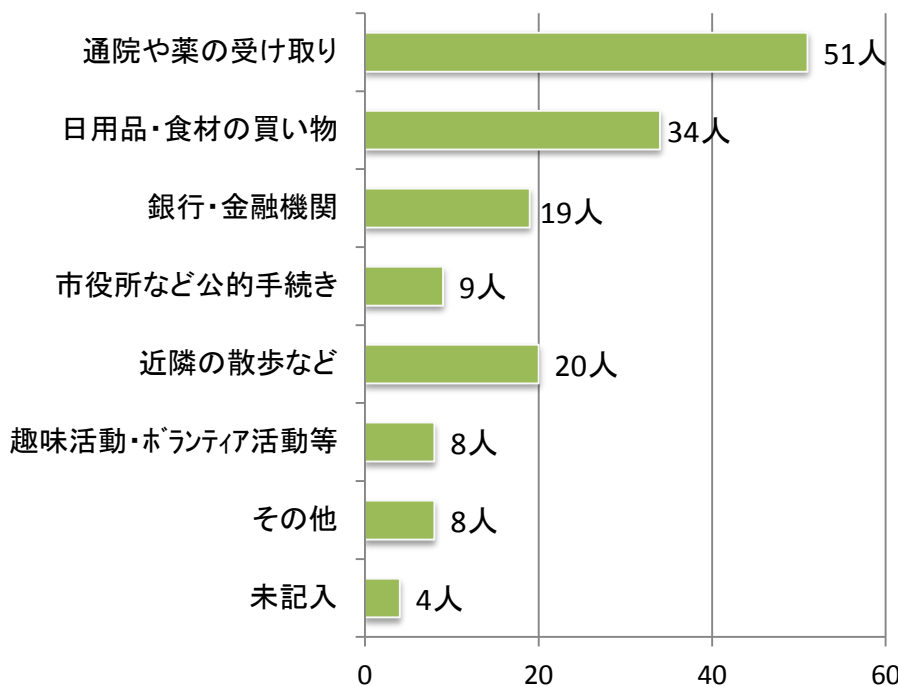
- 申請理由で「生活するのに困ったことや支障がある」との回答が51%あるが、実際のサービス利用は訪問系より通い系のサービスが多く、予防に対する意識が高い事がうかがえる。
- 予防に対する意識は地区内各所で行われている体操系のサロンやポールウォーキングなどからもうかがえる。

# 小和田地区

## ～外出関連～

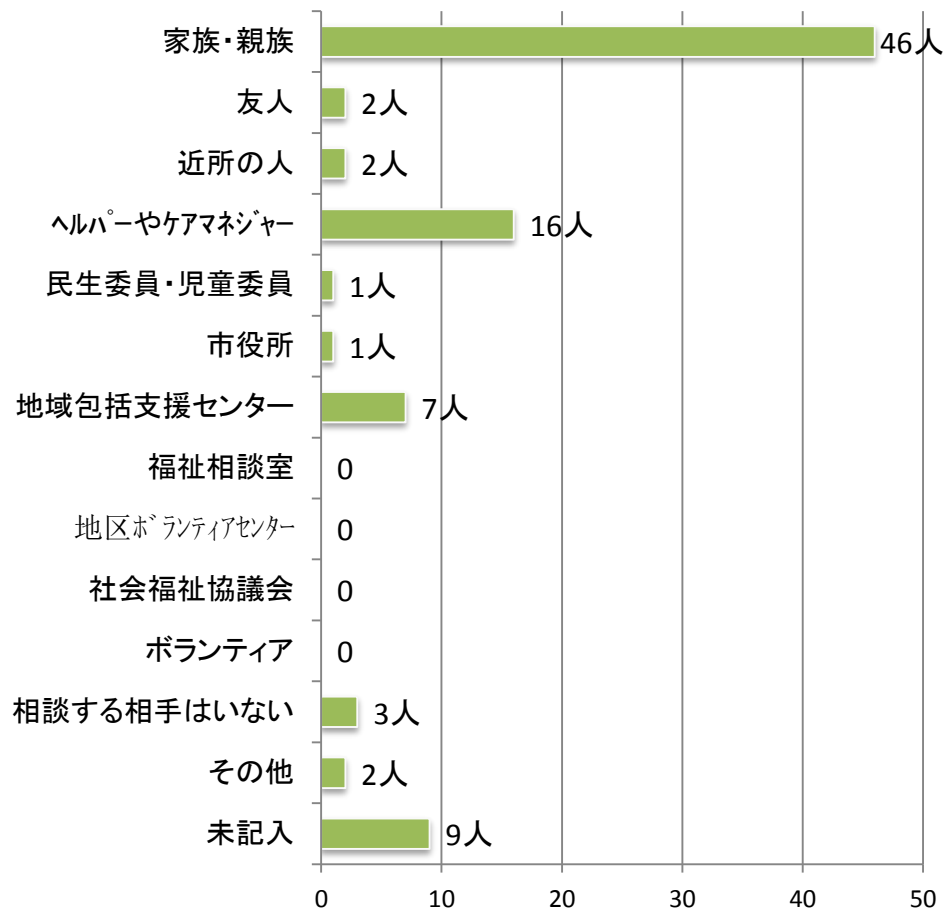
### 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他：うた体操、体操教室、ポスト  
デイサービス、リハビリ等

### 問13 外出について困ったことがある時など 誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 小和田地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 良く出かけるところとしては、市全域の回答と差はない。(問8)
- 相談先については市全域と全体的な順位は変わらないが、「家族・親族」「ヘルパーやケアマネジャー」や「地域包括支援センター」の回答が多く、「友人」や「近所の人」の回答が少なくなっている。(問13)

## 《考察》

- 相談先としてヘルパーやケアマネジャーが多いのは、この地区にやや多い独居の人の相談窓口となっている事が考えられる。また、地域包括支援センターも地区のサロンやイベント時に参加をしていることから身近な存在となっている。「社会福祉協議会」など0のところについては、今後の相談窓口としての周知をしていく必要がある。



# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	6
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	21
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝（8時以前）	3
	2 午前中	23
	3 午後	6
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計47)	1 徒歩
2 自転車		0
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		14
7 タクシー		11
8 福祉タクシー		0
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計62)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	5
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	21
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計23)	未記入	1
	1 家族	18
	2 友人	2
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 頻度は「月に1～2回」が多く、病院の定期的な予約通院と考えられる。また、移動手段については予約などで日時があらかじめ確定している事もあり、「タクシー」の割合が多くなっている。週に1回～数回の人と比較的徒歩圏内の医院の通院と思われ、その選択が「徒歩」に出ていると推察される。
- 大変な理由の1位「体がきつい」と2位「一人では行かないので付添が必要」の回答数にほぼ差がない事が注目される。同様の結果は後に出てくる【銀行・金融機関】の外出にも見られるが、手続き等が不安ということがあると思われる。

# 小和田地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計28)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	13
	3 週に1回	6
	4 月に1～2回	6
	5 その他	1
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計28)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	11
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計42)	1 徒歩	15
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	1

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	4
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かないので 付添が必要	13
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	10
	2 友人	1
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 日常的な外出行動のため「週に2～3回」が多く、1週間に1回は外出する方が7割を超える。通院と違い「午後」にも外出があるのは、徒歩圏内のスーパー等（エスパティオ、やまか等）の夕方のセールに合わせてのものと考えらえる。コンビニも地区内に数軒あり、徒歩圏として活用されている可能性が高い。

# 小和田地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計24)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	15
	5 その他	1
	未記入	3
	無効回答	0
②主な時間帯 (計24)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計35)	1 徒歩	11
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	1

④大変な理由 (計40)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	15
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	1
	1 家族	12
	2 友人	2
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 小和田地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

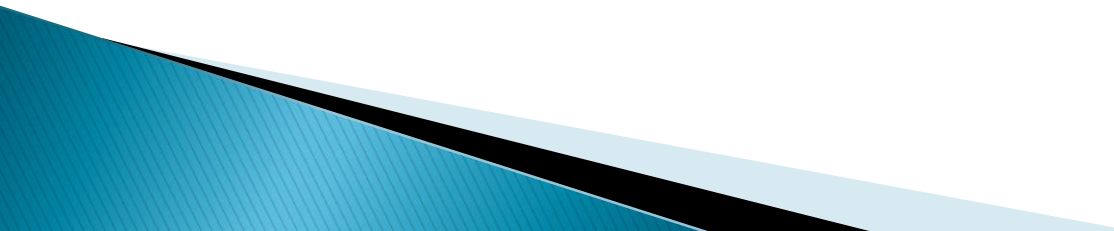
## 《考察》

- 地区内にある金融機関は郵便局とさがみ農協の2軒だけになる。他は辻堂駅前に行かなくてはならない。辻堂駅前も地区が接する北口はテラスモール内に1店舗あるが、他の6店舗は南口になる。
- 交通手段から見ると、「徒歩」については地区内の金融機関の利用、「タクシー」などは駅前の金融機関の利用が考えられる。金融機関については、一度開設すると変更することなく使う事が多く、月に数回だが不便があると思われる。

# 小和田地区

## 《全体考察》

- 外出に関しては、東小和田の交差点を起点に小和田通り、赤松通りに様々な資源が集まり便利ではある。一方で、国道一号線は「渡るのが怖い」との声もあり、地区南北の心理的境界にもなっている傾向がある。地区行事については国道北側と南側の会場持ち回りや、その区間の移動手段の検討が必要である。地区内の施設で場所や送迎車を貸してくれるとの情報もある。
- 訪問介護はサービス付き高齢者住宅に併設の事業所が中心となっている。通い系サービスはエリア内(一部松林地区含む)に複数あり充足感があるが、地域包括支援センターには「デイサービス以外にも健康のため体を動かしたい」との相談もあるそうで、ラジオ体操や運動系のサロンにも需要があるのではないかと。
- 地域包括支援センターには「荷物が持てないので歩行器を借りたい」という相談もあるそう。  
介護保険の申請には該当しないが、こうした困りごとからは「買物の荷物を持つ」、「配達してくれる」等の店舗情報やサービスの充実が必要と思われる。
- 小和田地区は、高齢化率は市内で一番低いが、子育て世代と高齢世代の二極化という面があり、全体に若いという訳ではない。この事は様々な相談を受けている地域包括支援センターや福祉相談室からも実感として挙がっている。また、2010年以降の開発事業に伴い、マンションや公共的施設、サービス付き高齢者住宅の新築など辻堂駅前を中心に大きく変わってきている。土地の売却による分割も多く、地区人口も増えている。今後も小和田3丁目の市営住宅移転など、しばらく変化が続く。



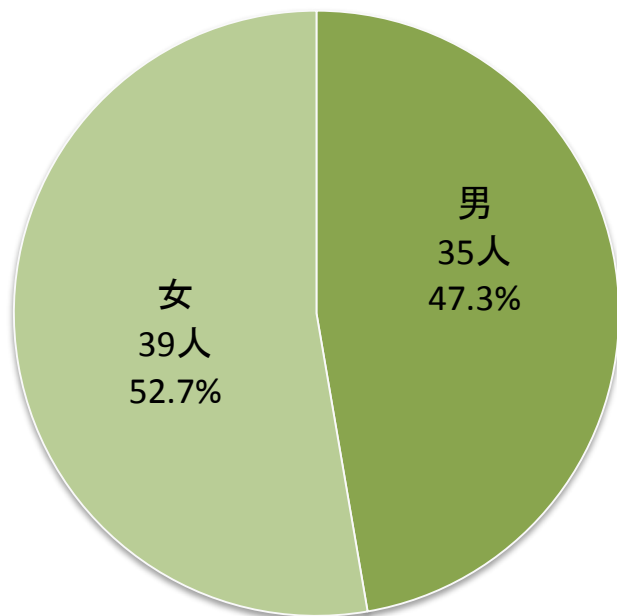


# 松浪地区

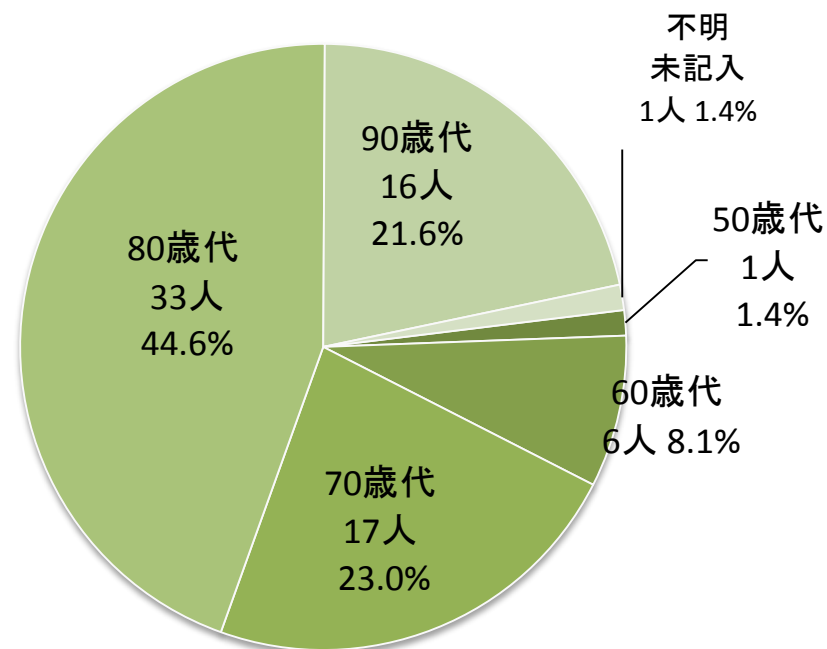
【回答数：74人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



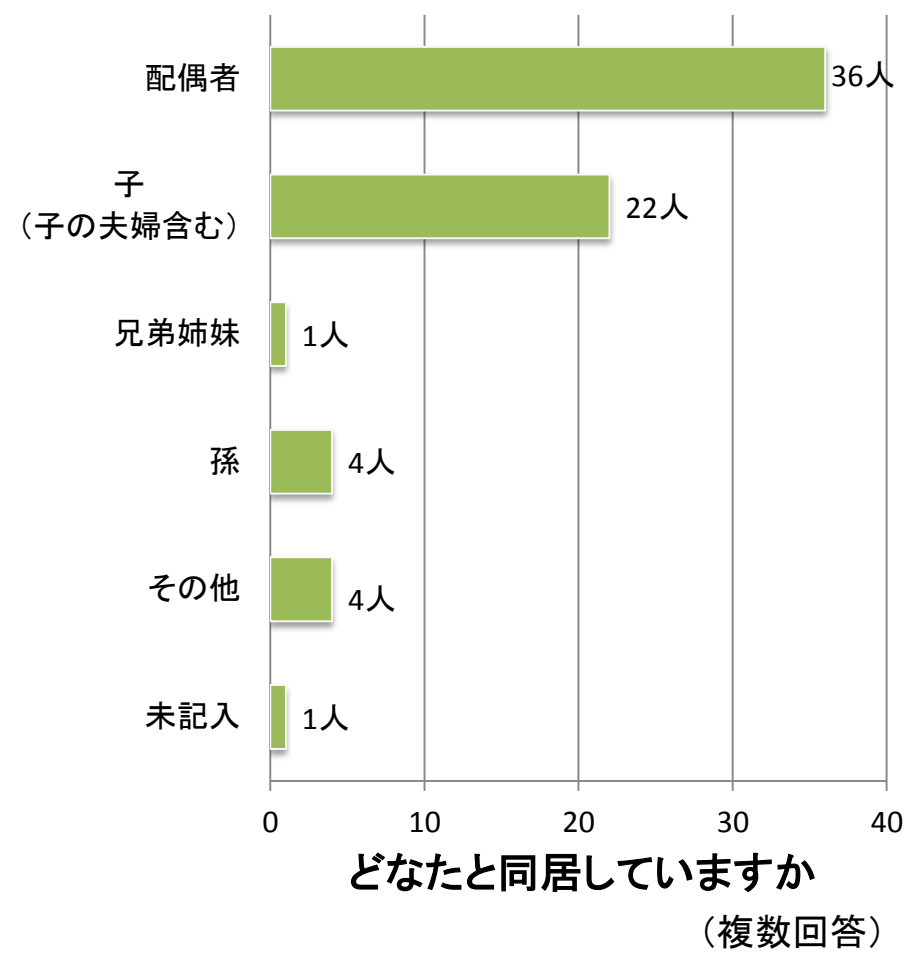
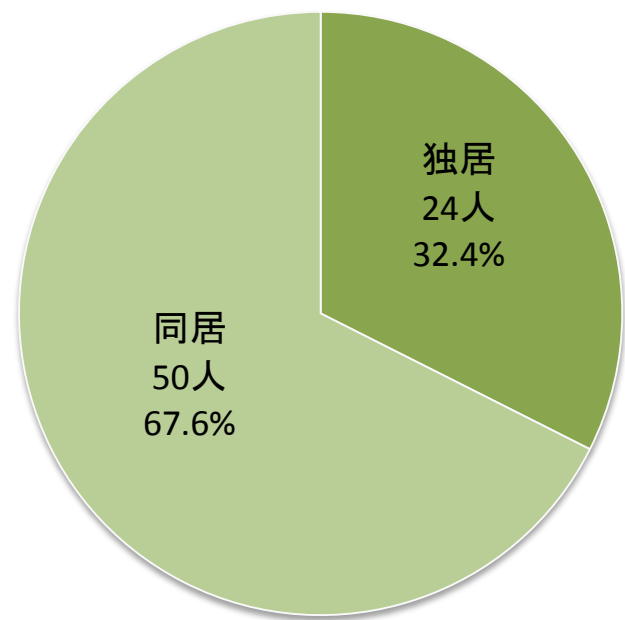
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 松浪地区

～基本項目～

## 問4 同居している家族についておたずねします



# 松浪地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 年齢構成は市域と大きな差はないが、80歳代の割合がやや低く、90歳代の割合がやや高い。(問3)
- 「独居」の割合は市域よりやや高い傾向にある。(問4)
- 誰と同居しているかについては、比率にして市域構成と比較してみると、「配偶者」がやや多く「子」との同居がやや少ない。(問4)

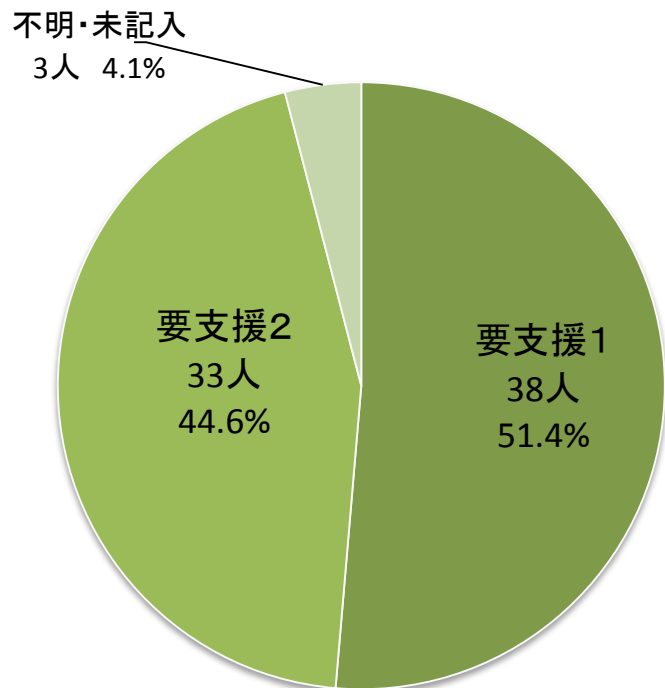
## 《考察》

市域と比較して90歳代の割合がやや高いこと、独居の割合がやや高いこと、子との同居がやや少ないことは、後の回答に影響しているものと考えられる。

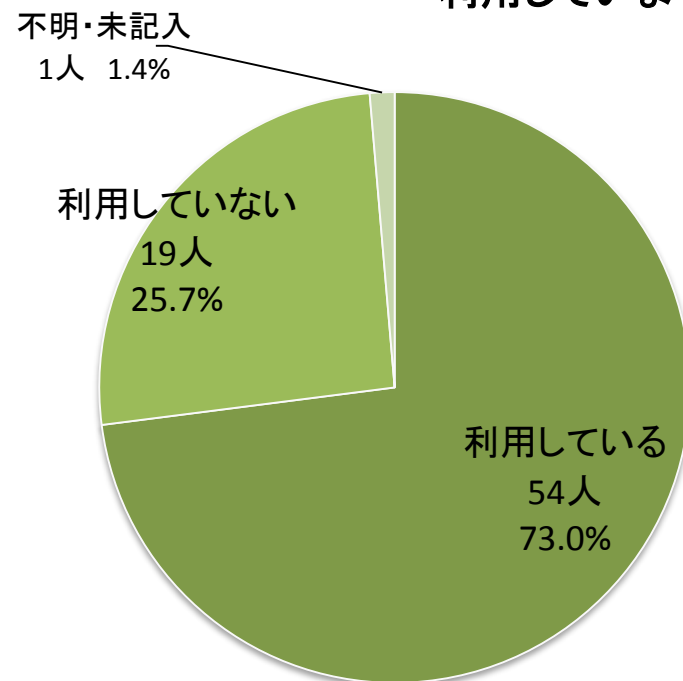
# 松浪地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



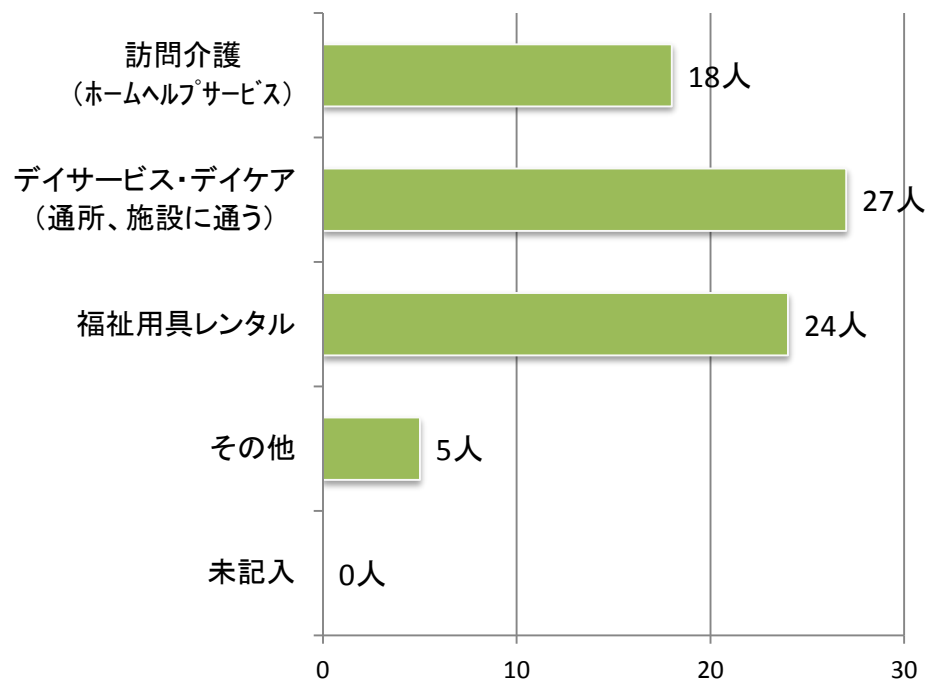
問6 現在介護保険のサービスを  
利用していますか



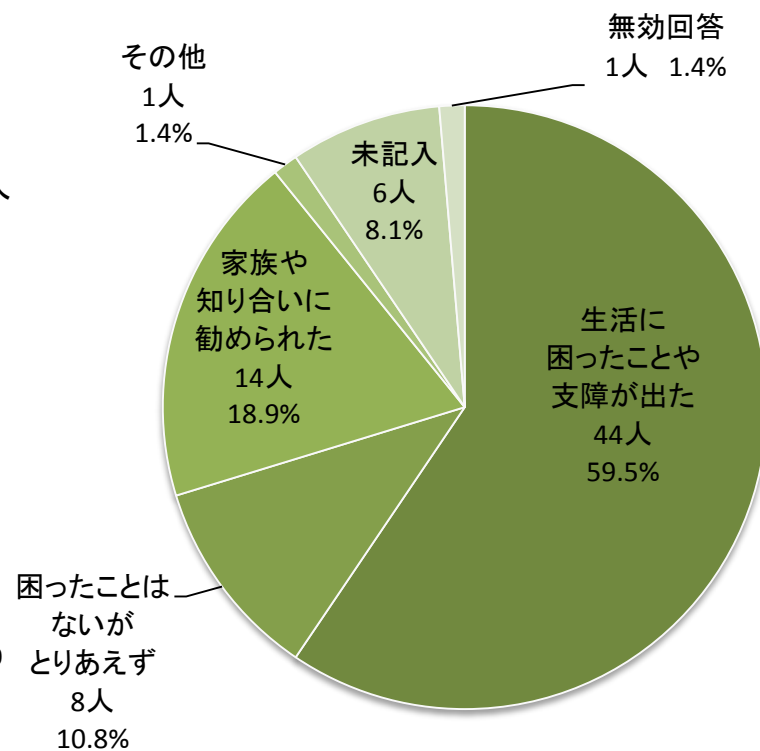
# 松浪地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 松浪地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定の割合は、市域全体と比べて「要支援1」がやや高く、「要支援2」がやや低い。(問5)
- サービス利用の有無は、市域全体と比べて「利用している」割合がやや低く、「利用していない」割合がやや高い。(問6)
- 利用しているサービスは、市域の構成と変わらない。(問6-2)
- 介護保険申請の理由は、「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」が市域と比較して高いが、あわせて「困ったことや支障はないがとりあえず」という回答もやや高い。(問7)

## 《考察》

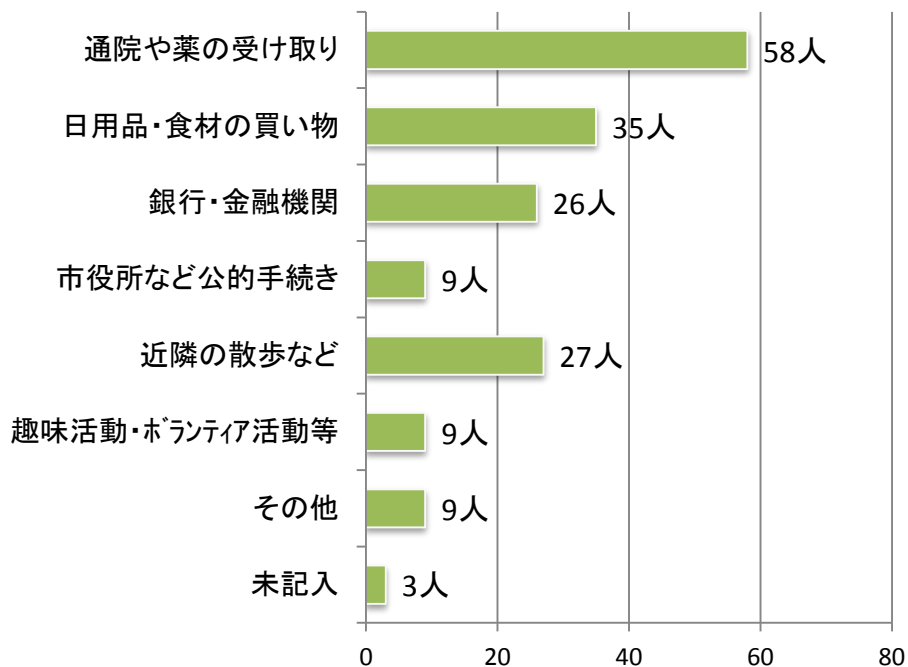
要支援1、サービスを利用していない、困ったことや支障はないという回答数から、認定者の中でも、支援無く生活できる人が一定数おられることが伺える。

# 松浪地区

～外出関連～

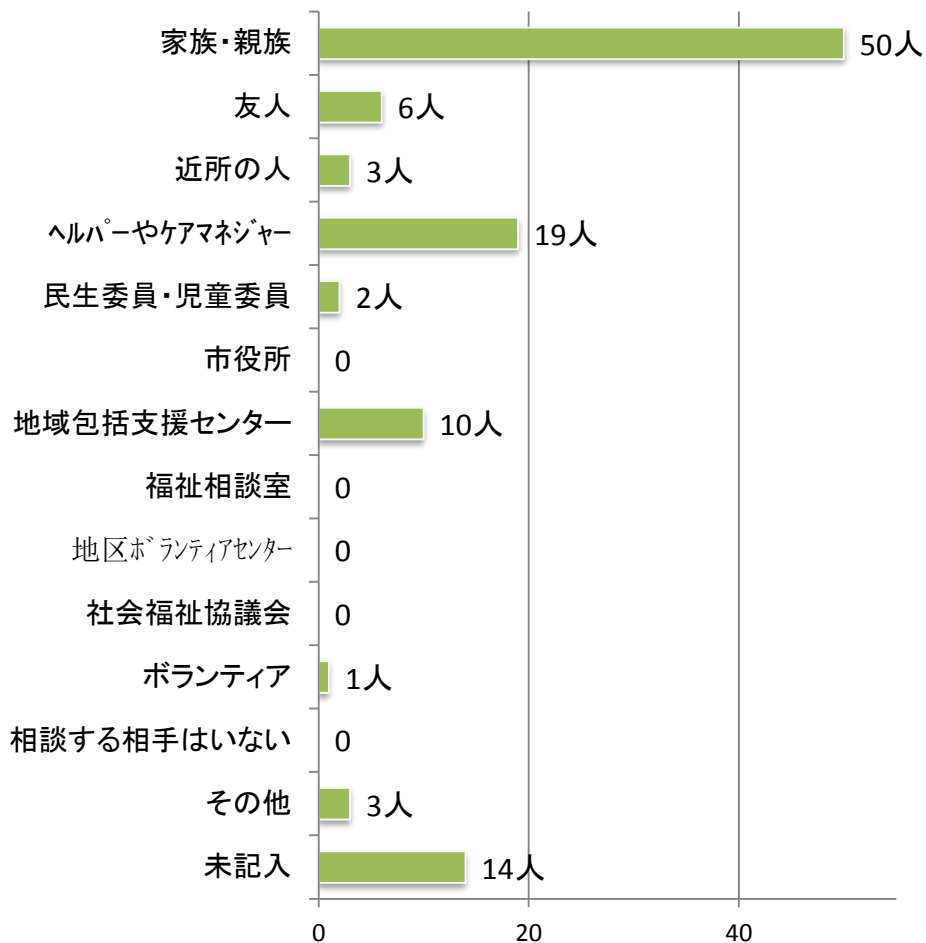
## 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他： 横浜、東京、会社、教会  
町内オープンスペース、リハビリ等

## 問13 外出について困ったことがある時など 誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 松浪地区

## 《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 普段出かけるところの内容は、市域と構成がほぼ同じである。(問8)  
その中で、近隣への散歩がやや多く、市役所など公的手続きがやや少ない。
- 外出についての相談先としては、「家族・親族」と答えた人が50人と圧倒的に多く市域の構成と同様である。「ヘルパーやケアマネジャー」と回答した人も19人で2番目に多いのも市域と同様。「友人」も市域順位と同じだが、「近所の人」が少なかった。「相談する相手はいない」人はいなかった。(問13)

## 《考察》

松浪地区から市役所に行くためには、バスに乗るか、辻堂駅まで出て電車に乗って行くかしなければならないことから、市役所に行くということへのハードルが高い。普段出かけるところとして「市役所など公的手続き」をあげる人がやや低いこととの関連が考えられる。



# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計43)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	30
	5 その他	5
	未記入	2
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計43)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		32
3 午後		10
4 夕方(17時以降)		0
未記入		1
無効回答		0
③交通手段 (計59)		1 徒歩
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	6
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	16
	7 タクシー	17
	8 福祉タクシー	3
	9 その他	1
	未記入	1

④大変な理由 (計92)	1 距離が遠い	12
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくい等)	34
	4 交通費が負担	4
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	5
	6 一人では行かれないので 付添が必要	28
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計30)	未記入	1
	1 家族	28
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- ① 出かける頻度は「月1～2回」が約7割を占めている。
- ③ 交通手段として、「タクシー」「家族等が運転する車」の次に「徒歩」が多い。
- ④ 大変な理由として「体がきつい」が一番多いことと関連があると思われる。通院は大変であるが、月1～2回なので、徒歩で行っているという人がある程度いるものと考えられる。

# 松浪地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計22)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	4
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	5
	5 その他	3
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計22)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	13
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	4
	無効回答	0
③交通手段 (計32)	1 徒歩	8
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	0
	未記入	1

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	6
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	16
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- ① 出かける頻度としては「週1回以上」が半数を占めている。
- ③ 交通手段として「家族等が運転する車」の次に「徒歩」が多い。
- ④ 大変な理由として一番多いのが「体がきつい」、二番目が「一人では行かないので付添が必要」であることから、体がきつくて大変だが一人で徒歩で買い物に行っている人と、一人では行かないので家族の運転する車で買い物に行っている人との二分されると考えられる。

# 松浪地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計19)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	1
	4 月に1～2回	13
	5 その他	5
	未記入	0
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計19)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		13
3 午後		4
4 夕方(17時以降)		0
未記入		2
無効回答		0
③交通手段 (計28)	1 徒歩	2
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	6
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	8
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	0
	未記入	2

④大変な理由 (計42)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	13
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	15
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計16)	未記入	0
	1 家族	15
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 松浪地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

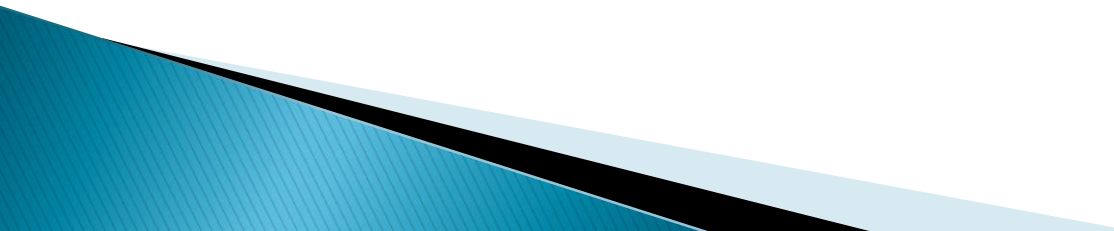
## 《考察》

- ③ 交通手段の「徒歩」が通院、買い物と比較して少ない。  
徒歩圏内に銀行、金融機関が少ないことが大きな要因であると考えられる。

# 松浪地区

## 《全体考察》

- 大変な外出として「通院・薬の受け取り」をあげる人が多く、他の項目は数が少なかった。
- 参考資料のグラフを見ると、「買い物」は大変な外出の3位としてあがってはいるが、他地区に比べ回答数は一番少なかった。地区内に商店街やスーパー(たまや)、ドラッグストア(クリエイト)があることが要因ではないかと思われる。
- 地形がほぼ平坦であることから、通院・買い物に徒歩で行く人が一定数存在する。
- 他地区との比較で差が見られたのは、外出頻度である。どの行き先の表を見ても「週に1回」の人が少なく、「月に1~2回」程度の人が多い。「日用品・食材等の買い物」に週1回以上出かける人が約半数であったため意外に多く感じたが、他地区と比較したところ「週4回以上」行く人が多かった。外出回数が多い人と少ない人に差があるのではないかと思われる。



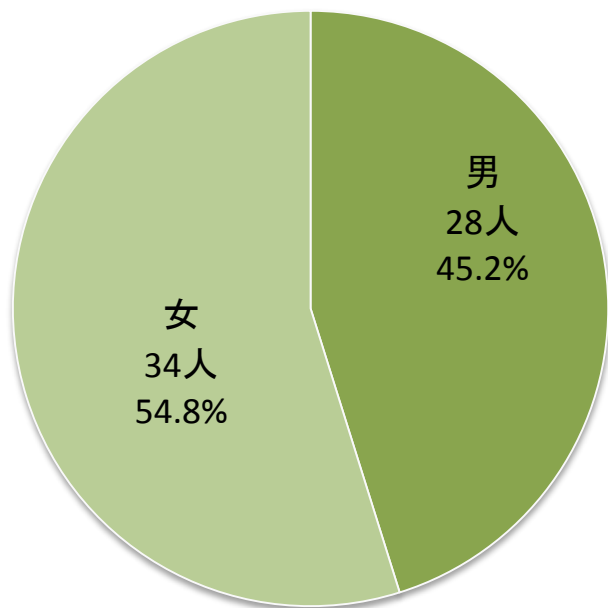


# 浜須賀地区

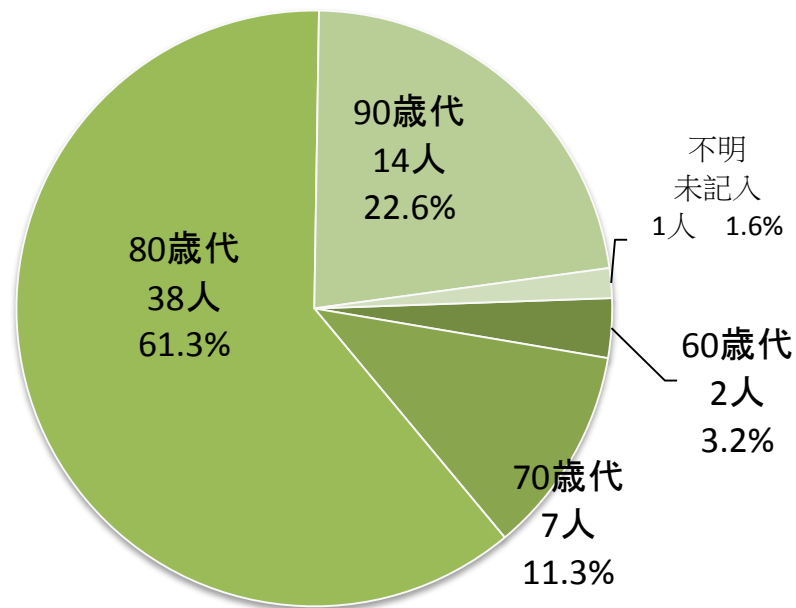
【回答数：62人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



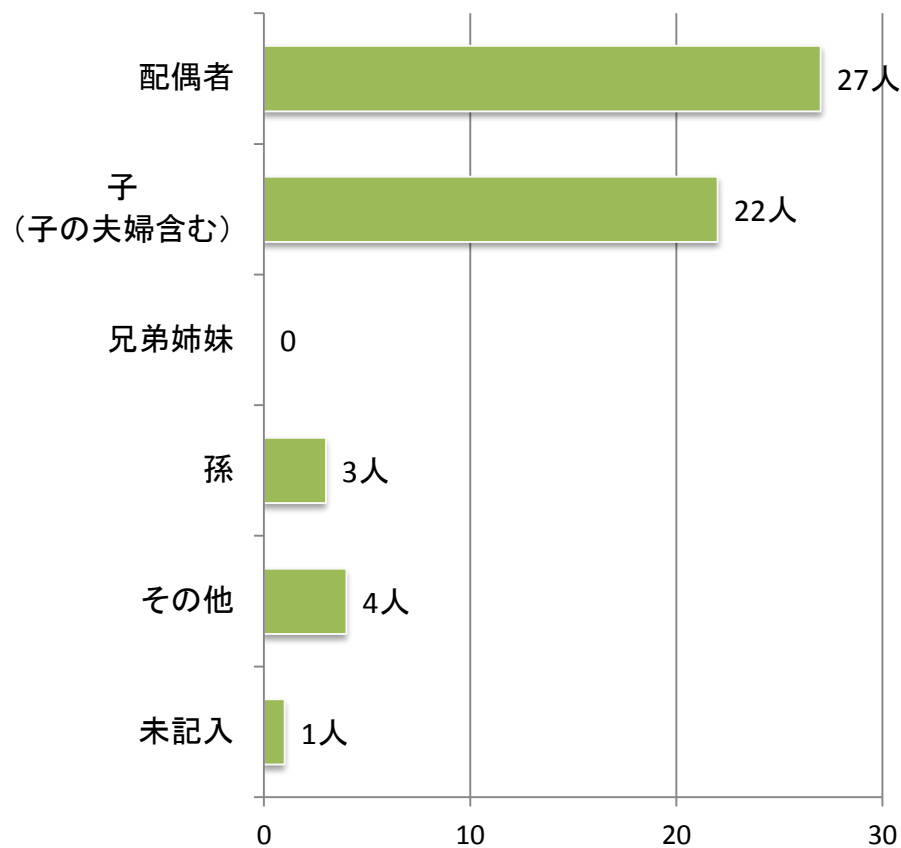
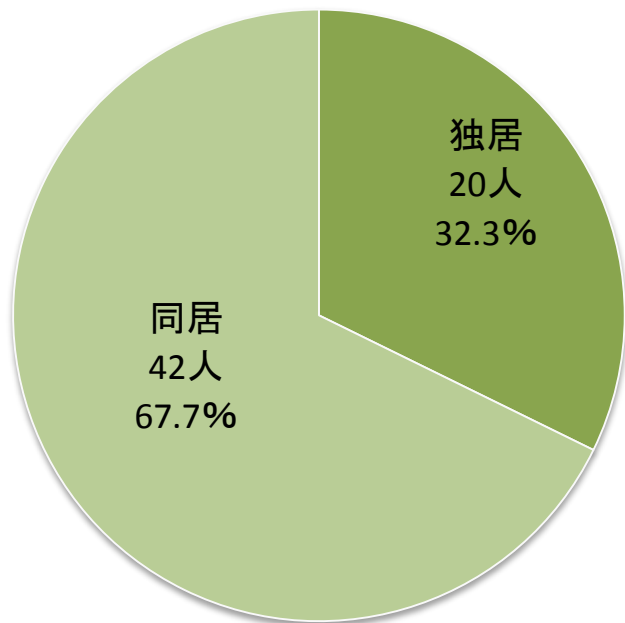
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 浜須賀地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 浜須賀地区

## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 要支援の認定であるが、年齢は80代から大きく認定者が増加する。(問3)
- 「独居」の率が32.3%。同居でも「配偶者」と同居が27人と、高齢者のみ世帯も多いと想定される。一方、「子」と同居の回答も22人と低くない結果となっている。  
(問3・4)

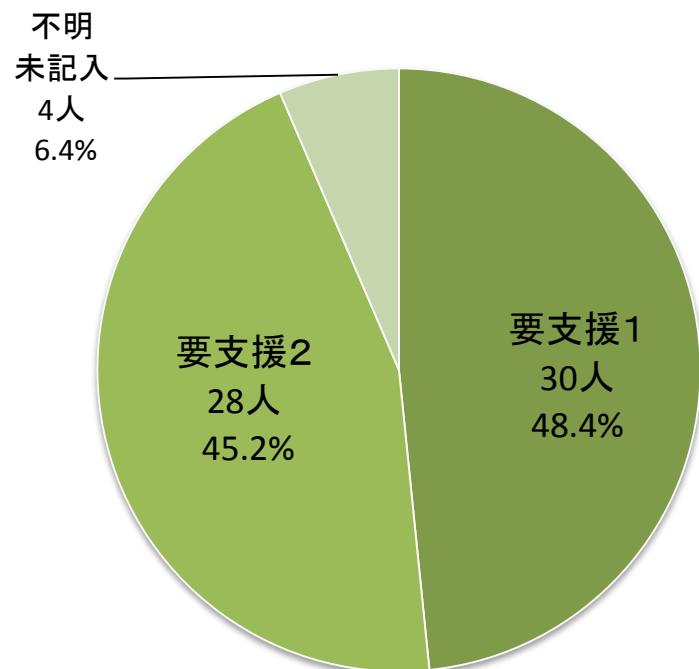
## 《考察》

- 80歳代までは比較的元気で過ごせているのか、介護保険申請が少ないよううかがえる。
- 同居等の状況で上記の結果だけを見ると、高齢世帯の割合は多いが、家族からの支援を得やすい環境にいると思われる人も5割近くいることになる。

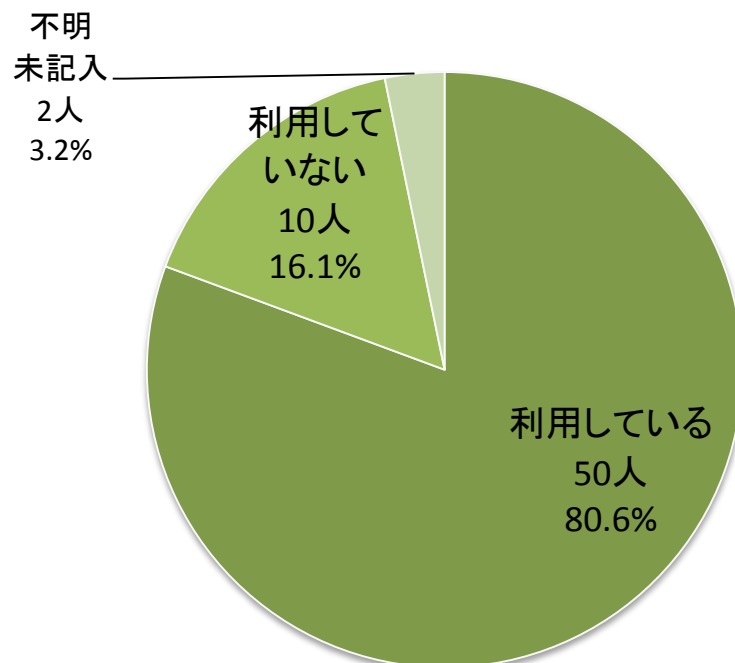
# 浜須賀地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



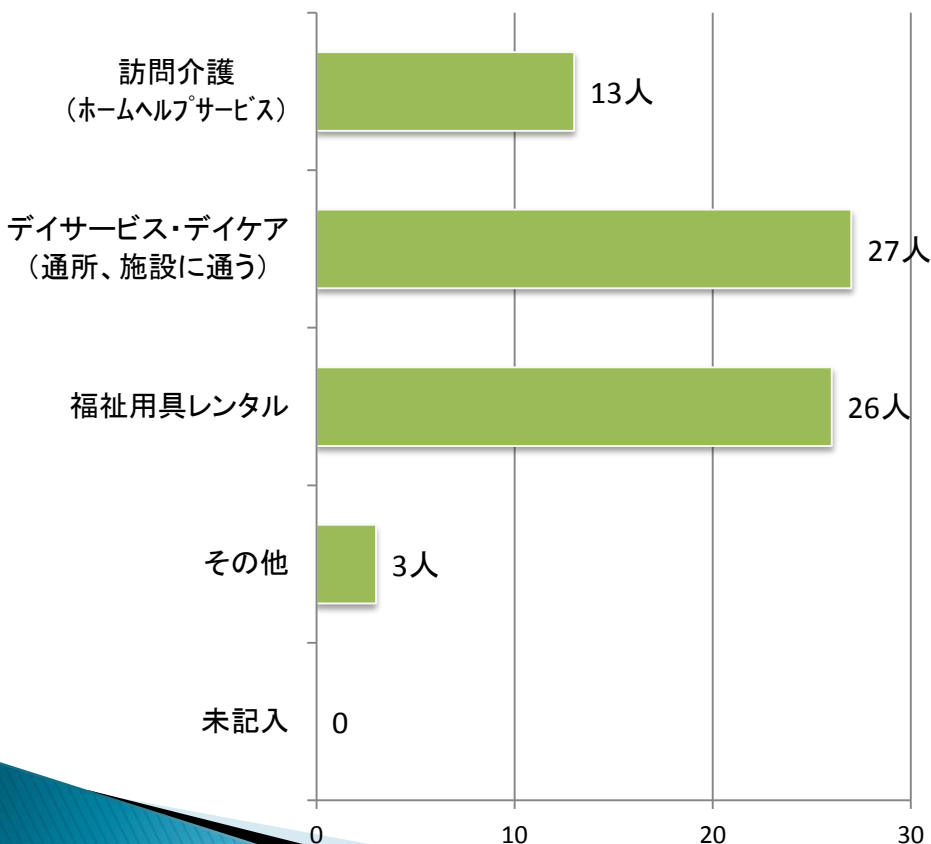
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



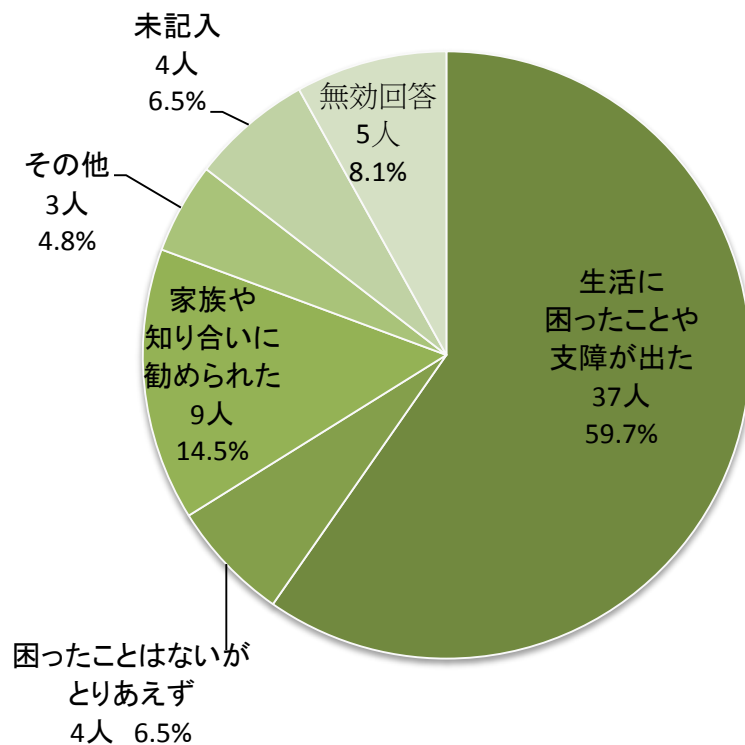
# 浜須賀地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 浜須賀地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 市域での結果とほぼ同様。介護保険サービスの利用率は80.6%と高いほうと思われる。(問5・問6)
- 申請理由が「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」の回答が一番多い。(問7)

## 《考察》

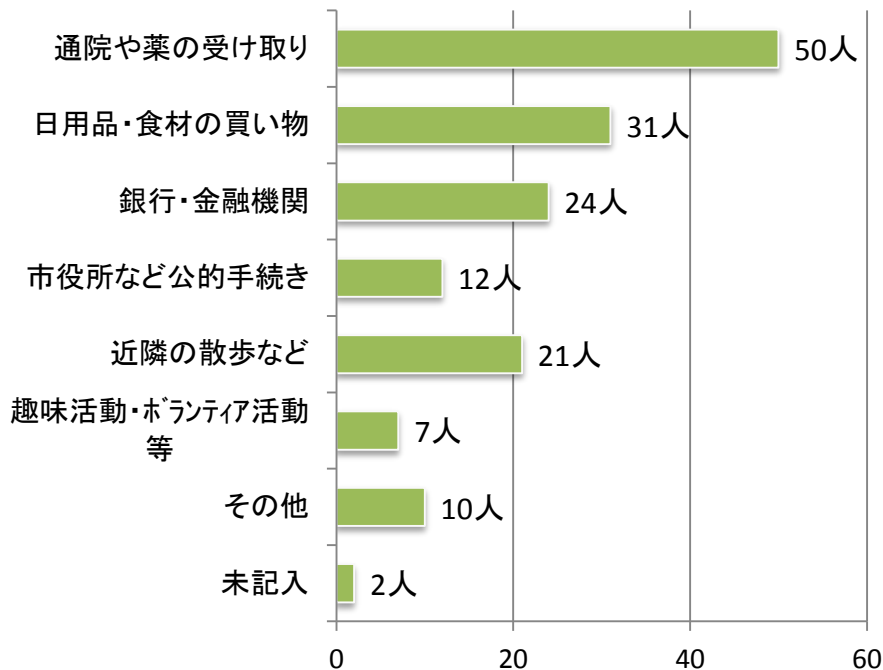
- サービスの利用率が比較的高いことと、前段の同居等の状況をあわせて考えると、子と同居する世帯も少なくないものの、日中独居など日常の支援が思うようには得られていない世帯も多くあるのではないかとと思われる。

# 浜須賀地区

～外出関連～

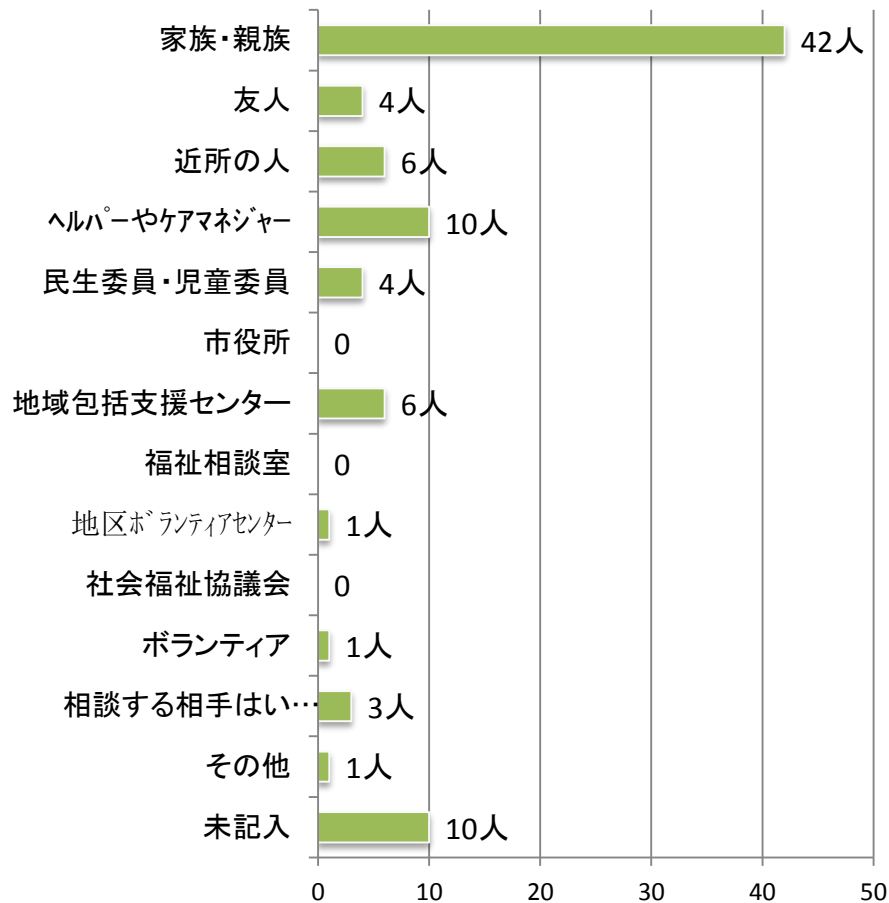
## 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他：友人と食事、夫の通院付添い、床屋、接客(自営業)

## 問13 外出について困ったことがある時など誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 浜須賀地区

## 《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 外出先の分布は市域とほぼ同様。(問8)
- 相談先も市域同様「家族」が一番多い。ほか、「近所の人」を頼ることもうかがえる。  
(問13)

## 《考察》

- 外出先の回答に、「近隣の散歩等」、「趣味・ボランティア活動等」も少なくない割合で出ているように思われる。また、「その他」の内容としても友人との食事や床屋、自営業の接客などと比較的活動的な回答が見られ、要支援の認定者でも活動性の高い人も少なくないことがうかがえる。
- 相談先としては「家族」が多いが、前項にある同居の状況等から、同居者の多くは「配偶者」であり、高齢夫婦間での相談・やりくりも多いとみられる。



# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	5
	2 週に2～3回	7
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	12
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	25
	3 午後	6
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
	③交通手段 (計54)	1 徒歩
2 自転車		2
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		10
4 施設・店舗の無料バス		4
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		11
7 タクシー		11
8 福祉タクシー		1
9 その他		2
未記入		2

④大変な理由 (計70)	1 距離が遠い	12
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	25
	4 交通費が負担	5
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	15
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	1
	1 家族	15
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

(問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人)

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 頻度を見ると、単独では「月に1～2回」が、「週に1回」以上に回答した合計は多く、通院等は全体に頻度が高い様子。
- 手段では、「徒歩」、「バス」、「家族等が運転する車」、「タクシー」が多くある。
- 大変な理由は、「体がきつい」が非常に多く、次いで「1人では行かれないため付添が必要」、「距離が遠い」が多くある。
- 地区内および隣接する地区(松浪方面)は開業医が比較的点在しているため、「徒歩」や「バス」を利用できる人の通院は、比較的頻度が高くても、地区近隣で可能と思われる。
- 「距離が遠い」と感じる人、車や付添で行かなくてはならない人は、月1～2回程度の頻度で、地区を出た総合病院等への受診かと推察する。また、開業医等は概ねは鉄砲道やラチエン通りに近いところに集まる傾向がある。鉄砲道以南は高齢化しており、通院等の活動に不便を感じていることが多いという話が地区内でも聞かれ、後者に属する可能性が高いと思われる。

# 浜須賀地区

## ～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	10
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	8
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)
2 午前中	14	
3 午後	7	
4 夕方(17時以降)	0	
未記入	2	
無効回答	0	
③交通手段 (計39)	1 徒歩	11
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	7
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	4
	未記入	1

④大変な理由 (計42)	1 距離が遠い	10
	2 交通が不便	4
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	8
	7 その他	2
未記入	0	
④で6を選んだ人 (計9)	1 家族	7
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

(問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人)

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 頻度は、「週に2～3回」と「月に1～2回」が多くあり。
- 手段は通院と同様に「徒歩」が多くあり。次いで「家族等が運転する車」「タクシー」と続いている。
- 大変な理由としては、「体がきつい」が一番、次いで「距離が遠い」「1人では行かないので付添が必要」が続く。
- 地区内は平坦地のため、足腰に支障が少ない人は徒歩での移動もしやすい(起伏のある地区と比べて)ものと推察される。地区内の往来も徒歩または自転車利用を多く目にする。また、食材等の買い物に利用できるスーパー、ドラッグストアなども複数あるが、概ね鉄砲道、ラチエン通りに近い所に集まる傾向がある。
- これらから、店のある通りに近い人は主に徒歩で週に数回、店のある通りから離れている人は、家族等の運転する車を利用するなどして月に1～2回程度買い物に出かけるといった分布と推察する。特に、鉄砲道以南の住民は、買い物通院等に不便を感じていることが多いといった話が地区内でも聞かれ、後者に属する可能性が高いと思われる。

# 浜須賀地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計22)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	1
	4 月に1～2回	14
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計22)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	14
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計37)	1 徒歩	6
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	10
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	3
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	4
	未記入	1

④大変な理由 (計44)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かれないので 付添が必要	11
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	0
	1 家族	10
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	1

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

(問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人)

# 浜須賀地区

## 《考察》

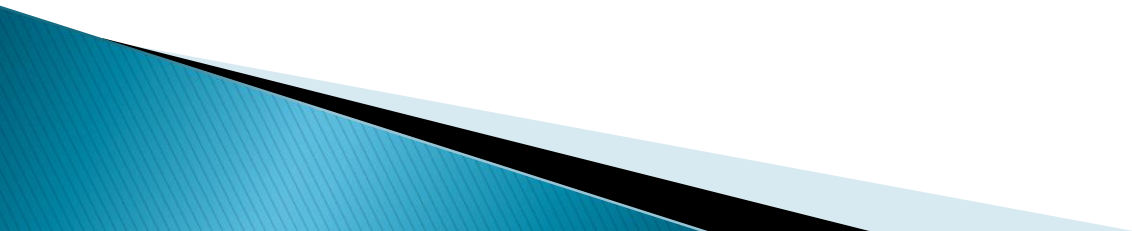
- 頻度は他よりも「月に1~2回」が多く、日常的にさほど頻度の高い外出先でないことがうかがえる。
- 手段は「バス」と「タクシー」が同程度、次いで「徒歩」があがっている。「徒歩」は、通院や買い物では多くあがる手段であったが、銀行では少ない。
- 大変な理由は他と同様の傾向である。
- 概ねは鉄砲道やラチエン通り近くに集まっているものの、スーパーや開業医は比較的あるほう。だが、郵便局以外の金融機関でみると、桜道(信用金庫)まで出るか、辻堂駅周辺、茅ヶ崎駅周辺へ行かないと実店舗はない。
- これらから、金融機関での手続きは駅前へ出ることが多いと想定され、駅までの定時ルートが確保されている「バス」、もしくは足腰の厳しい人は「タクシー」の利用が多くあがったものと思われる。
- このほか浜須賀地区は、市域の結果と違い「銀行・金融機関」よりも「市役所など公的手続き」が大変な外出先の3位にあがる結果となっている。市役所には国道一号線を超えるためか、実質・心理的ともに距離を感じる外出先となるように思われる。



# 浜須賀地区

## 《全体考察》

- 同居等の状況やサービス利用率などをあわせて見ると、子と同居の世帯も少なくないものの、日中独居など日常の支援が思うようには得られていない世帯も多くあると推察される。近年は、  
広い家屋敷が(分割・分譲)売却されるほか、空き地・空き家も増えている。残るのは高齢者が多く、独居高齢者も増える傾向にある。
- 交通については、茅ヶ崎駅南口、辻堂駅南口の間を横に通るバスが地区内の主線。平坦地のため、足腰に支障がなければ徒歩・自転車で移動する人は多く見られ、今回の調査でもその傾向はうかがえる。
- 開業医、スーパー等の生活施設も複数あるが、鉄砲道以北、ラチエン通り周辺に集まる傾向。自転車ではさほど不便でなくても、徒歩移動には距離のある人も少なくない。地区内でも特に鉄砲道以南は、生活活動に不便が想定されるエリアとなる。民生委員や地域包括支援センターからも独居が増えているとの話が聞かれ、海側に行くほど生活に必要な社会資源が少ない。地区を縦に走る公共路線がほとんどなく、徒歩・自転車移動が難しいとタクシー利用などの経済的な余力や、親族等の人的支援がない世帯ほど負担感が大きくなり、他の課題も含め支援対象となることが想定される。
- 相談先について、少ないが「相談する相手はいない」と回答した人があり、相談につながるような周知が必要と考える。地区の会議でも、「無駄も含め必要な情報は繰り返しの周知が必要」、「今は必要でなくても、必要時に情報を得られるルートを作っておくことが必要」との声が出ている。



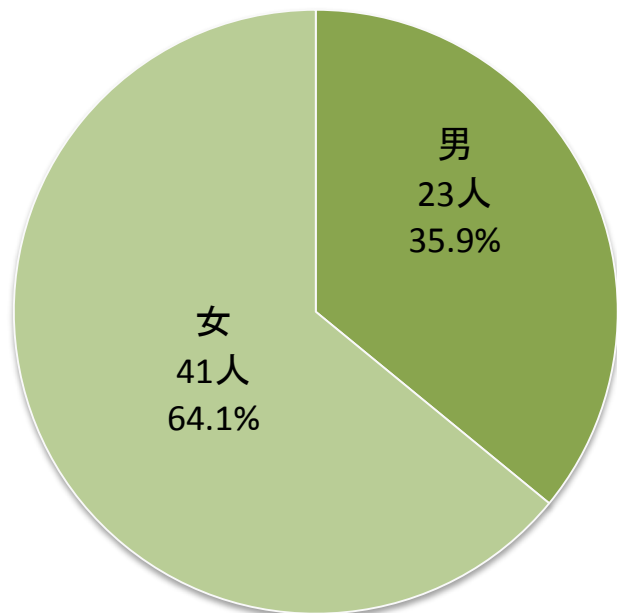


# 小出地区

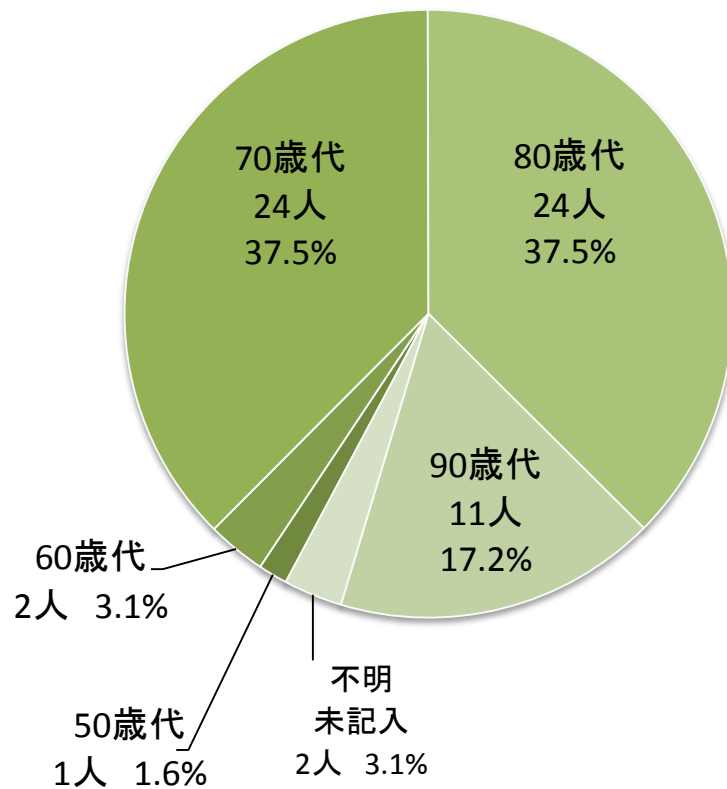
【回答数：64人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



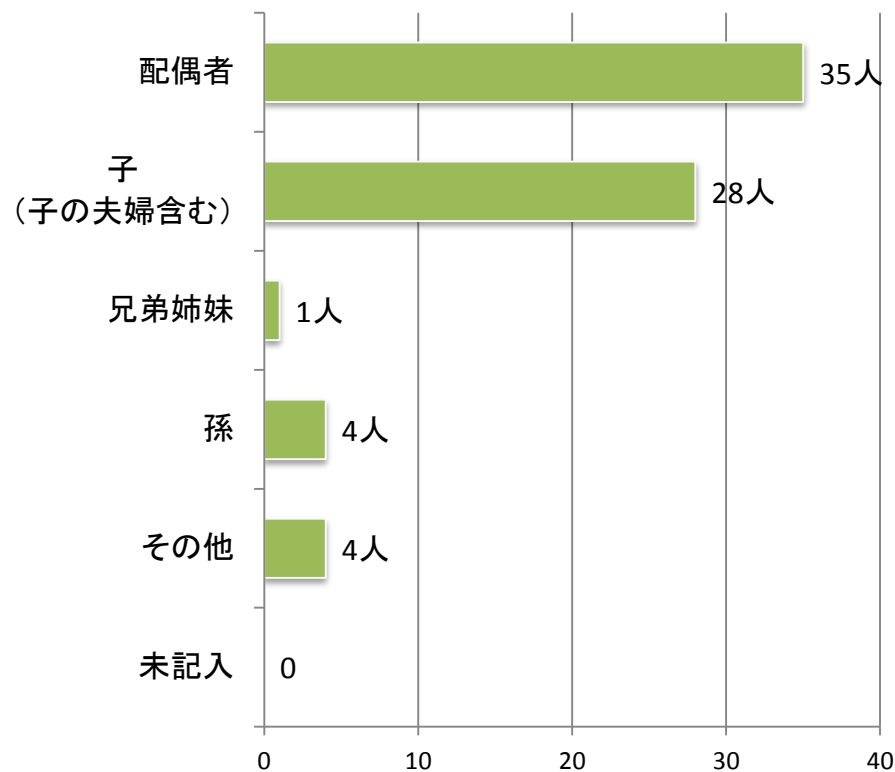
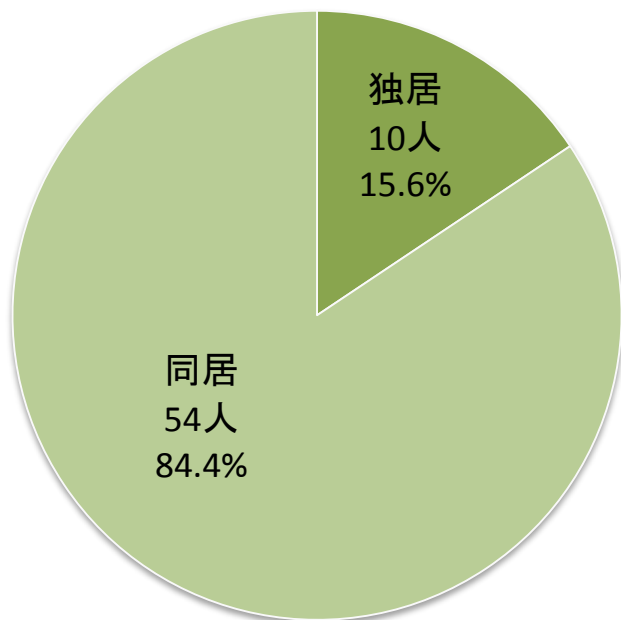
問3 あなたの年齢はおいくつですか



# 小出地区

～基本項目～

## 問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

# 小出地区

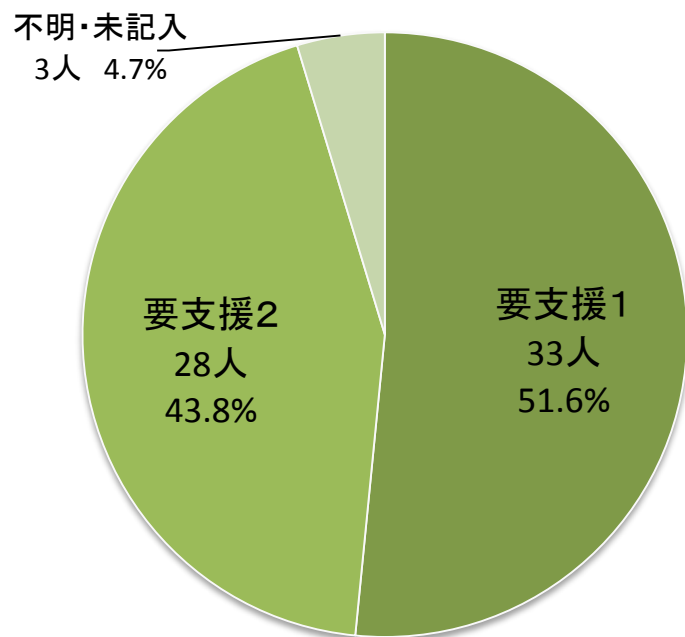
## 《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市域全体の数値と比較して、回答者の性別「女性」が64%と9%高い。(問2)
- 回答者年代は、市域80代48.8%⇒小出37.5%、市域70代24.5%⇒小出37.5% との違いがみられる。その他の90代、60代、50代などは大きな違いはみられない。(問3)
- 小出地区の女性高齢者で要支援の認定を受けている方は、市域全体と比較して70代の割合が多い。

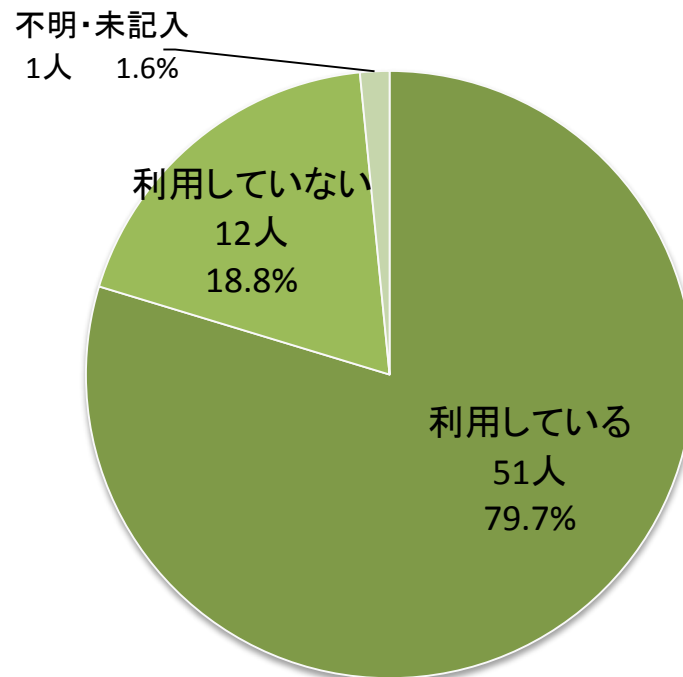
# 小出地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



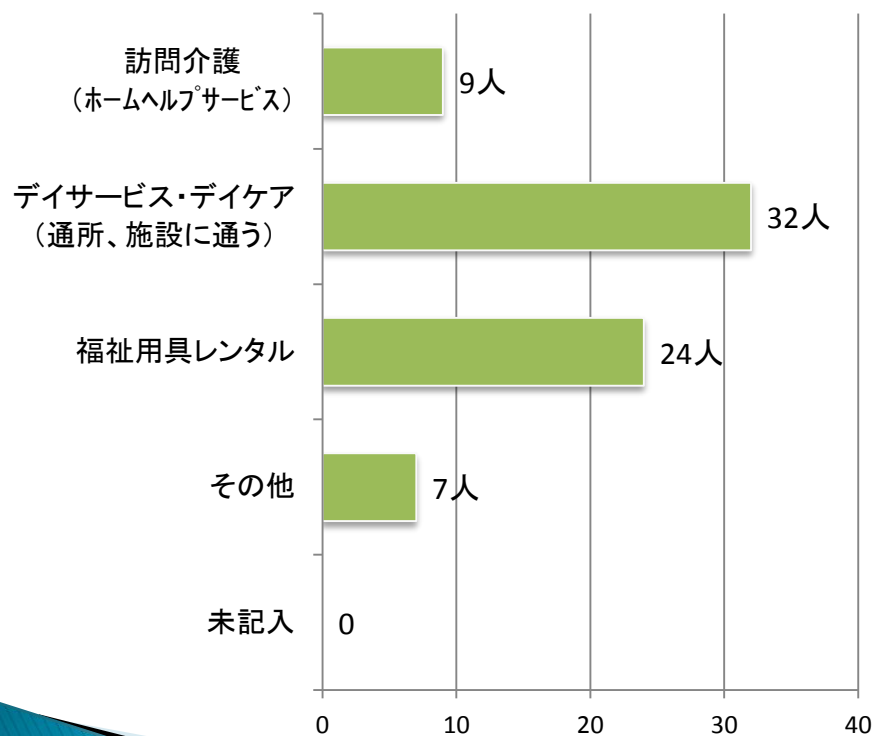
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



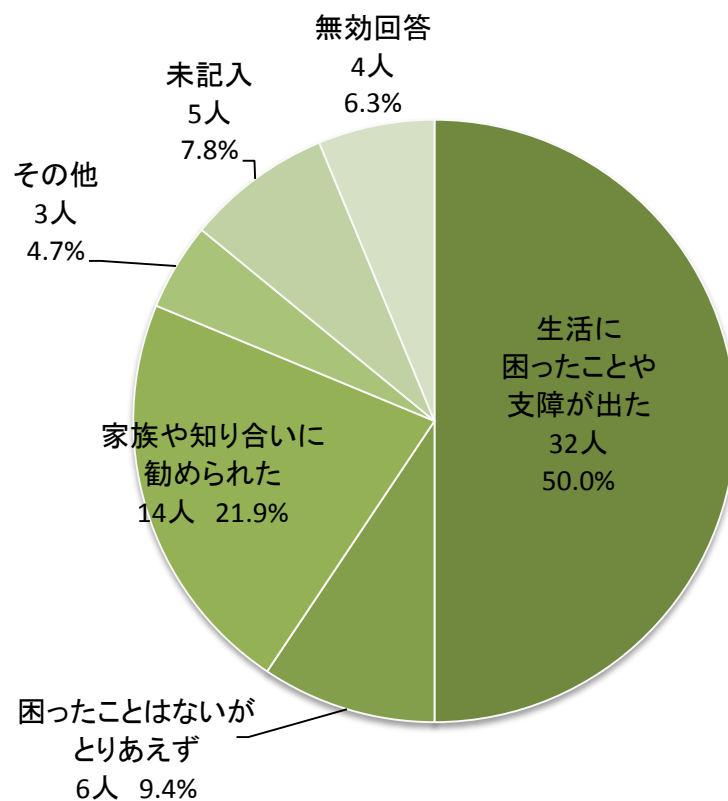
# 小出地区

## ～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください  
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を  
教えてください



# 小出地区

## 《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 要支援1(51.6%)が要支援2(43.8%)より多いが数字の開きは少ない。市域とも大きく変わらない。(問5)

## 《考察》

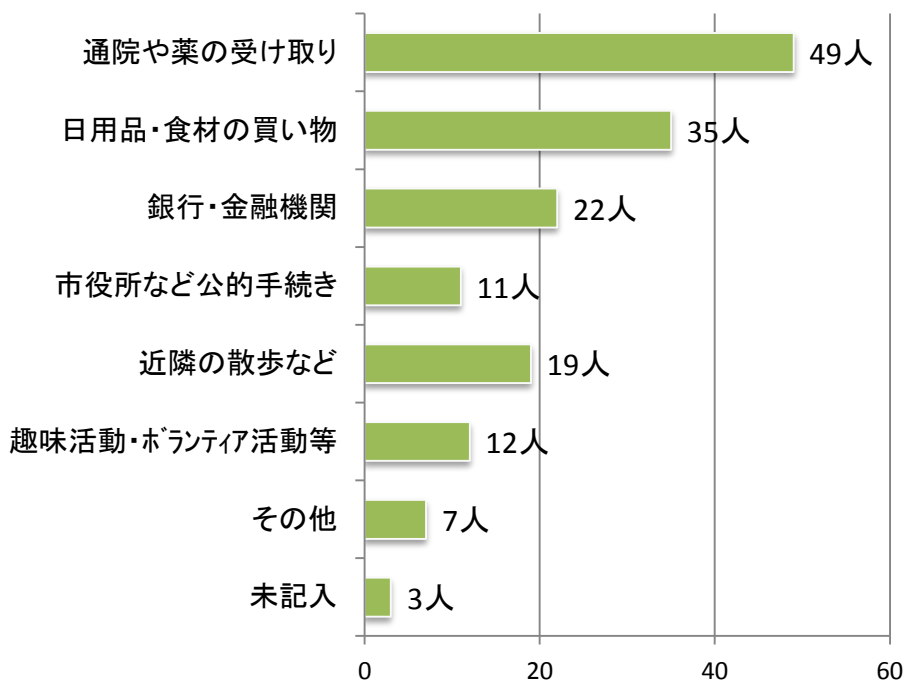
上記以外に市域全体の数字と大きな違いのあるものはなかった。  
このような設問においては、地域特性が大きく影響するものではないのかと思われる。

# 小出地区

～外出関連～

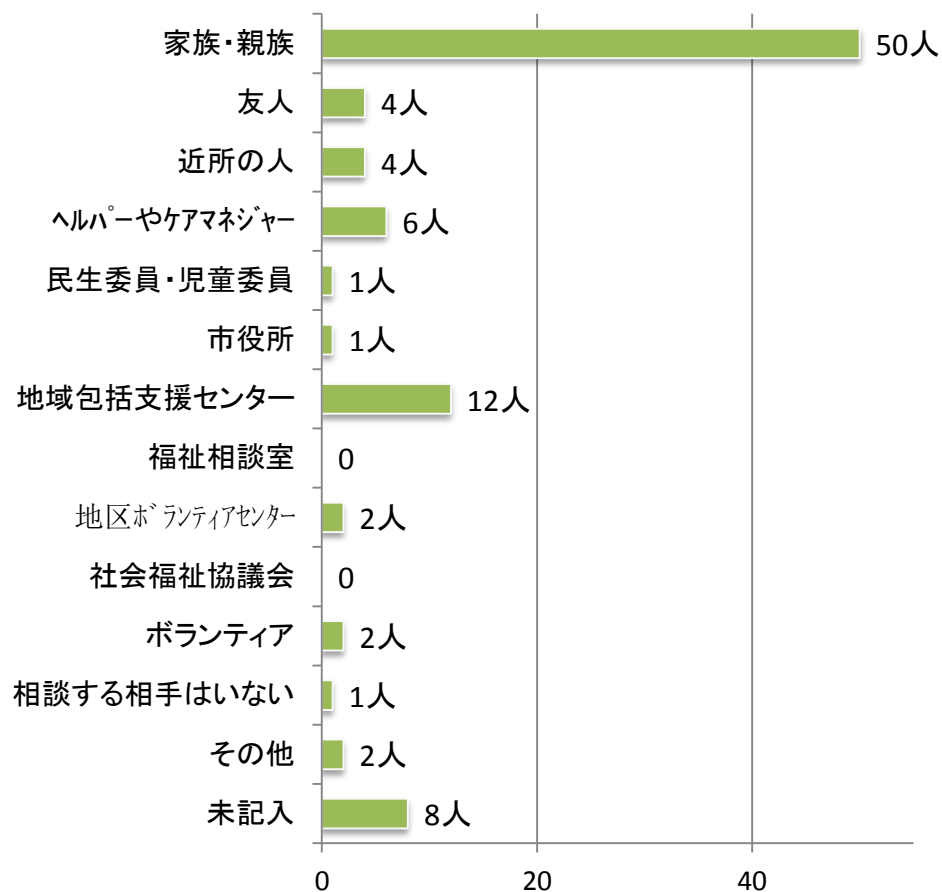
## 問8 普段よく出かけるところを教えてください

(複数回答)



※その他：友人と会う、会社、  
デイサービス等

## 問13 外出について困ったことがある時など 誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



# 小出地区

## ≪外出関連 問8・問13について 市全域との比較≫

- 市域全体の回答と類似している。外出先の傾向も類似しており、小出特有のという形ではなかった。(問8)
- 相談先も、市域全体としては「家族・親族」回答が569人で全体の約半数を占めているため、小出と変わらず。次点以降の相談先も「地域包括支援センター」「ヘルパーやケアマネジャー」、「友人」、「近所の人」が挙げられていて、市域全体の構成と比較してほとんど変わらない。(問13)



# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計32)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	23
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計32)	1 早朝（8時以前）
2 午前中		26
3 午後		3
4 夕方（17時以降）		0
未記入		0
無効回答		1
③交通手段 (計51)		1 徒歩
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	4
	5 自分で運転する車	4
	6 家族等が運転する車	17
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	4
	未記入	0

④大変な理由 (計77)	1 距離が遠い	17
	2 交通が不便	15
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	0
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	7
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計18)	未記入	1
	1 家族	17
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
未記入	1	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

## 《考察》

- 地区の特性として、地区内にバス停留所が多くないため、停留所まで行くことに大変さがあるものと思われる。そのため、④で「体がきつい」、「一人では行かない」と回答された人の中には、病院に行くことの前段として「停留所へ行くことが困難」な人が複数いるものと考えられる。
- ③で「家族等が運転する車」で通院する人が多いのは、それに代わる利便性の高い移動手段がないためだと推察される。「距離が遠い」、「交通が不便」という④の回答も多い。市立病院や総合病院などに通院が必要な人も多数いるものと想定されるが、  
路線バスは乗り換えもあるため、その利便性の低さに起因する回答と思われる。③で「バス」と回答した7名のバスの種別(路線・えぼし号・予約乗合)の内訳がわかれば、さらに考察の材料となると思う。

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計29)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	9
	3 週に1回	8
	4 月に1～2回	8
	5 その他	2
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計29)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	18
	3 午後	10
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	1
③交通手段 (計42)	1 徒歩	10
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	10
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	4
	6 家族等が運転する車	11
	7 タクシー	3
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	0

④大変な理由 (計63)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	13
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	8
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の  
買い物と回答した人

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

## 《考察》

- 地区の人の買い物の希望先(店舗)としては、イオン(茅ヶ崎中央店、大庭、旧サティ)、とうきゅう、マムという声をよく耳にする。店舗によるが、住むところから片道で遠いところは9<sup>キ</sup>程度となるため、多くは「徒歩」で行くことは大変さが生じていると考える。
- 一部の地域、例えば下寺尾の南側はマムに近く、湘南ライフタウンB地区はとうきゅうに近いので、「徒歩」で行ける人もそれなりにいるものと思われる。
- 「徒歩」で出かける人の中には、地元の商店(飯島食料品店など)での買い物を想定して回答した人もいと推察される。
- 大型の店舗で買い物を希望する人が、「距離が遠い」、「交通が不便」といった理由により「家族等が運転する車」で行っているものと思われる。大型の店舗に行った場合は、帰りの荷物のあること、一人だと持ち帰れない等の懸念もあるため「一人で行かない」と回答された人もいるように考える。

# 小出地区

## ～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計24)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	18
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計24)	1 早朝(8時以前)	2
	2 午前中	15
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計34)	1 徒歩	5
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	3
	6 家族等が運転する車	12
	7 タクシー	6
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	0

④大変な理由 (計63)	1 距離が遠い	11
	2 交通が不便	11
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	14
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	10
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計13)	未記入	1
	1 家族	10
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
未記入	3	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

# 小出地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

## 《考察》

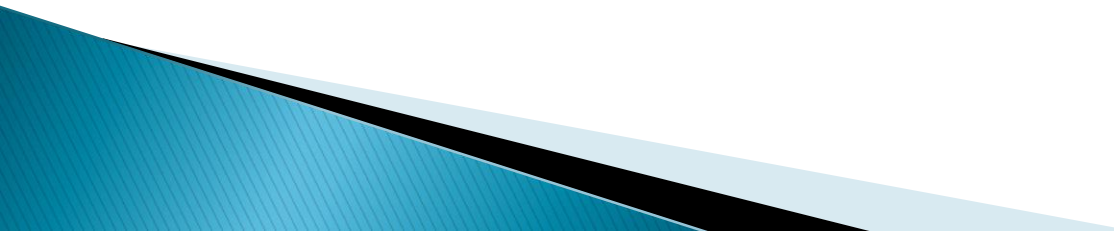
- 銀行・金融機関での手続きの場合、うちよ銀行や農協を除いて、メガバンクや地方銀行は茅ヶ崎駅、辻堂駅など駅前に行かなくてはならない。そのような人が③で「徒歩」以外を選択していると思われるが、路線バスは停留所までの距離の問題があるため、多くの人々が「家族等が運転する車」によって外出されているのだと考える。
- 地域住民からの声に聞かれるが、『予約型乗合バス・コミバスの運行区域内では、銀行などの金融機関の用事が果たせない』ために、目的によっては不便さが如実にでるものと推察される。また、小出は茅ヶ崎北部の丘陵地帯に位置し山坂が多く、七曲りや一部道路に整備が不十分なところもあるため、④で「歩くには道が悪い」に回答された人が多くいたのだと思われる。



# 小出地区

## 《全体考察》

- 小出地区の代表的な特性としては、
  - ①13地区で最も大きな面積を有している(市の5分の1)
  - ②高齢化率が37.16%あり、13地区で最も高い(2019.1/1現在) ということがある。基本情報(問2～問8)においては市域全体との大きな差が見られない事と、地区が広い面積を有し字ごとにも特性があるものと考えれば、ある意味では茅ヶ崎市の縮図になっていると推察される。例えば、小出中央通り沿いの小出銀座商店街区域と、芹沢細紺の区域では、「小出地区」と一括りには出来ないような地域差(外出・移動に関する課題)が現れるものとする。
- 小出地区は茅ヶ崎北部の丘陵地帯に位置しているため、総合病院への通院、金融機関の手続き、品揃えが豊富なスーパーに行く際には、一部を除いた多くの方は車でも片道30分程度かかってしまう。バス等であればそれ以上時間がかかるが、地区内では済まない用事も多く、駅方面に外出する必要性は誰しもあると思われる。その時に大変さを感じる人が多く存在して、誰かの支援がないことには目的を果たせない状況が見られた。
- 従来から地区では住民の足に関わる課題があったが、この調査を通して「交通が不便」、「買い物がしにくい」という大きな課題が改めて浮き彫りになったように思う。地区に根差している地域活動組織も外出・移動の課題は把握しており、予約型乗合バスやコミバスの利便性向上、道路環境の整備にむけた活動をされており、住民の関心が高い事柄として取り扱われている。



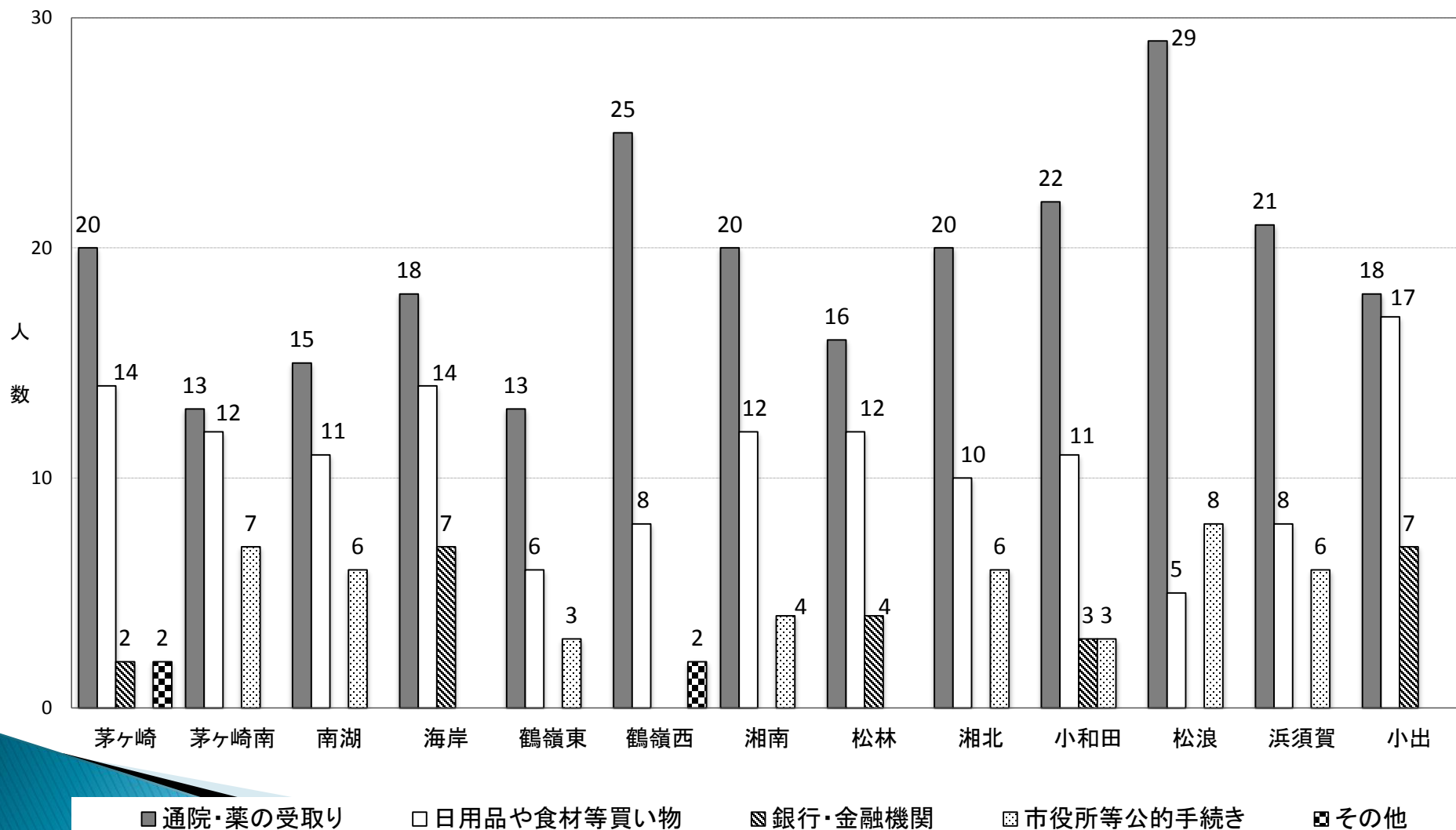


<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

### 参考資料① 「特に大変と感じる外出」は？ 上位3つ -地区別-

\*各地区で特に大変とされた1～3位の回答の比較\*

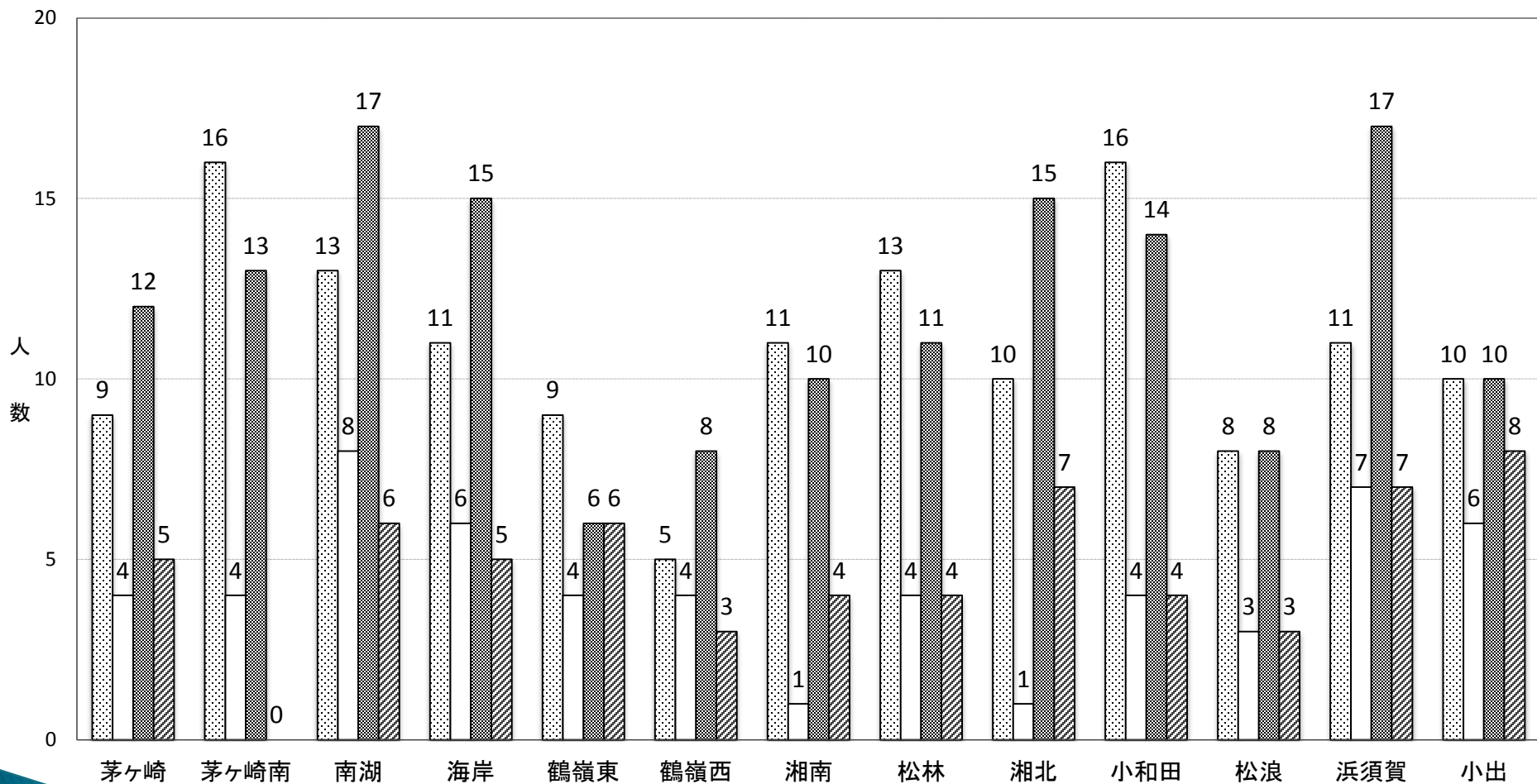


<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

### 参考資料②-1 「特に大変と感じる外出」の手段は？ 一週1回以上行く人

\*各地区で特に大変と感じる外出先で回答のあった利用手段の比較\*（複数回答）



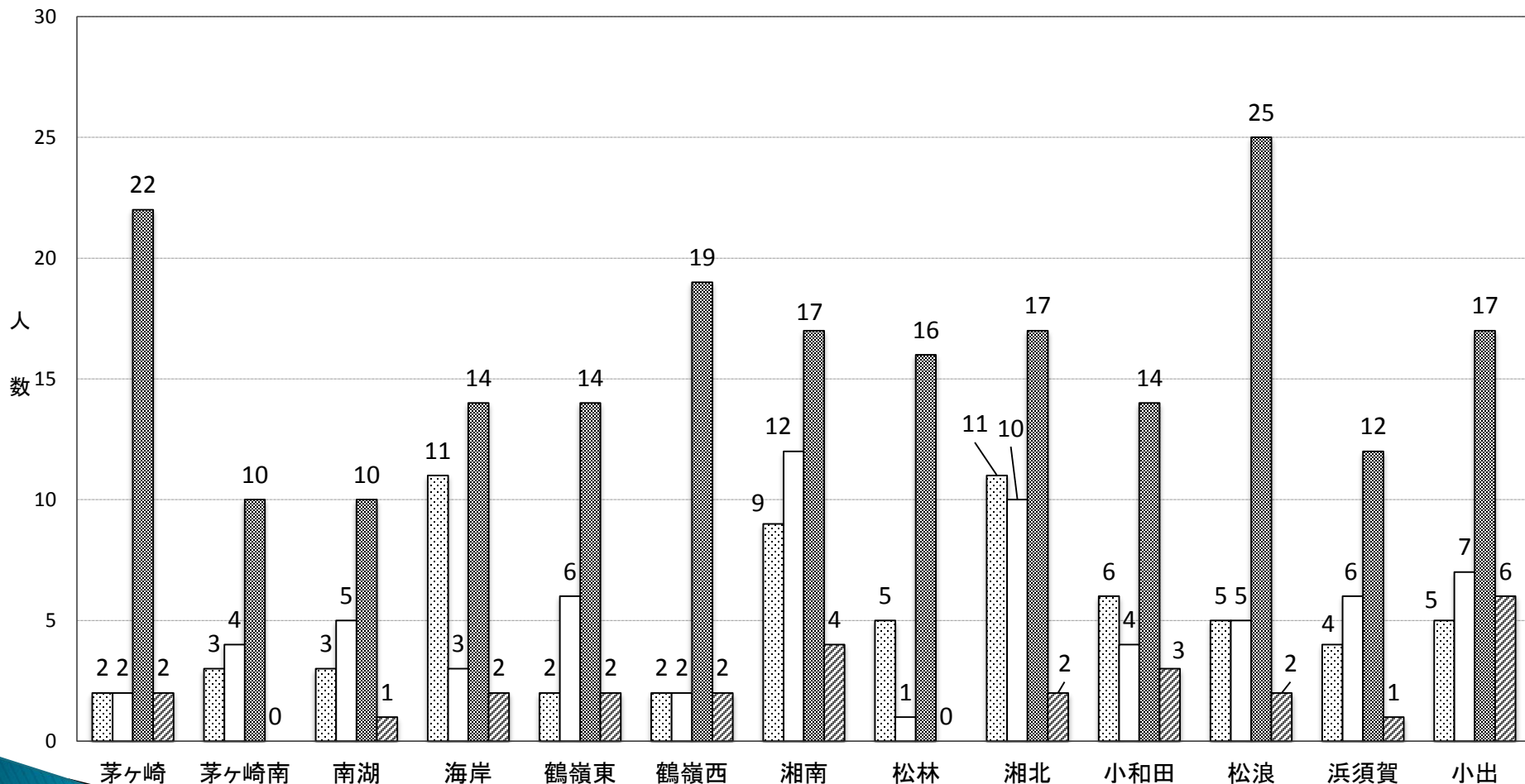
徒歩・自転車
  バス(路線・コミュニティバス)
  車(タクシー・福祉タクシー・家族運転の車)
  その他(店舗バス・自分運転の車・その他)

<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

参考資料②-2 「特に大変と感じる外出」の手段は？ 一月1, 2回程度行く人

\*各地区で特に大変と感じる外出先で回答のあった利用手段の比較\* (複数回答)



徒歩・自転車
  バス(路線・コミュニティバス)
  車(タクシー・福祉タクシー・家族運転の車)
  その他(店舗バス・自分運転の車・その他)

<参考資料>

\*「外出」に関する調査であることから、どこに大変さを感じているかの部分を取り上げ、地区別で比較できるように示した。

### 参考資料③ 「特に大変と感じる外出」1位(通院・薬の受け取り)の手段は？

\* 市域全体で特に大変と感じる外出である「通院・薬の受け取り」に利用される手段の比較\* (複数回答)

